

国立大学法人東北大学

東北大学病院

防災・業務継続計画

(略称：病院 BCP)

第2版



平成31年3月



～ 目 次 ～

1 総則	1
1.1 基本方針	1
2 計画・文書体系	1
2.1 計画・文書の位置づけ.....	1
2.2 適用の範囲	1
2.3 文書管理と開示範囲.....	1
3 想定する危機事象	2
3.1 想定する危機事象.....	2
4 危機事象発生時の対応体制	2
4.1 当院災害対策本部（東北大学病院支部）.....	2
4.1.1 災害対策本部の設置基準.....	2
4.1.2 災害対策本部（東北大学病院支部）組織図.....	4
4.1.3 災害対策本部構成員と役割.....	5
4.1.4 本部構成員の招集基準及び方法.....	6
4.1.5 災害対策本部設置場所.....	6
4.1.6 災害対策本部・外来支部のレイアウト、必要な設備、備品、設置手順... 6	
4.1.7 災害対策本部の主な活動内容.....	7
4.1.8 外来支部の主な活動内容.....	7
4.2 重要業務一覧.....	7
4.2.1 病院全体の重要業務.....	8
4.2.2 各診療部門の重要業務一覧と具体的な行動計画.....	9
4.3 災害対策本部の初動対応	33
4.3.1 災害対策本部要員の参集.....	33
4.3.2 被災状況の収集.....	34
4.3.3 安否確認.....	35
5 事前対策の実施計画	36
5.1 当院のライフラインに関する現在の基本情報（電気・水）.....	36
5.2 当院において優先的に対応すべき事前対策.....	40
5.2.1 病院全体において優先的に対応すべき事前対策.....	40
5.2.2 各部門において優先的に対応すべき事前対策.....	45
6 病院 BCP の維持・改善（業務継続マネジメント（BCM））	50
6.1 病院 BCP 策定後の業務継続マネジメント（BCM）推進体制について.....	50
6.2 業務継続マネジメント（BCM）推進体制.....	50
6.3 病院 BCP に基づく訓練の実施.....	50
6.4 維持・改善計画	50

6.4.1 今後さらに検討が必要な項目.....	50
7 添付資料	51
7.1 各種報告様式	51
7.2 緊急時関係機関連絡先リスト（別紙）	67
7.3 「重要業務調査」取り纏め一覧.....	67
7.4 「経営資源のリスク分析・評価・対策」調査表.....	71
7.5 東北大学病院 BCP 策定に向けた行程表	78
関連資料リスト	79

制定・改訂履歴			
改訂番号	改訂日	改訂箇所	改訂理由
第1版	平成29年11月1日	全体	制定
第2版	平成31年3月1日	一部	更新や新規参入部門追加等のため

作成者：BCP委員会、BCP事務局

■ 病院 BCP の審議プロセス

(重要事項)

平成29年

- 2月23日 運営評議会にて BCP 委員会内規承認
- 10月19日 運営会議にて第1版承認
- 10月27日 運営評議会にて第1版承認
- 11月1日 施行(第1版)

平成31年

- 2月28日 運営評議会にて第2版承認
- 3月1日 改訂(第2版)

(経常的な事項)

原則、月1回 BCP 委員会と BCP 事務局会議を開催

承認責任者：病院長 八重樫 伸生

1 総則

1.1 基本方針

国立大学法人東北大学病院（以下、「当院」という。）の災害発生時における防災・業務継続は、以下の基本方針に基づいて行うものとする。

【基本方針】

- (1) 患者、家族、学生、教職員をはじめとする当院全構成員及び来訪者の身体・生命の安全確保
- (2) 当該災害の対応業務としての保健医療の実施による社会貢献
- (3) 地域社会との連携・地域社会の支援
- (4) 周辺地域への支障（二次災害としての火災の発生、病原体、有害物質等の流出等）の防止
- (5) 重要な医療・研究・教育の情報及び施設・設備の保全と環境の早期復旧

このため、当院における災害発生時及びそれに備えた平時の具体的な行動計画として、当院の「防災・業務継続計画」（以下「病院 BCP」という。）を策定する。

（参考）

業務継続計画（BCP：Business Continuity Plan）とは：

大地震等の自然災害、感染症のまん延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン（供給網）の途絶、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のこと。

当院においては、従来の災害発生時の対応計画を包含して計画・運用することが可能かつ合理的との判断から、防災・業務継続計画としている。

2 計画・文書体系

2.1 計画・文書の位置づけ

病院 BCP は、当院が重大な被害を受けて、その対応を緊急に実施しなければならない場合を想定して策定されたものである。

なお、病院 BCP は、当院の災害対策内規、災害対策マニュアル、災害対策本部マニュアル、消防計画、安全衛生管理指針とも整合させたものとしている。

2.2 適用の範囲

病院 BCP は、当院の全職員、施設に適用する。

業務委託先の企業との連携については、協定締結・契約・委託業務内容を含めて検討する。

2.3 文書管理と開示範囲

病院 BCP の策定・修正の承認は、重要事項は科長・医局長会議、経常的な修正は運営会議で行い、病院長が承認責任者となる。

- ・病院 BCP は、BCP 委員会および BCP 事務局（病院施設企画室）が文書管理を行い、常に最新版が使用される状態を維持する。
- ・病院 BCP は、当院の全構成員に開示し、周知する。ただし、個人情報保護、戦略的対応の秘匿等の観点から、全構成員への開示が適当でない部分は、必要な構成員の範囲での開示とする。
- ・当院の社会的責任として、病院 BCP の概要を公開する。
- ・病院 BCP は、本部事務機構をはじめ関係する大学内の他事業場に必要に応じて開示することがある。
- ・行政機関等からの求めに応じて、病院 BCP の必要な部分について開示することができるものとする。

3 想定する危機事象

3.1 想定する危機事象

病院 BCP は、当院が甚大な被害を受ける可能性の高い危機事象全体を対象とする。

ただし、この第 1 版の作成に当たっては、主に、仙台市内に大きな被害を与える直下型地震（震度 6 強）が発生した状況を想定している。そのため、地震以外の危機事象に適用する場合には、この点に留意して、適宜、危機事象の種類、特性に応じて柔軟に対応する。

感染症や放射線、化学物質などのハザードによる災害（CBRNE（注）災害）に対応した記述については、今後の病院 BCP 改定において検討していく（4.1.1.1「自動設置基準」② 参照）。

4 危機事象発生時の対応体制

4.1 当院災害対策本部（東北大学病院支部）

- ・当院が設置する災害対策本部は、東北大学全体としては「東北大学病院支部」と位置づけされる。

4.1.1 災害対策本部の設置基準

- ・災害発生時には、病院長が災害対策本部の設置を判断する。平日病院長不在時は、病院長代行（4.1.4「災害対策本部長が不在等の場合の代行順位」参照）が判断する。夜間休日などで病院長不在の場合は、本部長代行（高度救命救急センター医師）と夜勤師長が協議し、暫定災害対策本部を設置する（4.1.1.2「災害対策本部の設置手順」フロー図（図 1）参照）。
- ・本部事務機構に東北大学災害対策本部（以下「大学対策本部」という。）が設置され、当院に対して東北大学病院支部の設置の指示があった場合には、その指示に従い、災害対策本部を設置する。（4.1.2「災害対策本部（東北大学病院支部）組織図」（図 3）参照）。
- ・病院長が必要と判断した場合（「災害対策マニュアル」参照）。

4.1.1.1 自動設置基準

- ・以下の場合には、病院長判断を待たずに本部構成員は災害対策本部を設置する。

＜自動設置基準＞

- ① 仙台市青葉区 6 弱以上の地震や、宮城県内で大津波等の大規模自然災害が発生した場合
- ② 女川または福島原発事故、宮城県内の CBRNE（注）災害が発生した場合

（注）CBRNE とは：

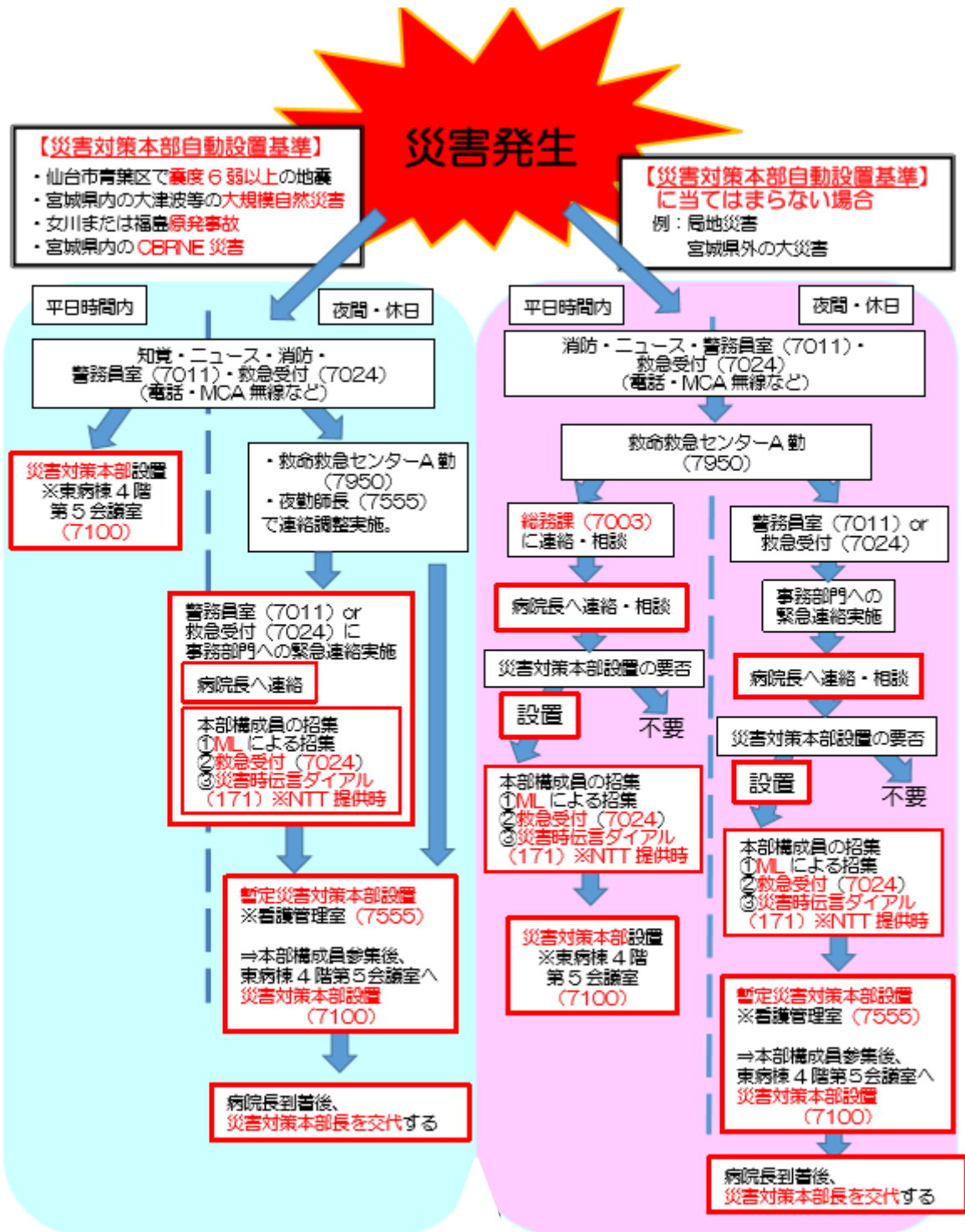
C【Chemical】（化学的ハザード）、B【Biological】（生物学的ハザード）、RN【Radiological and Nuclear】（核・放射線ハザード）、E【Explosive】（爆発）を使用したテロや災害のことをいう。

4.1.1.2 災害対策本部の設置手順

- ・災害対策本部の設置手順は以下のフロー図（図1）ならびに災害対策本部マニュアルに従う。

図 1

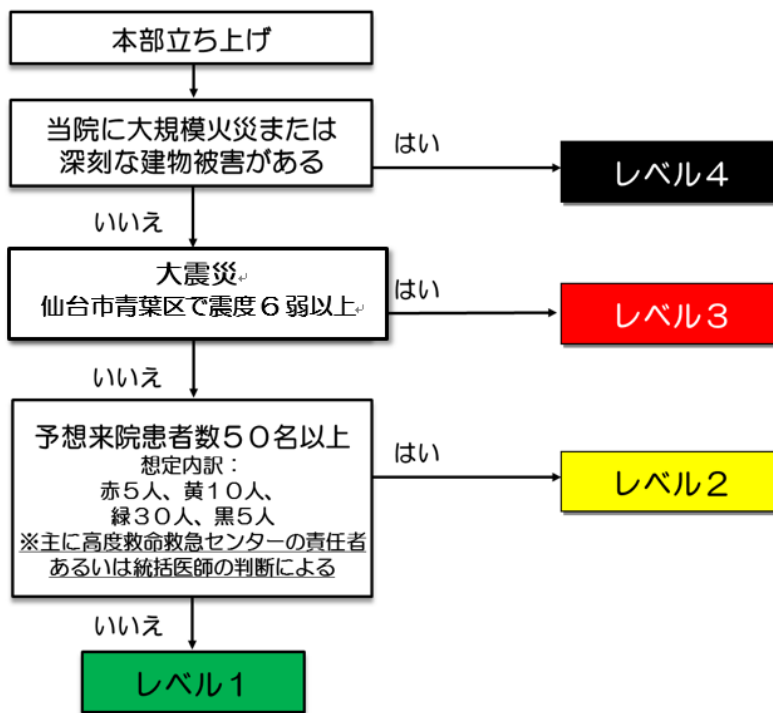
【災害対策本部設置フロー図】



「災害対策本部マニュアル」抜粋

- 災害対策本部の設置後、災害対策本部長は下図（図2）に基づいて災害レベルを決定し、レベル3以上を含めて必要な場合はBCPを発動するとともに、当院内の被災状況を遅滞なく大学対策本部に報告する。

図 2

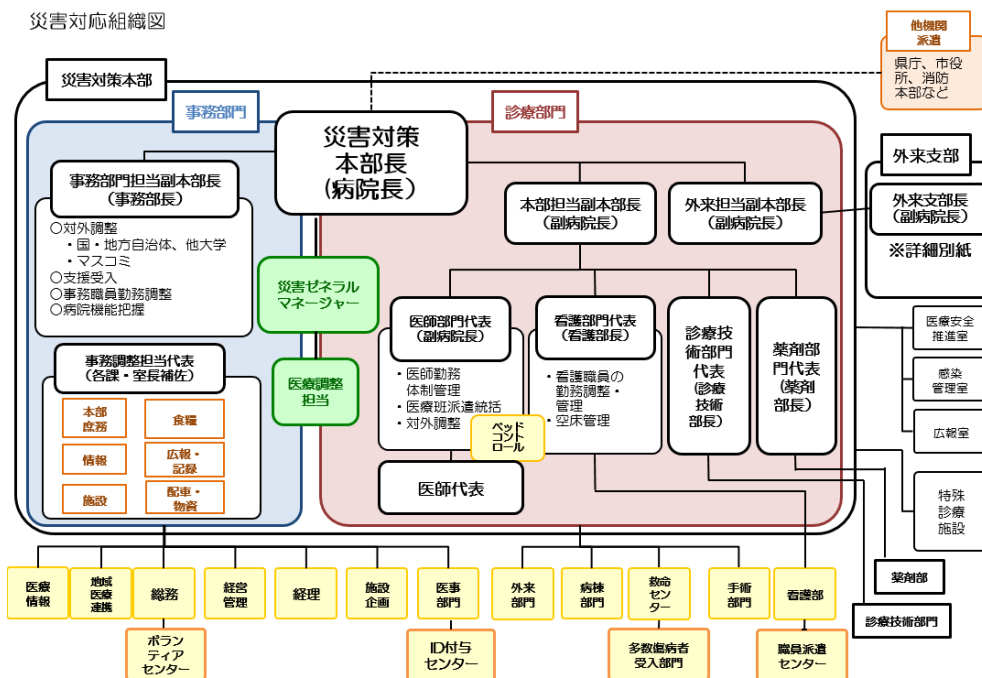


「災害対策本部マニュアル」抜粋

4.1.2 災害対策本部（東北大学病院支部）組織図

- 当院の災害対策本部（東北大学病院支部）の組織体制は以下のとおりとする。

図 3



「災害対策本部マニュアル」抜粋

4.1.3 災害対策本部構成員と役割

表 4-1

「災害対策本部マニュアル」抜粋

本部構成員						
No	構成員		平日時間内に発災した場合		時間外に発災した場合	責任者
			平日時間内	不在時		
1	災害対策本部長		病院長	①総括副病院長 ②経営・人事担当副病院長 ③診療担当副病院長 ④研究担当副病院長 ⑤経営・企画・総務担当副病院長 ⑥医療安全・感染管理・教育研修担当副病院長		
2	副本部長	本部担当	①総括副病院長 ②経営・人事担当副病院長 ③診療担当副病院長 ④研究担当副病院長 ⑤経営・企画・総務担当副病院長 ⑥医療安全・感染管理・教育研修担当副病院長		①本部長代行救命センター診療責任医 ②①から指名された者	
3-1		外来支部担当				
3-2		外来支部長				
4		医師部門代表				
5	災害ゼネラルマネージャー		災害対応マネジメントセンター部門 (災害対応調整部門・災害コーディネート部門)長		災害対策本部長が指名した者	
6	医師代表		救命センター部長	救命センター長が指名した救命センター副部長	①平日時間内と同じ ②①から指名された者	
			内科系代表1名 外科系代表2名 歯科系代表1名			※第1回災害対策本部会議に参集した医師と協議の上、災害対策本部長が指名した医師
7	薬剤部門代表		薬剤部長	薬剤部長が指名した副薬剤部長	①平日時間内と同じ ②①から指名された者	
8	看護部門代表		看護部長	看護部長が指名した副看護部長	夜勤師長	
9	診療技術部門代表		診療技術部長	診療技術部長が指名した部門長	①平日時間内と同じ ②①から指名された者	
10	事務部門担当副本部長		事務部長	総務課長(不在時はその他の課長・室長)	①平日時間内と同じ ②本部事務部門担当者	
11	事務調整担当		事務部門担当副本部長が指名する2名以上の各課・室長または補佐		①平日時間内と同じ ②本部事務部門担当者	
12	本部庶務		事務調整担当が指名する ※原則総務課事務職員、6名以上			総務係長
13	情報担当		事務調整担当が指名する ※原則医療情報室事務職員、4名以上			医療情報運用管理係長
14	施設担当		事務調整担当が指名する ※原則施設企画室事務職員、2名以上			設備係長
15	配車・物資担当	配車担当	事務調整担当が指名する ※原則経理課事務職員、2名以上			契約第一係長
16		物資担当	事務調整担当が指名する ※原則経理課、施設企画室事務職員、2名以上			契約第二係長
17	広報・記録担当		事務調整担当が指名する ※原則広報室総務係広報担当者、広報室員2名以上			広報室副室長
18	医療調整担当		災害対策本部長が指名する 災害対策委員またはDMAT隊員、3名以上			災害対策委員長
19	食糧担当	入院患者食担当	栄養管理室長	栄養管理室長が任命した職員	①平日時間内と同じ ②①から指名された者	栄養管理室長
20	災害対策本部長秘書		総合地域医療教育支援部秘書	事務職員	①平日時間内と同じ ②①から指名された者	総合地域医療教育支援部部長

4.1.4 本部構成員の招集基準及び方法

表 4-2

「災害対策本部マニュアル」抜粋

災害レベル	招集される 災害対策本部構成員	招集方法	
		大規模地震 (仙台市青葉区で震度6弱以上)	激甚局地災害等
レベル4	災害対策本部構成員 一覧全員	①自主登院 ②本部構成員 ML にて招集 ③本部構成員専用問い合わせ窓口を設置、本部構成員が問い合わせる	
レベル3	災害対策本部構成員 一覧全員	①自主登院 ②本部構成員 ML にて招集 ③本部構成員専用問い合わせ窓口を設置、本部構成員が問い合わせる	
レベル2	災害対策本部構成員一 覧より災害対策本部長 が必要と認めたもの	該当本部構成員個人に通知	
レベル1	災害対策本部構成員一 覧より災害対策本部長 が必要と認めたもの	該当本部構成員個人に通知	

4.1.5 災害対策本部設置場所

【災害対策本部設置場所】

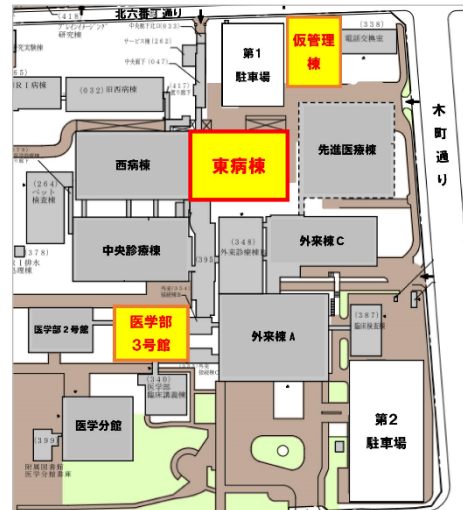
東病棟 4階：第5会議室

【代替場所】

第5会議室がなんらかの事情により使用できない場合は、以下の順に代替となる災害対策本部を設置する。代替本部として使用できるよう、必要な資機材、電源、通信設備の設置を行う。

- ①仮管理棟 4階：第1会議室
- ②医学部3号館7階：共用会議室

(大学病院配置図)



4.1.6 災害対策本部・外来支部のレイアウト、必要な設備、備品、設置手順

- ・災害対策本部及び外来支部のレイアウト、必要な設備・備品、設置手順については、災害対策マニュアルおよび災害対策本部マニュアルに定める。

4.1.7 災害対策本部の主な活動内容

- (1)災害発生直後、本部は迅速に病院内の被害状況を把握
- (2)災害レベルの決定
- (3)傷病者受け入れを指示
- (4)災害復旧を指示
- (5)被災地支援を指示

4.1.8 外来支部の主な活動内容

- (1)被災状況の把握
- (2)帰宅誘導・搬送
- (3)処置継続者の保護
- (4)入院患者の保護
- (5)避難誘導・動線管理
- (6)搬送等応援者派遣
- (7)帰宅困難者保護

・帰宅困難者への対策

患者・家族、職員、来訪者の安全を確保し、また帰宅困難者（※）の徒歩による一斉帰宅に伴う緊急車両の通行妨害等の混乱を回避するため、必要な備蓄を準備し、発災後の院内待機および一斉帰宅の抑制を図る。

※近距離徒歩帰宅者を除いた帰宅断念者（自宅が遠距離にあること等により帰宅できない人）と遠距離徒歩帰宅者を示す。発災後に一時避難等を目的として当院を訪れた者は含まない。

4.2 重要業務一覧

災害時には、人的被害・ライフラインの途絶等が発生することにより、全ての業務を遂行することは困難となる。このような状況であっても優先して実施しなければならない業務を重要業務といい、各重要業務を開始すべき目標時間（目標開始時間）と合わせて決めておく必要がある。これは、危機事象の発生直後のみならず、数か月先までを見通したものが業務継続のためには不可欠である。

病院 BCP では 4.2.1 病院全体のミッションに基づく重要業務ならびに 4.2.2 各診療部門の重要業務に分けて表記する。

4.2.1 病院全体の重要業務

表 4-3 (「目標時間」は目標着手時間あるいは目標復旧時間を示す。)

部 署	目標時間	重要業務 (大項目)	重要業務 (中項目)
病院全体	直後	安全確保	職員 (不在の職員の安否確認含む)
			施設
			患者と来訪者
	1 時間以内	多数傷病者 受入体制構築	新設外来部門 (トリアージ・赤・黄・緑・黒エリア)
			外来部門 (受け入れ準備・人材派遣・臨時ベッドの展開)
			病棟部門 (臨時ベッドの展開・人材派遣・ベッドコントロール・転院調整)
			中央診療部門 (検査・手術含む)
	12 時間以内	生活支援	職員 (勤務交替、食事、睡眠、その他の生活支援等)
			患者 (食事、保温、清潔、環境整備等)
	1 週間以内	災害時の地域医療機関の支援	
	2 週間以内	通常診療業務	外来部門
			病棟部門
中央診療部門			

4.2.2 各診療部門の重要業務一覧と具体的な行動計画

4.2.2.1 検査部

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
検査部	1時間以内	夜間休日検査室の緊急検査業務	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、要員の安全確認、建物・電気・水道・ガス・通信の状況を確認する <input type="checkbox"/> 装置の使用の可否状況を確認する (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 分析装置の動作確認と精度管理を実施し、測定可能項目を確認する <input type="checkbox"/> 検査場所と項目を確定する <input type="checkbox"/> オーダー方法・結果配信方法を確認し、検体受け入れ体制を整える <input type="checkbox"/> 試薬・消耗品の数を確認し、どの項目が何テスト(何日)測定可能か判断する (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 卸業者と連絡をとり、在庫を確保する <input type="checkbox"/> 測定可能機器・項目の正常化に向け検討する (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 業務正常化に向け、対応可能項目を検討する (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務に復旧する
		院内外新規発生(多数)傷病者の診療対応時の緊急検査業務	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 夜間休日検査室の緊急検査業務に準ずる
	3日以内	各検査室の通常検査業務	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、要員の安全確認、建物・電気・水道・通信の状況を確認する <input type="checkbox"/> 装置・保冷庫の使用の可否を確認する (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 分析装置の動作確認と精度管理を実施し、測定可能項目を確認する <input type="checkbox"/> 検査場所と項目を確定する <input type="checkbox"/> オーダー方法、結果配信方法を確認し、検体受け入れ体制を整える <input type="checkbox"/> 試薬・採取容器・消耗品の数を確認し、どの項目が何テスト(何日)測定可能か判断する (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 卸業者に連絡をとり、在庫の確保をする <input type="checkbox"/> 測定可能項目の拡大・正常化が可能か確認する <input type="checkbox"/> 復旧不可項目の外注委託を進める (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 測定不可の機器・項目の復旧を進める <input type="checkbox"/> 試薬等、在庫確認を徹底する (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務に復旧する 【微生物検査室】 (発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、要員の安全確認、建物・電気・水道・ガス・通信の状況を確認する <input type="checkbox"/> 分析装置の使用の可否状況を確認する <input type="checkbox"/> 培養庫・保冷庫の使用の可否状況を確認する <input type="checkbox"/> 菌による汚染状態の確認する (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 分析装置の動作確認を実施 <input type="checkbox"/> 培地・試薬・消耗品の数を確認し、どの項目が何テスト(何日)測定可能か判断する。卸業者と連絡をとり、在庫を確保する <input type="checkbox"/> オーダー方法、結果配信方法の手順を確認 <input type="checkbox"/> 汚染物の処理 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 培地の個数が揃い次第、細菌検査・抗酸菌検査の培養・感受性検査開始 <input type="checkbox"/> 検査中検体の状況確認 <input type="checkbox"/> 測定不可の機器の再立上げを行う (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務に復旧する

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
検査部	3日以内	中央採血室の外来採血業務	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、患者・要員の安全確認、建物・電気・水道・通信の状況を確認する <input type="checkbox"/> 装置の使用の可否状況を確認する (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 患者の誘導を行う <input type="checkbox"/> 帰棟困難患者の保護所受入・保護を行う <input type="checkbox"/> 採血システム・機材の確認をおこなう (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 採血業務の可否を判断する <input type="checkbox"/> 資材の在庫を確認する。卸業者に連絡し在庫の確保を行う
		外部委託検査業務	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、要員の安全確認、建物・電気・水道・通信の状況を確認する <input type="checkbox"/> 装置の使用の可否状況を確認する (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 外注検査検体の保管場所を確保する (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 外注検査委託可能かを外注会社に確認し、提出方法を整備する <input type="checkbox"/> 資材の在庫を確認する。卸業者に連絡し在庫の確保を行う (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 業務再開

4.2.2.2 手術部

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
手術部	直後	災害発生時点で手術を実施されている患者の診療	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従って行動 <input type="checkbox"/> インフラの確認 (電気、ガス (酸素、圧縮空気、窒素)、空調、吸引酸素ポンベの残量確認) <input type="checkbox"/> 機器が備え付きのバッテリーで稼働していないかの確認 <input type="checkbox"/> スタッフ状況の確認 <input type="checkbox"/> 移動・衝突した機器の状況確認 <input type="checkbox"/> 火災の有無の確認、あれば消火活動と本部へ連絡 <input type="checkbox"/> HIS・手術システム・LANの稼働確認 <input type="checkbox"/> 散乱した器機の片付け (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 手術部災害対策本部の設置 <input type="checkbox"/> 余震情報の確認、ワンセグTVの設置、災害用ホワイトボードの設置と記録者確保 <input type="checkbox"/> 病院全体の状況確認 <input type="checkbox"/> 水道 (手洗い装置)、器機洗浄用水の有無の確認 <input type="checkbox"/> 術後の受け入れ先と搬送人員の確保 <input type="checkbox"/> 搬送ルートの確認と片付け <input type="checkbox"/> 手術続行の是非の判断を本部と手術部で確認し、退室の順番を決定 <input type="checkbox"/> インフラに問題がある場合は、それぞれの問題に対応 <ul style="list-style-type: none"> 電気：消費電力を落とすために、照明の選別、機器の節電、加温装置など消費電力の高いものはなるべく使用しない ガス：酸素消費の節減、窒素を使用しない機器への転換 空調：部屋の開閉の回数制限と簡易空調の作動 (現在はありません) 吸引：電動吸引装置の配備 <input type="checkbox"/> システム：紙運用での対応と災害対策本部へその運用の報告 <input type="checkbox"/> 手術室映像の保存
	中断不可	災害後に実施する手術のための診療体制の構築	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードにしたがって行動 <input type="checkbox"/> スタッフの状況確認 (非番のものを含めた (らくらく連絡網を使用)) (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 手術部災害対策本部の設置 <input type="checkbox"/> 余震情報の確認、ワンセグTVの設置、災害用ホワイトボードの設置と記録者確保 <input type="checkbox"/> 病院全体の状況確認 <input type="checkbox"/> 地震によって散乱した物品等の片付け <input type="checkbox"/> 手術室の清掃と片付け <input type="checkbox"/> 手術室の使用状況やインフラの状況を確認把握

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
手術部	中断不可	災害後に実施する手術のための診療体制の構築	<input type="checkbox"/> 手術機器、衛生材料、薬品在庫のチェック <input type="checkbox"/> 輸血部に輸血剤の使用が可能な問い合わせ <input type="checkbox"/> ゴミ置き場の確保 (エレベーター前) <input type="checkbox"/> 受け入れ可能な手術術式と数を本部へ連絡 <input type="checkbox"/> 受け入れる手術の順番を本部と協議 (3日以内) <input type="checkbox"/> スタッフ就寝場所の確保 <input type="checkbox"/> 故障した機器の修理要請 <input type="checkbox"/> 高度医療機器の動作確認 <input type="checkbox"/> 空調の清掃 <input type="checkbox"/> 看護助手やデスポ医材業者の勤務体制の確認と要請 <input type="checkbox"/> 衛生材料や単回使用品の在庫をホギヤユニへ確認 <input type="checkbox"/> ユニフォーム、スクラブウェアの洗濯状況、帽子、ガウン、手袋の補充状況、酸素、窒素の補充状況、手洗い用石鹸の補充状況、蛋白凝固防止剤のストック

4.2.2.3 放射線部

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
放射線部	1時間以内	撮影・検査・治療機器運用・管理業務	(発災直後) <input type="checkbox"/> アクションカードに従いヒト、モノ、インフラの安全確認と状況確認 <input type="checkbox"/> アクションカードに従い報告・連絡 <input type="checkbox"/> アクションカードに従い指示待ち <input type="checkbox"/> 救命センター内モダリティの継続運用確認 (3時間以内) <input type="checkbox"/> アクションカードに従い必要項目の継続報告 <input type="checkbox"/> すべてのモダリティ、システム、関連機器、復旧点検 <input type="checkbox"/> 通常ワークフローの復旧、代替え確認作業 <input type="checkbox"/> 部内患者の誘導 <input type="checkbox"/> 人員再配置 (3日以内) <input type="checkbox"/> 業務継続、代替え業務案の提示 <input type="checkbox"/> 障害機器の復旧方針の提示 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 復旧機器の復旧計画 <input type="checkbox"/> 業務再開 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 復旧機器の復旧計画 <input type="checkbox"/> 業務再開
	6時間以内	放射線管理業務	(発災直後) <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、ヒト、モノ、インフラの安全確認と状況確認 <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、報告・連絡 (3時間以内) <input type="checkbox"/> アクションカードに従い必要項目の継続報告 <input type="checkbox"/> 放射線部門内の情報収集 <input type="checkbox"/> 放射線部門域以外の情報収集 (3日以内) <input type="checkbox"/> 管理業務体制の復旧 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 管理業務体制の復旧 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 通常業務再開
	6時間以内	院内支援業務	(発災直後) <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、ヒト、モノ、インフラの安全確認と状況確認 <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、報告 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 人員配置 (3日以内) <input type="checkbox"/> 他部門との情報連携により対応 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 他部門との情報連携により対応 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 他部門との情報連携により対応 <input type="checkbox"/> 通常業務再開

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
放射線部	2 か月以内	院外放射線管理支援業務	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、ヒト、モノ、インフラの安全確認と状況確認 <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、報告 (3 時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 院外情報収集 (3 日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 院外情報収集 (1 週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 院外支援体制の検討 (2 週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 院外支援体制の検討、計画

4.2.2.4 材料部

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
材料部	1 週間以内	医療器材の洗浄・滅菌業務	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき行動する <input type="checkbox"/> 要員の安全確認、建物・電気・蒸気・水道・通信の状況を確認する <input type="checkbox"/> 洗浄・滅菌装置の使用の可否状況 (エラー表示) を確認する <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄：水栓、恒温槽、WD 単体、WD6 連、カートウォッシャー ・アリエス端末稼働状況、シーラー ・高圧蒸気滅菌器 8 台、EOG 滅菌器 2 台、過酸化水素ガスプラズマ滅菌器 4 台 ・保管：バーチカル (手術器材保管回転棚) <input type="checkbox"/> 状況把握、必要により災害対策本部へ状況の連絡 (3 時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 状況把握、必要により災害対策本部へ状況の連絡 <input type="checkbox"/> 搬送機の稼働状況、SPD 職員による使用済み器材の回収の可否状況を確認し、可能であれば回収 <input type="checkbox"/> 電気・蒸気・水道の使用が可能であれば洗浄・滅菌業務遂行 <input type="checkbox"/> 業者との連絡 (機器の稼働状況に応じて点検依頼) <input type="checkbox"/> 稼働可能であった場合の 1 日に可能な業務量の算定 <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄：手洗い (恒温槽 50L と 70L) もしくは WD 稼働 (225L/台) R0 水タンクは 1000L 保有、非常用電源切り替え時は市水が断絶しない限り常時使用可能 手洗い水栓はすべて R0 水、WD は 45L/台使用 ・滅菌：蒸気不可の場合、AC 滅菌器は 1 台のみ稼働可能 (手術用コンテナ 2 個分、滅菌時間 75 分) ・ステラッド 100S2 台、NX2 台稼働可能 <input type="checkbox"/> 可能な業務量に応じた人員の確保 <input type="checkbox"/> 手術室看護師と使用可能な器材の確認、緊急手術時の器械準備 (3 日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電気・蒸気・水道の使用が不可であれば、他施設への滅菌業務依頼 <input type="checkbox"/> その場合、職員派遣 <input type="checkbox"/> 業者との連絡 (機器の稼働状況に応じて) (1 週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 洗浄・滅菌に関する在庫状況確認 <input type="checkbox"/> 業者との連絡 (洗浄液・滅菌に使用するステラッド®カセット・EOG ボンベの供給) (2 週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務への復旧

4.2.2.5 生理検査センター

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
生理検査センター	3時間以内	多数傷病者、受入体制構築 (依頼を受けた場合)	(発災直後) <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき行動 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 状況把握、必要により職員派遣センターへ連絡 (3日以内) <input type="checkbox"/> 他部署への応援 (職員派遣センターへの連絡) <input type="checkbox"/> 心電図、超音波、脳波検査は往診にて可能 (エレベータ稼働時) (1週間以内) <input type="checkbox"/> 他部署への応援 <input type="checkbox"/> 生理検査センターでの検査再開 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 往診以外の生理検査稼働、要請あれば、院外への技師の派遣
	3日以内	検査機器運用・管理業務	(発災直後) <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき行動 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 被害状況確認、使用可能な機器、動けるスタッフの確保 <input type="checkbox"/> システムダウン時 オフラインでの検査準備 (3日以内) <input type="checkbox"/> スタッフの確保 (センターでの連絡係、院内他部署へのスタッフ配置) (1週間以内) <input type="checkbox"/> 業者との連絡 (機器の稼働状況に応じて) <input type="checkbox"/> 生理検査の需要確認 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 通常業務への復旧
	2週間以内	往診での検査業務 (心電図、超音波、脳波)	(発災直後) <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき行動 (3日以内) <input type="checkbox"/> 心電図、超音波、脳波検査は往診にて可能 (エレベータ稼働時) (1週間以内) <input type="checkbox"/> 必要物品の確保 (心電図電極、超音波ゼリー、脳波ペースト等) <input type="checkbox"/> 生理検査センターでの検査再開 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 往診以外の生理検査稼働

4.2.2.6 集中治療部

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
集中治療部	中断不可	集中治療部入院患者の診療、生命の維持	(発災直後) <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、自分自身の安全の確保 <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、酸素、吸引器具の作動確認 <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、ME 機器の破損・作動状況・バッテリー残量を確認し、責任者に報告 <input type="checkbox"/> 医師の確保 (緊急時は主治医にも連絡) <input type="checkbox"/> システム停止時は、手書き用紙に変更 <input type="checkbox"/> ICU のリーダーが集まり病棟内の被害状況を確認 <input type="checkbox"/> アクションカードに従い避難経路の確認 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 勤務者以外の安全確認 <input type="checkbox"/> 勤務シフトの検討 <input type="checkbox"/> 患者食の確認 <input type="checkbox"/> 搬送手段の確保 (3日以内) <input type="checkbox"/> 薬剤・医療資源の在庫状況及び納入見込みの確認 <input type="checkbox"/> 必要あれば派遣要員の確保
	中断不可	院内新規発生の集中治療該当患者の受け入れ	(発災直後) <input type="checkbox"/> アクションカードに従う <input type="checkbox"/> 空床ベッドの確認 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 一般病棟へ退室可能な患者の検討 <input type="checkbox"/> 入室の準備 (3日以内) <input type="checkbox"/> 薬剤・医療資源の在庫状況及び納入見込みの確認 <input type="checkbox"/> 必要あれば派遣要員の確保

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
集中治療部	中断不可	院外新規発生の集中治療該当患者の受け入れ	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従う <input type="checkbox"/> 空床ベッドの確認 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 一般病棟へ退室可能な患者の検討 <input type="checkbox"/> 入室の準備 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 薬剤・医療資源の在庫状況及び納入見込みの確認 <input type="checkbox"/> 必要あれば派遣要員の確保

4.2.2.7 輸血・細胞治療部

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
輸血・細胞治療部	1時間以内	血液製剤の確保と供給、血液製剤の管理	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従って行動する。 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 血液センターと連絡を密にし血液製剤の確保に努める。血液型未確定だが緊急で血液製剤を必要とする患者が多数いる場合は、O型赤血球製剤とAB型血漿製剤の確保も考慮する。 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 3日間で停電が復旧せず非常電源も切れてしまった場合、適切な温度管理ができないため血液製剤は在庫できない。そのため緊急対応は難しくなる。情報を病院全体で共有し対応を考える。
	3日以内	輸血検査 (ABO/RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、交差適合試験)	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従って行動する <input type="checkbox"/> 診療支援システムおよびBLADの稼働状況確認 <input type="checkbox"/> 当日の職員配置をすると共に、以後の勤務体制を決定する (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 診療支援システムおよびBLADの稼働状況に合わせて、検査申込から報告までの運用を決定する (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 業者に連絡を取り試薬類を確保する。試薬の供給状況に合わせ運用を検討する <input type="checkbox"/> 不足している試薬等がある場合、他医療機関と連絡を取り合い融通しあう
	1週間以内	保管末梢血幹細胞の管理	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従って行動する (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 保管臍帯血があった場合、保管用液体窒素素容器の異常の有無を確認する。異常があった場合の対応は検討中 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 3日間で停電が復旧せず非常電源も切れてしまった場合は、末梢血幹細胞は適切に管理できない。情報を預かり依頼元と共有する

4.2.2.8 高度救命救急センター

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
高度救命救急センター	中断不可	高度救命救急センター入院患者の診療、生命維持	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 生命維持装置 (人工呼吸器、人工心肺装置、人工透析等) の運転状況、接続状況の確認 <input type="checkbox"/> 緊急時対応 (事故抜去や自然抜去に伴う、気道緊急、出血、循環動態変動への対応) <input type="checkbox"/> 輸液ポンプから手動滴下への変更 <input type="checkbox"/> 発災時報告実施 <input type="checkbox"/> ベッドコントロール、空床確保の依頼 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 不必要な消費電力の見直し <input type="checkbox"/> 生命維持装置の優先順位も含めた主要な医療機器の電源確保 <input type="checkbox"/> 定時報告実施 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電力を消費する生命維持装置の優先順位付け、電源確保 <input type="checkbox"/> 軽症患者の一般病棟への転床 <input type="checkbox"/> 本部も含めた医療搬送計画の立案 <input type="checkbox"/> 他科との診療応援体制 (職員派遣、患者管理を含む) の構築 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 上記項目の機能維持 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 救命救急センターの平常化に向けた対応
	1時間以内	院内外新規発生 (多数) 傷病者の診療対応	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 他部署からの応援を受け、多数傷病者受入部門の立ち上げ <input type="checkbox"/> 新設部門立ち上げの人員派遣のため、職員派遣センター・ボランティアセンターの立ち上げの指示 <input type="checkbox"/> ベッドコントロール、空床確保の依頼 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 新設部門と既設部門間の院内の傷病者搬送についてのルールを作成 <input type="checkbox"/> 新設部門と既設部門間の連絡調整についてルールを作成 <input type="checkbox"/> 医療資器材不足時の供給体制構築 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 院内の患者の転院搬送と重症患者の受入など、本部も含めた医療搬送計画の立案 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 上記項目の機能維持 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 救命救急センターの平常化に向けた対応

4.2.2.9 血液浄化療法部

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
血液浄化療法部	3日以内	ICUにおける血液浄化 (集中治療患者 CHDF)	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 血液浄化療法部での即座の行動はなし。 <input type="checkbox"/> 装置の転倒、損壊がないか ICU の看護師または ICU 系の臨床工学技士が対応し、動作確認もおこなう。非常用電源が動く限りは継続可能。 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了処置をする場合は、血液浄化室で直後対応にあっていた臨床工学技士が ICU にいければいき、血液浄化室業務が多忙なときは ICU 系の臨床工学技士と協力する。 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 資材在庫確認し手配ないし確保 <input type="checkbox"/> 診療科の治療方針の確認 <input type="checkbox"/> 装置不測に備えた治療の優先順位を診療科と協議 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 装置台数が不足することが予想された場合の対策 既存患者で休止できるものがあるか、事業者に装置借用等依頼するか <input type="checkbox"/> 資材在庫確認し、手配ないし確保

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
血液浄化療法部	3日以内	ICUにおける血液浄化 (ICUへ搬送された重症患者への血液浄化)	(発災直後) <input type="checkbox"/> 災害の種類や規模の情報収集、とくに圧挫症候群発生の可能性について (3時間以内) <input type="checkbox"/> 新たに使用可能な装置数の確認 <input type="checkbox"/> 被害規模の情報収集 (3日以内) <input type="checkbox"/> 装置台数が不足することが予想された場合の対策 既存患者で休止できるものがあるか、事業者装置借用等依頼するか <input type="checkbox"/> 資材在庫確認し、手配ないし確保 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 装置台数が不足することが予想された場合の対策 既存患者で休止できるものがあるか、事業者装置借用等依頼するか <input type="checkbox"/> 資材在庫確認し、手配ないし確保
	中断不可	救急における急性血液浄化 (集中治療患者 CHDF)	(発災直後) <input type="checkbox"/> 災害の種類や規模の情報収集、とくに圧挫症候群発生の可能性について (3時間以内) <input type="checkbox"/> 新たに使用可能な装置数の確認 <input type="checkbox"/> 被害規模の情報収集 (3日以内) <input type="checkbox"/> 装置台数が不足することが予想された場合の対策 既存患者で休止できるものがあるか、事業者装置借用等依頼するか <input type="checkbox"/> 資材在庫確認し、手配ないし確保 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 装置台数が不足することが予想された場合の対策 既存患者で休止できるものがあるか、事業者装置借用等依頼するか <input type="checkbox"/> 資材在庫確認し、手配ないし確保
	中断不可	救急における急性血液浄化 (救急へ搬送された重症患者への血液浄化)	(発災直後) <input type="checkbox"/> 災害の種類や規模の情報収集、とくに圧挫症候群発生の可能性について (3時間以内) <input type="checkbox"/> 新たに使用可能な装置数の確認 <input type="checkbox"/> 被害規模の情報収集 (3日以内) <input type="checkbox"/> 装置台数が不足することが予想された場合の対策 既存患者で休止できるものがあるか、事業者装置借用等依頼するか <input type="checkbox"/> 資材在庫確認し、手配ないし確保
	中断不可	診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化 (入院中の維持透析患者への血液浄化)	(発災直後) <input type="checkbox"/> 安全確保、安全確認：地震では布団をかぶりベッド柵をつかんでもらう、避難経路の確保、窓ガラス破損対策、ラジオ、ワンセグTVをOn <input type="checkbox"/> 電気、水供給の停止した場合、抜針せずに緊急に終了するかの判断 <input type="checkbox"/> 損壊、火災、ガス漏れなど直ちに避難を要するか判断 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 中断患者の治療再開の可否を判断 <input type="checkbox"/> MCA無線、ラジオ、ワンセグ等にて情報収集 (3日以内) <input type="checkbox"/> 資材補給 <input type="checkbox"/> 診療科治療継続かの方針確認 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 診療科治療継続かの方針再確認 <input type="checkbox"/> 紹介元で当該患者の退院後に透析継続が可能か情報交換 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 診療科治療継続かの方針再確認 <input type="checkbox"/> 紹介元で当該患者の退院後に透析継続が可能か情報交換
	中断不可	診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化 (エレベータ停止による各病棟への患者移送)	(発災直後) <input type="checkbox"/> 安全確保、安全確認：地震では布団をかぶりベッド柵をつかんでもらう <input type="checkbox"/> 避難経路確保、窓ガラス破損対策、エレベータ稼働確認、 <input type="checkbox"/> 患者所在を本部報告 (3時間以内) <input type="checkbox"/> エレベータ稼働確認。病棟に帰室させるかどうかの判断、帰室させる場合患者1名あたり3名の移送応援者の手配 (3日以内) <input type="checkbox"/> 血液透析室稼働可能だがエレベータ停止が続けば復旧するまで患者の移送にあたって患者1名あたり3名の移送応援者の手配 (1週間以内)

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
血液浄化療法部			<input type="checkbox"/> 血液透析室稼働可能だがエレベータ停止が続けば復旧するまで患者の移送にあたって患者1名あたり3名の移送応援者の手配 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 血液透析室稼働可能だがエレベータ停止が続けば復旧するまで患者の移送にあたって患者1名あたり3名の移送応援者の手配
	中断不可	診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化 (ライフラインの確認、治療継続または、再開できるか検討)	(発災直後) <input type="checkbox"/> 安全確保、安全確認：地震では布団をかぶりベッド柵をつかんでもらう、避難経路の確保、窓ガラス破損対策、ラジオ、ワンセグTVをOn <input type="checkbox"/> 電気、水供給の停止した場合、抜針せずに緊急に終了するかの判断 <input type="checkbox"/> 損壊、火災、ガス漏れなど直ちに避難を要するか判断 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 中断患者の治療再開の可否を判断 <input type="checkbox"/> MCA無線、ラジオ、ワンセグ等にて情報収集 (3日以内) <input type="checkbox"/> 資材補給 <input type="checkbox"/> 診療科治療継続かの方針確認 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 診療科治療継続かの方針再確認 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 診療科治療継続かの方針再確認
	中断不可	地域の透析医療の被災状況と情報管理 (支援透析の受入れ)	(3時間以内) <input type="checkbox"/> 情報発信：日本透析医会災害ネットワーク <input type="checkbox"/> 情報発信と収集：MCA無線 <input type="checkbox"/> 災害医療コーディネーターは県の災対本部へ <input type="checkbox"/> 支援透析を受ける場合のチームリーダー、チームメンバー、交代体制構築 (3日以内) <input type="checkbox"/> 支援透析受け入れの要否決定 <input type="checkbox"/> 受け入れる場合は受け入れ。 <input type="checkbox"/> 受け入れる場合は資材手配 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 情報収集継続 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 情報収集と調整 <input type="checkbox"/> より重篤な外因性、内因性合併症の維持透析患者の受け入れ
	中断不可	地域の透析医療の被災状況と情報管理 (通信インフラ途絶時の関連病院の情報収集)	(発災直後) <input type="checkbox"/> 震度、震源、津波発生など、災害規模の情報収集 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 自院の情報通信インフラの被害状況確認 <input type="checkbox"/> 地域情報収集の担当リーダー選出 <input type="checkbox"/> 病院災対本部や関連病院との間で被災情報収集 (3日以内) <input type="checkbox"/> 情報収集、発信に実際に地域に出向く要員を決め、安全確保。 <input type="checkbox"/> 得た情報を地域、および県の災対本部で共有する (1週間以内) <input type="checkbox"/> 情報収集、特に医師の応援の必要性について確認 <input type="checkbox"/> 地域の基幹透析医療機関と情報共有 <input type="checkbox"/> 要すれば県外医療機関との調整 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 情報収集継続。特に損壊インフラ復旧

4.2.2.10 メディカルITセンター(MITC)

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
メディカルITセンター	2か月以内	病院情報システムおよび診療録の維持・管理	(発災直後) <input type="checkbox"/> 障害システムによって機能可否まとめ→対策本部へ <input type="checkbox"/> 復旧対策 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 障害システムによって機能可否まとめ→対策本部へ <input type="checkbox"/> 復旧対策 (3日以内) <input type="checkbox"/> 障害システムによって機能可否まとめ→対策本部へ <input type="checkbox"/> 復旧対策 (1週間以内)

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
メディア ルIT センター			<input type="checkbox"/> 障害システムによって機能可否まとめ→対策本部へ <input type="checkbox"/> 復旧対策 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 正常化
	2か月以内	通信システムの維持・管理	(発災直後) <input type="checkbox"/> 被害確認 <input type="checkbox"/> システム確認 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 障害システムによって機能可否まとめ→対策本部へ <input type="checkbox"/> 復旧対策 (3日以内) <input type="checkbox"/> 障害システムによって機能可否まとめ→対策本部へ <input type="checkbox"/> 復旧対策 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 障害システムによって機能可否まとめ→対策本部へ <input type="checkbox"/> 復旧対策 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 正常化
	2か月以内	地域連携システムの維持・管理	(発災直後) <input type="checkbox"/> 被害確認 <input type="checkbox"/> システム確認 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 障害システムによって機能可否まとめ→対策本部へ <input type="checkbox"/> 復旧対策 <input type="checkbox"/> (3日以内) <input type="checkbox"/> 障害システムによって機能可否まとめ→対策本部へ <input type="checkbox"/> 復旧対策 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 障害システムによって機能可否まとめ→対策本部へ <input type="checkbox"/> 復旧対策 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 正常化

4.2.2.11 歯科外来

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
歯科 外来	3日以内	被災傷病者の歯科診療	(3時間以内) <input type="checkbox"/> 診療設備、電気・水・医療ガス供給、診療支援システム稼働の確認。 <input type="checkbox"/> 放射線部等の稼働状況の把握。 <input type="checkbox"/> 診療器材在庫・中材稼働状況の調査に基づく対応可能患者数の把握。 <input type="checkbox"/> 職員（歯科医師・歯科衛生士）配置の策定。 (3日以内) <input type="checkbox"/> 被災傷病者の歯科診療開始。
	2週間以内	一般外来患者の歯科診療	(発災直後) <input type="checkbox"/> アクションカードに基づいて行動。 (3時間以内) <input type="checkbox"/> 職員配置の策定。 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 一般外来診療業務を再開。
	1週間以内	歯科医師の院外派遣	(3時間以内) <input type="checkbox"/> 地域歯科医師会の災害対策本部との連携開始。 (3日以内) <input type="checkbox"/> 歯科医師派遣計画立案。 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 歯科医師派遣開始。

4.2.2.12 ME センター

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
ME センター (装 置 別)	中 断 不 可	生命維持管理装置の維持・管理 (人工心肺装置、補助循環装置)	<p>(発災直後)</p> <p>【人工心肺】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき行動する <input type="checkbox"/> 人工心肺操作 CE は自身の身を守りつつ患者と人工心肺装置の距離を一定に保ち体外循環回路が離断しないように装置を押さえる。 <input type="checkbox"/> リザーバーレベルを高めに設定し血液流量を極力抑えぎみにする。 <input type="checkbox"/> 人工心肺操作補助 CE は手術部担当 CE または技士長へ安否を報告。負傷者が出た場合はただちに応援を要請。 <input type="checkbox"/> 人工心肺操作 CE は執刀医および麻酔医へ人工心肺に異常がないか、体外循環継続可能かを報告。場合によっては PCPS への切り替えも検討。 <input type="checkbox"/> 人工心肺操作補助 CE は室内 (電気・医療ガス・水道・壁・天井・床・機器)の被害状況を確認 <input type="checkbox"/> 体外循環離脱可能な段階であればできるだけ早急に離脱の方向へ。 <input type="checkbox"/> 離脱不可能であれば余震による二次災害に細心の注意を払いながら体外循環継続 <p>【補助循環】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき行動する <input type="checkbox"/> 患者・装置・回路の被害状況確認、大まかな点検の指示 <input type="checkbox"/> 患者周囲 (電気・医療ガス・水道・壁・天井・床・機器)の被害状況確認の指示 <input type="checkbox"/> 装置の破損・停止：ただちに手動駆動に切り替え、装置の交換 <input type="checkbox"/> 回路の外れ：IABP→再度接続、PCPS→状況によって回路交換 <input type="checkbox"/> 余震に備え、装置と患者が離れないよう装置とベッドの相互を固定 <input type="checkbox"/> トラブルの有無を Ns に報告。(補助循環装着患者が多い場合は主治医への報告は Ns に依頼) <p>(3 時間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被害状況、手術(体外循環)継続の可否、応援が要・不要等を手術部担当 CE 経由または技士長へ直接報告。 <p>(3 日以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 環境が整えば人工心肺を用いる手術依頼に対応する <input type="checkbox"/> メーカーとの回路や人工肺の在庫の確認・調整
	中 断 不 可	生命維持管理装置の維持・管理 (閉鎖式保育器、人工呼吸器・麻酔器、医療ガス)	<p>(発災直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき行動する <input type="checkbox"/> 速やかに使用している病棟に行き、各機種とも主治医や担当ナースと動作確認を行う <input type="checkbox"/> 医療ガス監視モニターで製造設備に状況を確認する <input type="checkbox"/> 防災監視室 (7073) に、電源装置や液体酸素、空気圧縮機、吸引装置等の運転状況の確認をする。 <input type="checkbox"/> 機器の故障による動作異常の場合は、代替器に交換する。 <p>(3 時間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 不足する医療機器があればメーカーのサービス体制を確認する <input type="checkbox"/> 医療ガスメーカーと連絡を取り、なるべく早期に院内の製造設備の作動状況を確認する <input type="checkbox"/> 異常発見時や、動作確認状況を部門長に報告する。 <input type="checkbox"/> 周辺病院の状況を確認し、受入が必要であれば機器を準備する <input type="checkbox"/> 被害状況、対応状況、応援の要・不要等を技士長へ報告 <p>(3 日以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 医療ガスメーカーの製造設備の状況・サプライ状況を確認する <p>(1 週間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 次回の液体酸素の充填日の調整 <p>(2 週間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 次回の液体酸素の充填日の調整
	12 時間 以内	補助人工心臓装着患者の受け入れ	<p>(発災直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき行動する <input type="checkbox"/> VAD チームスタッフを選出・割り振り、患者確認の指示 <input type="checkbox"/> 電話を利用した患者・装置の被害状況確認、大まかな点検の指示 <input type="checkbox"/> 主治医・移植コーディネーターとの連携確認 <p>(3 時間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 在宅療養患者の受け入れ(コンソール・チャージャ)準備

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
MEセンター (装置別)			<input type="checkbox"/> 患者に可能な限り AC 電源を持参してもらうよう Dr・移植コーディネーター・病棟 Ns に依頼 <input type="checkbox"/> 患者の受入れのため待機を継続する <input type="checkbox"/> 被害状況、対応状況、応援の要・不要等を技士長へ報告 (3日以内) <input type="checkbox"/> 患者の受入れ、自宅への帰宅などに対応するため待機を継続する (1週間以内) <input type="checkbox"/> 患者の受入れ、自宅への帰宅などに対応するため待機を継続する

4.2.2.13 栄養管理室

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
栄養管理室	3日以内	入院患者の食事	(発災直後) <input type="checkbox"/> 当室スタッフならび厨房スタッフ (委託会社) の安全確認ができています <input type="checkbox"/> 時間と食事提供までの時間の確認と EV 使用可能かどうかの確認ができています <input type="checkbox"/> 厨房内ライフライン (水道・ガス・電気・蒸気等) の確認ができています <input type="checkbox"/> 厨房機器が使用可能かどうかの確認ができています <input type="checkbox"/> 発災後、初回の食事提供の可否の指示 (非常食切り替えの指示) <input type="checkbox"/> 診療支援および部門システムの使用の確認ができています <input type="checkbox"/> 食事変更伝票運用をやるかどうかを決定している <input type="checkbox"/> アレルギー食・えんげ食・経腸栄養のみの患者のリストアップができています (3時間以内) <input type="checkbox"/> 配食ルートの確認 (EV) ができています <input type="checkbox"/> 下膳ルートの確認の確認ができています <input type="checkbox"/> 非常食配布の準備ができています <input type="checkbox"/> 勤務できるスタッフの確保ができています <input type="checkbox"/> 食材納入の見通し確認ができています (3日以内) <input type="checkbox"/> 非常食が終了する翌食 (発災後 11 食目の食事) の準備ができています <input type="checkbox"/> 食材納入状況と災害時の献立ができています <input type="checkbox"/> 勤務シフトができています (1週間以内) <input type="checkbox"/> 食材料の確保と今後の食材料納入の見通しがついている <input type="checkbox"/> 特別治療食の献立ができていて実施できるようになっている (2週間以内) <input type="checkbox"/> 食種対応ができる (3週間以内) <input type="checkbox"/> 禁止代替コメントの対応ができる (1ヶ月以内) <input type="checkbox"/> 通常の食事対応ができる
	中 断 不 可	外来部門受入れ準備 (透析・在宅酸素など)	(発災直後) <input type="checkbox"/> なし (3時間以内) <input type="checkbox"/> 入院病棟との情報伝達を綿密に回り、食事の有無を確認できています (3日以内) <input type="checkbox"/> 被災地からの組織的な入院体制が取られて、入院フローが確立されている <input type="checkbox"/> 被災地からの予測される入院者の増加を把握できている <input type="checkbox"/> 入院期間の確認 (退院日を含めて) ができている
		外来部門受入れ準備 (帰宅困難者対応など)	(発災直後) <input type="checkbox"/> なし (3時間以内) <input type="checkbox"/> 看護部と連携し、帰宅困難者数を把握し、食料の準備を図っている (1日以内) <input type="checkbox"/> 帰宅困難者の転記を把握して、入院者にたいし、食事提供者を把握する
3日以内	災害時の地域医療連携	(発災直後) <input type="checkbox"/> なし (3日以内) <input type="checkbox"/> 医療班派遣の計画の有無を災害対策本部より入手する <input type="checkbox"/> 医療班派遣計画があった場合は班の構成やチーム数、派遣日数などを把握して食事供給計画を立てる <input type="checkbox"/> 具体的な物資の準備をする	

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
栄養管理室			(1週間以内) <input type="checkbox"/> 医療班派遣時の供給体制ができています (2週間以内) <input type="checkbox"/> 上記体制が継続できています
	1日以内	近隣病院との連携	(発災直後) <input type="checkbox"/> なし (1時間以内) <input type="checkbox"/> なし (1日以内) <input type="checkbox"/> 災害対策本部の支援物資担当者との連携をはかるの窓口の確認ができています <input type="checkbox"/> 非常食以降の院内の必要食料を算出しておく <input type="checkbox"/> 近隣や被災地の被害状況や食料状況の情報集約を行う <input type="checkbox"/> 国立大学病院栄養部門ネットワークを活用し被災地の情報の共有と支援物資の依頼をする <input type="checkbox"/> 上記をもとに食料支援計画を立てる (3日以内) <input type="checkbox"/> 支援物資が届いたら本部の支援物資担当者との連携協同し支援物資を把握保管する。 <input type="checkbox"/> 支援物資は前述の院内必要分の食料を確保したのち、食料支援計画にもとづき被災地へ手配する。 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 上記体制ができています (2週間以内) <input type="checkbox"/> 上記体制が継続できています

4.2.2.14 薬剤部

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
薬剤部	中断不可	トリアージポストでの調剤業務	(発災直後) <input type="checkbox"/> 災害対策本部設置及び災害レベルの連絡(放送)を受け、薬剤部代表者の指示のもとトリアージエリアに薬剤師を配置する(薬剤部内で業務可能な薬剤師が4名未満の場合は薬剤師を配置できないこともある) <input type="checkbox"/> 赤・黄エリア:初期薬品を準備する。なお、赤エリアを優先する <input type="checkbox"/> 緑エリア:必要物品と薬品を準備し、臨時調剤ブースを設置する (3時間以内) <input type="checkbox"/> 業務継続のために勤務ローテーションを決定する (3日以内) <input type="checkbox"/> (1週間以内) <input type="checkbox"/> 業務の縮小を検討する
	中断不可	調剤業務等医薬品の供給	(発災直後) <input type="checkbox"/> 薬剤部内の医薬品の保管(破損)状況を確認する <input type="checkbox"/> 診療支援システム、物流システム、調剤機器の状況を確認する (1時間以内) <input type="checkbox"/> 薬剤部内に薬剤部災害対策会議を設置し、部内の状況評価と各業務の継続の可否について決定し、本部に報告する <input type="checkbox"/> 現行入力されている処方を取り扱い、手書き又はオーダーリングの運用を決定し、調剤を行う <input type="checkbox"/> 注射オーダーの調剤は中止し、注射剤の払出は物流システム又は注射薬請求伝票を用いて行う <input type="checkbox"/> 化学療法センター業務は関連部署と協議し、継続の可否を決定する (3時間以内) <input type="checkbox"/> ICU及び手術部の在庫を確認し、必要な薬品を補充する(業務可能な薬剤師が7名未満の場合は業務をできないこともある) (3日以内) <input type="checkbox"/> 業務制限の段階的解除の決定 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 業務正常化に向けた体制整備

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
薬剤部	3日以内	薬品購入	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 薬剤部内の医薬品の保管 (破損) 状況を確認する <input type="checkbox"/> 不足した薬品の購入 (緊急発注) を行う (1日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 外来・病棟の医薬品の保管 (破損) 状況を確認する。使用予定の無い冷所薬品は回収し、薬剤部で保管する <input type="checkbox"/> 薬品卸に連絡し、供給体制について確認する <input type="checkbox"/> 不足が予想される薬品を購入する (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中止した業務の再開に向けて薬品の在庫確認や発注を行う。 <input type="checkbox"/> 物流システムを用いた自動発注やモデムを利用した発注が可能か確認し、薬品購入の正常化を図る

4.2.2.15 看護管理室

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
看護管理室	中断不可	看護師配属部署の現状把握 (患者、看護師、建物・ライフライン)	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入院患者・外来患者・家族の安全を確認する <input type="checkbox"/> 看護師配置部署の看護師の安全を確認する <input type="checkbox"/> 看護師配置部署の建物の安全を確認する <input type="checkbox"/> 看護師配置部署のライフラインの状況を確認する (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病院外の職員の安否確認をする <input type="checkbox"/> 診療支援システム、部門システムの稼働状況の確認をする <input type="checkbox"/> 看護師配置部署の交代要員の確保をする <input type="checkbox"/> 育児中の看護職員への支援 <input type="checkbox"/> 患者食、職員食の確認 <input type="checkbox"/> 派遣センターの設置・運営開始 <input type="checkbox"/> 病院全体のリネン類、病衣の調達と調整 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災後3日間の勤務者の確保 (労務調整) <input type="checkbox"/> 受持ち患者の再編を行い、各トリアージポストへの応援要員を確保する <input type="checkbox"/> 患者食、職員食の確保 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災後1週間の勤務者の確保 (労務調整) <input type="checkbox"/> 職員食の確保 <input type="checkbox"/> 職員の交通手段、休息、食事の状況の情報収集開始 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災後2週間の勤務者の確保 (労務調整) <input type="checkbox"/> 職員の交通手段、休息、食事の状況確認・対応
	1時間以内	空床確保、新規患者の受け入れ体制構築	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自分自身、周囲の人の安全確保・避難経路確保 <input type="checkbox"/> 看護管理室所属の職員・家族の安全を確認する <input type="checkbox"/> 看護管理室の建物の安全を確認する <input type="checkbox"/> 看護管理室のライフラインの状況を確認する (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 院内の空床の確認 <input type="checkbox"/> 病棟で病状が安定している患者を決定し退院調整と支援 <input type="checkbox"/> 緊急入院のベッド確保 (病床コントロール) <input type="checkbox"/> 診療支援システム、部門システムの稼働状況の確認をする <input type="checkbox"/> 看護師配置部署の交代勤務要員の確保をする (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災後3日間の勤務者の確保をする <input type="checkbox"/> 多数傷病者受け入れ部門等への応援要員の調整 <input type="checkbox"/> 職員派遣センターの運営維持 <input type="checkbox"/> 他部門への応援体制の構築 <input type="checkbox"/> ボランティアの受け入れ調整 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災後1週間の勤務者の確保 (労務調整) <input type="checkbox"/> ボランティア受け入れ継続 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 上記項目の機能維持

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画（BCP チェックリスト）
看護管理室	1日以内	院内人的リソースの適正配分	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 看護師配属部署の現状把握に準じる (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病状が安定している患者を決定し退院調整と支援 <input type="checkbox"/> 緊急入院のベッド確保（病床コントロール） <input type="checkbox"/> 病院外の職員の安否確認をする <input type="checkbox"/> 診療支援システム、部門システムの稼働状況の確認をする <input type="checkbox"/> 看護師配置部署の交代勤務要員の確保をする <input type="checkbox"/> 災害対策本部の指示の基他部門と共同して職員派遣センターの立上げ <input type="checkbox"/> 職員派遣の登録作業、派遣作業を行う <input type="checkbox"/> 災害対策本部との情報共有 <input type="checkbox"/> 院内の人的リソースの適正配分を行う (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災後3日間の勤務者の確保をする <input type="checkbox"/> 多数傷病者受け入れ部門等への応援要員の調整 <input type="checkbox"/> 職員派遣センターの運営維持 <input type="checkbox"/> 関連部署からの情報収集 <input type="checkbox"/> 院内の職員派遣の検討 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災後1週間の勤務者の確保 <input type="checkbox"/> 院内の看護師応援体制構築 <input type="checkbox"/> 職員派遣体制の構築 <input type="checkbox"/> 院内外の状況に応じて機能 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 上記項目の機能維持 <input type="checkbox"/> 院内外の状況に応じて機能維持と機能拡大の検討をする
	3か月以内	院外への看護師派遣調整	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 看護師配属部署の現状把握に準じる (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病院外の職員の安否確認をする <input type="checkbox"/> 看護師配置部署の交代要員の確保をする <input type="checkbox"/> 派遣センターの設置・運営開始 <input type="checkbox"/> 院外への看護師派遣調整のための準備をする (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災地の情報収集 <input type="checkbox"/> 各施設の看護部長ネットワークを通じて看護リソースの確認 <input type="checkbox"/> 宮城県、仙台市の行政との情報共有 <input type="checkbox"/> 災害対策本部と医療班の調整 <input type="checkbox"/> 行政と確認し避難所へ看護師派遣の検討・調整 <input type="checkbox"/> 該当する専門職員のリスト化と継続体制検討 <input type="checkbox"/> 支援物資の選定と必要な支援物資の要請 <input type="checkbox"/> 被災地から衣服・日用品・薬品等の情報をもらいアセスメントする (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 上記項目の機能維持 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 上記項目の機能維持 <input type="checkbox"/> 院内外の状況に応じて適宜調整をする <input type="checkbox"/> 継続して情報収集をして院外への看護師派遣体制を再構築する

4.2.2.16 看護部（外来）

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画（BCP チェックリスト）
看護部（外来）	中断不可	外来受診患者・家族の生命の安全確保	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 外来患者・家族の安全を確認する <input type="checkbox"/> 各部署の看護師の安全を確認する <input type="checkbox"/> 各部署の建物の安全を確認する <input type="checkbox"/> 各部署のライフラインの状況を確認する <input type="checkbox"/> 被災のレベルに応じ災害対策外来支部の立上げ (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病院外の職員の安否確認をする <input type="checkbox"/> 育児中の看護職員への支援 <input type="checkbox"/> 診療支援システム、部門システムの稼働状況の確認をする (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 帰宅困難患者の把握と対応、支援、病態に応じ入院の可否決定 <input type="checkbox"/> 診療支援システム、部門システムの稼働状況の確認をする <input type="checkbox"/> 外来通院中の患者からの問い合わせ対応 <input type="checkbox"/> 多数傷病受け入れ部門等への応援要員の調整 <input type="checkbox"/> 外来受付窓口の制限と維持 <input type="checkbox"/> 市民や外来通院患者に向けてテレビ等で診療制限のテロップ流し情報提供 <input type="checkbox"/> 広報室と災害対策本部との連携 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本的に帰宅困難患者の事が解決すれば業務を縮小 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 外来受診患者の受付窓口業務
	2週間以内	一般外来診療の再開に向けた環境整備	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 外来受診患者・家族の生命の安全確認に準ずる (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病院外の職員の安否確認をする <input type="checkbox"/> 診療支援システム、部門システムの稼働状況の確認をする <input type="checkbox"/> 防災部会と連携し外来部門の被害状況を把握 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病院外の看護職員の安否確認 <input type="checkbox"/> 多数病床受け入れ部門等への応援要員の調整 <input type="checkbox"/> 外来以外への院内での職員応援派遣の検討 <input type="checkbox"/> 災害対策本部の指示により外来診療制限のテロップを流す <input type="checkbox"/> 外来の建物内で被害がある時は業者へ修理依頼 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災後1週間の勤務者確保 <input type="checkbox"/> 外来通院中の患者からの問い合わせ対応 <input type="checkbox"/> 災害対策本部と調整し一般外来診療の再開に向けて計画立案 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災後2週間の勤務者確保 <input type="checkbox"/> 外来通院中の患者の対応 <input type="checkbox"/> 災害対策本部と確認をし院外への広報の段階の切り替え <input type="checkbox"/> 災害対策本部とミーティングをして再開への計画と実施し軌道に乗せる <input type="checkbox"/> 外来再開に向けて職員の調整

4.2.2.17 看護部（入院）

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画（BCP チェックリスト）
看護部（入院）	中断不可	入院患者の生命の安全確保	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入院患者・家族等の安全を確認する <input type="checkbox"/> 部署の建物・設備の安全確認し責任者への報告 <input type="checkbox"/> 発災時報告の実施 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害対策本部への定時報告 <input type="checkbox"/> 院外も含めた部署の看護職員の安全を確認する <input type="checkbox"/> 育児中の看護職員への支援 <input type="checkbox"/> 受持ち患者の再編を行い、多数傷病受け入れ部門等への応援派遣の完了 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 被災後3日間の勤務者を確保する（労務調整） <input type="checkbox"/> 受持ち患者の再編をする <input type="checkbox"/> 入院患者の食事の確認 <input type="checkbox"/> 看護職員の食事の確保 <input type="checkbox"/> 各トリアージポストへの応援要員を確保する

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
看護部 (入院)			<input type="checkbox"/> 院内からの看護職員応援の依頼と受け入れ <input type="checkbox"/> 病棟内のベッドコントロール開始 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 被災後1週間の勤務者を確保する <input type="checkbox"/> 患者食の提供を確認 <input type="checkbox"/> 被災地の状況確認し入院受け入れ準備 <input type="checkbox"/> 院内からの看護職員応援の依頼と受け入れ <input type="checkbox"/> ボランティアの要請と受け入れ (2週間以内) <input type="checkbox"/> 上記項目の機能維持確認
	3日以内	入院患者の診療	(発災直後) <input type="checkbox"/> 診療支援システム、部門システムの稼働確認 <input type="checkbox"/> 部署の建物・設備の安全確認をし責任者へ報告する (3時間以内) <input type="checkbox"/> 病棟内の薬品、SPD関連の物品の在庫確認 <input type="checkbox"/> 患者食の提供の確保 <input type="checkbox"/> 病棟備蓄の職員食への提供準備 <input type="checkbox"/> 病院外の職員の安否確認し災害ダイヤルへの登録をチェックする <input type="checkbox"/> MEセンター管理の輸液ポンプ、シリンジポンプ等の在庫確認 <input type="checkbox"/> リネン類の在庫、洗濯室の稼働確認 <input type="checkbox"/> 手術部、検査部、材料部、薬剤部の稼働状況を確認 (3日以内) <input type="checkbox"/> 手術部、検査部、材料部の稼働状況を確認 <input type="checkbox"/> 職員派遣センター経由のボランティア要請と受け入れ準備 <input type="checkbox"/> 看護師・医師や他職種勤務者の確保 <input type="checkbox"/> 育児中の看護職員への支援 <input type="checkbox"/> 軽症患者の退院支援と新規入院患者の受け入れ準備 (1週間以内) <input type="checkbox"/> 被災後1週間の勤務者の確保 <input type="checkbox"/> 院内からの看護職員応援の依頼と受け入れ <input type="checkbox"/> 病棟内の薬品・SPD関連の物品の供給状況確認 <input type="checkbox"/> リネン類・洗濯室・清掃状況確認 (2週間以内) <input type="checkbox"/> 被災後2週間の勤務者を確保 <input type="checkbox"/> 院内からの看護職員応援依頼と受け入れ
	3時間以内	新規入院患者の受け入れと診察	(発災直後) <input type="checkbox"/> 入院患者・家族の安全を確保する <input type="checkbox"/> 診療支援システム、部門システムの稼働確認 <input type="checkbox"/> 部署の建物・設備の安全確認をする (3時間以内) <input type="checkbox"/> 病棟内の薬品、SPD関連の物品の在庫確認 <input type="checkbox"/> 空床の確認、受け入れ要件を確認する <input type="checkbox"/> 病棟内でのベッドコントロール実施 <input type="checkbox"/> リネン類の在庫、洗濯室の稼働確認 <input type="checkbox"/> 手術部、検査部、材料部、薬剤部の稼働状況を確認 <input type="checkbox"/> 病棟内の薬品、SPD関連の物品の在庫確認 (3日以内) <input type="checkbox"/> MEセンター管理の輸液ポンプ、シリンジポンプ等の稼働状況確認 <input type="checkbox"/> リネン類の在庫、洗濯室の稼働状況確認 <input type="checkbox"/> 手術部、検査部、材料部、薬剤部の稼働状況を確認 <input type="checkbox"/> 被災後3日間の勤務者確保 <input type="checkbox"/> 院内からの看護職員応援依頼と受け入れ <input type="checkbox"/> ボランティアの要請と受け入れ (1週間以内) <input type="checkbox"/> 被災後1週間の勤務者確保 <input type="checkbox"/> リネン類の供給状況の確認 <input type="checkbox"/> 空床の確認と患者受け入れ状況の確認 <input type="checkbox"/> 院内からの看護職員応援依頼と受け入れ <input type="checkbox"/> ボランティアの要請と受け入れ (2週間以内) <input type="checkbox"/> 被災後2週間の勤務者確保 <input type="checkbox"/> 空床の確認と新規入院患者受け入れのための体制構築

4.2.2.18 周産母子センター（産科部門）

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画（BCPチェックリスト）
周産母子センター（産科部門）	3日以内	経膈分娩	<p>（発災直後）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、要員の安全確認、建物・電気・水道・ガス・通信の状況を確認 <input type="checkbox"/> 装置の使用の可否状況を確認 <input type="checkbox"/> 分娩進行状況を確認 <p>（3時間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病院全体の状況確認 <input type="checkbox"/> （陣痛などで）入院する患者のルートを確認 <input type="checkbox"/> 分娩・手術場所の確保 <input type="checkbox"/> 分娩受け入れ数の予測（他院の状況確認） <p>（3日以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 卸業者に連絡をとり、ディスポ製材の在庫確保をする <input type="checkbox"/> 故障した機器の修理要請 <p>（1週間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務再開 <p>（2週間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務再開
	3日以内	帝王切開術	<p>（発災直後）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、要員の安全確認、建物・電気・水道・ガス・通信の状況を確認 <input type="checkbox"/> 装置の使用の可否状況を確認 <p>（3時間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病院全体の状況確認 <input type="checkbox"/> 手術場所の確保、手術室への入室ルート確認 <input type="checkbox"/> （手術室が使えない場合）分娩室1での手術の体制構築 <input type="checkbox"/> 帝王切開数の予測（他院の状況確認） <p>（3日以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 卸業者に連絡をとり、ディスポ製材の在庫確保をする <input type="checkbox"/> 故障した機器の修理要請 <p>（1週間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務再開 <p>（2週間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務再開
	3日以内	救急搬送の受け入れ・対応	<p>（発災直後）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、要員の安全確認、建物・電気・水道・ガス・通信の状況を確認 <input type="checkbox"/> 装置の使用の可否状況を確認 <p>（3時間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病院全体の状況確認 <input type="checkbox"/> 分娩室・手術室の使用可否状況を確認 <input type="checkbox"/> 他院からの救急搬送受け入れの予測（他院の状況確認） <p>（3日以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 他院の復旧状況の把握 <p>（1週間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務再開 <p>（2週間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務再開

4.2.2.19 周産母子センター（新生児部門）

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画（BCPチェックリスト）
周産母子センター（新生児部門）	中断不可	新生児集中治療室入院患者の診療、生命の維持	<p>（発災直後）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 患児・家族、スタッフの安全確認・安全確保を指示。 <input type="checkbox"/> 医療機器（人工呼吸器、シリンジポンプ、呼吸心拍モニターなど）の動作状況の確認指示。 <input type="checkbox"/> ライフライン（電気、医療用ガス、吸引、空調、水道）の確認指示。 <input type="checkbox"/> 緊急時対応（気管チューブやカテーテル類の計画外抜去に伴う気道確保、出血・循環動態変動への対応） <input type="checkbox"/> 病棟内の被害状況を確認指示。 <p>（3時間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> トリアージ区分の確認指示。 <input type="checkbox"/> ライフライン途絶時は、各々の問題に対応。 <p>電気：必要な医療機器の電源確保，消費電力の見直し。 医療用ガス：MEセンターに依頼し，人工呼吸器稼働のためのコンプレッサー，酸素ポンベの配備。携帯用吸引器の配備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 避難の必要性を判断。 <p>（3日以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ライフラインの復旧見込みの確認。 <input type="checkbox"/> 薬剤、医療資源の在庫状況および納入見込みの確認。 <input type="checkbox"/> 勤務者以外の安全確認、勤務シフトの検討。 <input type="checkbox"/> 本部も含めた医療搬送計画の立案。 <p>（1週間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> NICUの機能維持。 <p>（2週間以内）</p> <p>通常業務への復旧。</p>
周産母子センター（新生児部門）	3日以内	産科病棟に同室中の正常新生児の診療、生命維持	<p>（発災直後）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき、患者・スタッフの安全確認、建物・通信の状況、医療機器・ライフラインの状況を確認指示。 <p>（3時間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 産科スタッフとともに、避難の必要性を判断。 <p>（3日以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 薬剤、医療資源の在庫状況および納入見込みの確認指示。 <input type="checkbox"/> 産科スタッフとともに、入院期間の調整、早期退院可否を判断。 <p>（1週間以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 新生児室の機能維持。 <p>（2週間以内）</p> <p>通常業務への復旧。</p>

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画（BCPチェックリスト）
周産母子センター（新生児部門）	24時間以内	院内のハイリスク分娩の立会い、新生児蘇生	<p>(発災直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき、患者・スタッフの安全確認、建物・通信の状況、医療機器・ライフラインの状況を確認。 <p>(3時間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 産科スタッフとともに分娩進行中・入院管理中の母体・胎児に関する情報を共有。 <input type="checkbox"/> 空床ベッドの確認。 <input type="checkbox"/> 県内の他の周産期センターの情報収集。 <p>(3日以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ライフラインの復旧見込みの確認。 <input type="checkbox"/> 薬剤、医療資源の在庫状況および納入見込みの確認。 <input type="checkbox"/> 他施設への母体搬送・新生児搬送の必要性を判断。 <p>(1週間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 周産期センターの機能維持。 <p>(2週間以内)</p> <p>通常業務への復旧</p>
周産母子センター（新生児部門）	3日以内	院外発生のハイリスク母体の受け入れ	<p>(発災直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき、患者・スタッフの安全確認、建物・通信の状況、医療機器・ライフラインの状況を確認。 <p>(3時間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 産科スタッフとともに入院管理中の母体・胎児に関する情報を共有。 <input type="checkbox"/> 空床ベッドの確認 <input type="checkbox"/> 県内の他の周産期センターの情報収集 <p>(3日以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ライフラインの復旧見込みの確認。 <input type="checkbox"/> 薬剤、医療資源の在庫状況および納入見込みの確認。 <input type="checkbox"/> 産科スタッフとともに母体搬送受け入れの可否を判断。 <p>(1週間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 周産期センターの機能維持とともに母体搬送の受け入れ。 <p>(2週間以内)</p> <p>通常業務への復旧</p>
周産母子センター（新生児部門）	3日以内	院外発生のハイリスク新生児の受け入れ	<p>(発災直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき、患者・スタッフの安全確認、建物・通信の状況、医療機器・ライフラインの状況を確認。 <p>(3時間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 空床ベッドの確認。 <input type="checkbox"/> 県内の他の周産期センターの情報収集。 <p>(3日以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ライフラインの復旧見込みの確認。 <input type="checkbox"/> 薬剤、医療資源の在庫状況および納入見込みの確認。 <input type="checkbox"/> スタッフとともに新生児搬送受け入れの可否を判断。 <p>(1週間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> NICUの機能維持とともに新生児搬送の受け入れ、他施設へのコーディネート。 <p>(2週間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通常業務への復旧

4.2.2.20 精神科

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画（BCPチェックリスト）
精神科	12時間以内	身体的治療を必要とする重症精神疾患の治療（ニーズの増大の可能性を考慮）	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病棟の安全確保と現況確認 <input type="checkbox"/> 身体的治療を必要とする患者の安全確保 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害と院内・関連機関の被災状況についての情報収集と情報発信 <input type="checkbox"/> 医局員の安否確認と科内関係者との情報共有の開始 <input type="checkbox"/> 院内関係者との情報共有 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じた受け入れ調整 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じた受け入れ調整 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じた受け入れ調整
精神科	3時間以内	精神科的治療を必要とする、一般身体科の患者の治療（リエゾン精神医療含む）	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病棟・外来の安全確保と現況確認 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害と院内・関連機関の被災状況についての情報収集と情報発信 <input type="checkbox"/> 医局員の安否確認と科内関係者との情報共有の開始 <input type="checkbox"/> 院内関係者との情報共有 <input type="checkbox"/> リエゾン・救急対応のための精神科医と看護師等の人員配置計画の準備 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じたリエゾン回診・救急対応の拡充 <input type="checkbox"/> リエゾン実施のための精神科医と看護師等の人員配置 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じたリエゾン回診・救急対応の拡充 <input type="checkbox"/> リエゾン実施のための精神科医と看護師等の人員配置 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じたリエゾン回診の拡充 <input type="checkbox"/> リエゾン実施のための精神科医と看護師等の人員配置

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画（BCPチェックリスト）
精神科	6時間以内	必要な患者の隔離・身体拘束などの行動制限や入院継続が必要な任意入院患者が退院希望した場合の退院制限	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病棟・外来の安全確保と現況確認 <input type="checkbox"/> 隔離・身体拘束中の患者の安全確保 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入院患者の精神状態の確認 <input type="checkbox"/> 災害と院内・関連機関の被災状況についての情報収集 <input type="checkbox"/> 医局員の安否確認と科内関係者との情報共有の開始 <input type="checkbox"/> 院内関係者との情報共有 <input type="checkbox"/> 精神保健指定医の確保に対応した人員配置計画の準備 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集の継続 <input type="checkbox"/> 精神保健指定医の確保に対応した人員配置 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 精神保健指定医の確保に対応した人員配置 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 精神保健指定医の確保に対応した人員配置
精神科	3時間以内	新規の医療保護入院（任意入院からの切り替え、身体科からの受け入れ含む）	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病棟の安全確保と現況確認 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入院患者の精神状態の確認 <input type="checkbox"/> 災害と院内・関連機関の被災状況についての情報収集と情報発信 <input type="checkbox"/> 医局員の安否確認と科内関係者との情報共有の開始 <input type="checkbox"/> 院内関係者との情報共有 <input type="checkbox"/> 精神保健指定医確保のための人員配置計画 (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じた受け入れ調整 <input type="checkbox"/> 精神保健指定医の確保に対応した人員配置 (1週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じた受け入れ調整 <input type="checkbox"/> 精神保健指定医の確保に対応した人員配置 (2週間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じた受け入れ調整 <input type="checkbox"/> 精神保健指定医の確保に対応した人員配置

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画（BCPチェックリスト）
精神科	24時間以内	被災地の精神保健医療支援についての情報収集と人材派遣	<p>(発災直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病棟・外来・医局の安全確保と現況確認 <p>(3時間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害と院内・関連機関の被災状況についての情報収集と情報発信 <input type="checkbox"/> 医局員の安否確認と科内関係者との情報共有の開始 <input type="checkbox"/> 院内関係者との情報共有 <input type="checkbox"/> 宮城県の災害対策についての情報収集 <p>(3日以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> 医局員の安否確認と科内関係者との情報共有の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じた人員確保と人員派遣 <input type="checkbox"/> 人員派遣に対応した人員配置 <p>(1週間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じた人員確保と人員派遣 <input type="checkbox"/> 人員派遣に対応した人員配置 <p>(2週間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報収集と情報発信の継続 <input type="checkbox"/> ニーズに応じた人員確保と人員派遣 <input type="checkbox"/> 人員派遣に対応した人員配置

4.2.2.21 感染管理室

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画（BCPチェックリスト）
感染管理室	1時間以内	救急患者対応のための感染対策の構築	<p>(1時間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 高度救命救急センターのライフライン（電気・水道）、空調の状況と物品（アルコール手指消毒薬、防護具など）の設置状況を確認し、必要な感染対策を指示する <input type="checkbox"/> トリアージエリアの設営と感染対策物品（アルコール手指消毒薬、防護具など）の設置状況を確認し、必要な感染対策を指示する <input type="checkbox"/> 感染症患者用の陰圧隔離室（感染症病室（西16階）、準感染症病室（東7階・東10階・東11階）、第一種感染症病室（先進医療棟1階））の空調の状況を確認する
	3時間以内	病院全体における感染対策の維持	<p>(3時間以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病棟・外来・中央診療部門のライフライン（電気・水道）の状況を確認し、必要な感染対策を指示する <input type="checkbox"/> SPDの在庫と流通の状況を確認し、必要物品確保のための指示を出す <input type="checkbox"/> 材料部のライフライン（電気・水道）と業務の稼働状況を確認し、物品の枯渇を想定した緊急的な感染対策を指示する <input type="checkbox"/> 検査部の被害状況を確認し、感染症の発生リスクを評価し、必要な対策を講じる（検体等が散乱した場合は、適切な防護具を着用したうえで取り扱い、環境を次亜塩素酸ナトリウムで消毒する、など）
	1日以内	病院全体における感染対策の確認	<p>(1日以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 全ての病棟・外来・中央診療部門を巡回し、観察と部署スタッフへの聞き取りにより感染対策上の問題点を抽出する <input type="checkbox"/> 病院建物の破壊による感染管理上のリスクを評価し、対策を講じる
	3日以内	廃棄物の一時保管	<p>(3日以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 業者が回収するまでの、廃棄物の保管方法と保管場所を確保し、搬出ルートを確認する

4.2.2.22 事務部

部門	目標時間	重要業務	具体的な行動計画 (BCP チェックリスト)
事務部	中断不可	施設・設備の被害状況確認	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い施設・設備の被害状況、及び屋上ヘリポートの被害状況と安全性を確認する <input type="checkbox"/> 収集した情報を整理し、被害状況全体を把握する <input type="checkbox"/> 災害対策本部と連携し、把握した情報を基に復旧への対策や見通しなどについて検討を行う (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害時の施設・設備チェックリストに基づき、各管理業者との連絡調整を図りながら院内インフラ（電気・水・ガス・医療ガス・防災設備・通信設備など）に関する情報収集を行う <input type="checkbox"/> 収集した情報を整理し、被害状況全体を把握する <input type="checkbox"/> 災害対策本部と連携し、把握した情報を基に復旧への対策や見通しなどについて検討を行う (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害時の施設・設備チェックリストに基づき、各管理業者との連絡調整を図りながら院内インフラ（電気・水・ガス・医療ガス・防災設備・通信設備など）に関する情報収集を行う <input type="checkbox"/> 収集した情報を整理し、被害状況全体を把握する <input type="checkbox"/> 災害対策本部と連携し、把握した情報を基に復旧への対策や見通しなどについて適時検討を行う
	中断不可	職員の安否確認	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 各部署からの発災時報告（発災 15 分以内）にて負傷者の有無等を把握し、対策本部長（病院長）に報告する <input type="checkbox"/> 収集した情報を整理し、職員の執務状況全体を把握する。 (3時間以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 大学災害対策本部情報整理班に「被災状況等連絡票」にて第一報する (2日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 各部署からの定時報告（初回発災 60 分以内、以降定時）にて傷病者の有無等を把握。各部署にメンバーリストの提出を求める <input type="checkbox"/> 各部署メンバーリスト、安否確認システムをモニタリングし、未回答者の安否を追跡確認（電話等）、安否確認システムへ代理登録する <input type="checkbox"/> 大学災害対策本部情報整理班に定期連絡を行う
	1時間以内	災害時外来業務	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに基づき行動する <input type="checkbox"/> 外来棟患者の避難状況に合わせて各部署の初期人員を調整し、配置する <input type="checkbox"/> レイアウト、患者動線等を確認のうえ、トリアージ、赤、黄、緑、黒エリア、及びID付与センターを設置する <input type="checkbox"/> 各職種リーダーと連絡調整、ミーティングを実施する <input type="checkbox"/> 外来棟エリアで業務にあたる事務職員の稼働状況を把握し、必要に応じて職員派遣センターへ派遣要請する (3日以内) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 長期（概ね8時間）対応が想定される場合、事務職員の交替等調整を行う
	1時間以内	報道対応	(発災直後) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アクションカードに従い、ビデオ、カメラなどを使い災害対策本部等を含む院内各所の状況を記録する <input type="checkbox"/> アクションカードに従い報道対応を行う <input type="checkbox"/> 診療停止、通常診療再開などの重要な情報は FAX 及び web サイトなどにより広く発信を行う

4.3 災害対策本部の初動対応

上記に掲げた重要業務を達成するために、以下の初動対応を行う。

4.3.1 災害対策本部要員の参集

参集が必要な危機事象が発生した場合、参集要員は、家族、家屋の安全（または避難所等の家族の居所）を確保した上で、交通の危険個所を避け、速やかに参集する。

なお、参集体制については、4.3.1.1「参集体制」のとおりとする。

※ただし夜間に発災した場合には無理な移動は行わず、明るくなってから行動することにより。また、悪天候で移動が困難な場合も、無理な移動は行わないでよい。これらの場合は、可能な限り、移動できない旨を事務部総務課総務係に連絡する。

4.3.1.1 参集体制

(1) 「仙台市内で震度 6 弱以上の地震」が発生した場合

病院長をはじめ災害対策本部を構成する全ての職員が、自らの安全を確保するとともに、家族等の安否を確認し、及び安全を確保できたときは、交通手段等の状況により参集不可能な場合を除き、災害対策本部に参集する。

(2) 「仙台市内で震度 5 強の地震」が発生した場合等

「仙台市内で震度 5 強の地震」が発生した場合、又は病院長が参集を決定した場合には、事務部総務課総務係は他の参集要員に対し、「災害発生時の緊急連絡体制」により地震情報等の伝達を行う。連絡を受けた参集要員は、直ちに当院事務部に参集し、被災状況等の情報を収集し、必要な対応を開始する。

○参集体制（震度別）の参集要員

参集要員	参集体制 (震度 5 強)	参集体制 (震度 6 弱以上)
(1) 病院長		○
(2) 副病院長		○
(3) 医師代表（災害対策本部担当）	○	○
(4) 事務部長（災害対策本部事務局長）	○	○
(5) 運営会議メンバー		○
(6) 各班班長（事務部各係長）	○	○
(7) 事務部の参集職員	○	○

※震度は、仙台市内及び当該部局の施設が設置されている地域とする。

○参集対策の現状

本部要員の参集に関する現状調査結果

部署	人数	参集所要時間（人）						参集手段（人）
		30分	1時間	2時間	3時間	6時間	12時間	
病院長	1	1						徒歩 1
副病院長	6	6						徒歩 3・自転車 2・自家用車 1
事務部長	1	1						徒歩 1
課（室）長	6	3	2	1				徒歩 2・自転車 1・バイク 1 自家用車 2

※想定付与「休日夜間、震度 6 弱程度の地震発生時に自宅から登院」

・公共交通機関は停止。

- ・停電で信号も停止、自家用車での所要時間は通常の2～3倍位かもしれない。
- ・発災直後に行う自宅の安全確認、身支度の時間も考慮（通常30分位）。

4.3.2 被災状況の収集

(1) 報告手段の確保

災害発生時、大学対策本部等と相互に密な情報伝達が可能となるよう通信手段（メール、内線電話、FAX、災害時優先電話、衛星携帯電話等）の確保に努めるものとする。

病院には固定の衛星電話が1台（第5会議室）、衛星携帯電話が2台（施設企画室）ある。また、MCA無線が3台（1台は施設企画室、1台は警備員室、1台は透析室）ある。これらの通信手段の確保・維持については施設企画室が担当する。

院内の被災状況の収集のために必要な手段は、内線電話、PHS、トランシーバー、災害時情報収集システム（以下「ACSISTシステム」という。）など複数のものを確保する。

(2) 安否確認

- ・職員の安否確認

4.3.3「安否確認」に基づいて職員の安否確認を行う

- ・入院患者の安否確認

特に検査中、処置中などで病棟を離れている場合についての確認方法を確立する。

- ・外来患者、家族、学生など院内滞在者の安否確認

(3) 院内被災状況の収集

- ・「東北大学病院災害対策本部マニュアル」による。

(4) 院外被災状況の収集

- ・「東北大学病院災害対策本部マニュアル」による。

(5) 大学対策本部との連絡

大学対策本部との間の連絡は以下のとおり行うよう努めるものとする。

①大学対策本部（総務班）から、本部設置及び設置場所・連絡先の伝達を受ける。

また、災害対策病院支部を設置の上、被災状況を連絡するよう指示を受ける。

②病院災害対策本部（災害対策病院支部）を設置し、設置場所・連絡先等を大学対策本部（情報整理班）に連絡する。

③当院における被災状況を確認のうえ、大学対策本部（情報整理班）に連絡する。

<被災状況の連絡先>

■大学対策本部（情報整理班）：総務企画部（法務課、コンプライアンス推進課）、監査室

内線電話：

衛星携帯電話：

災害時優先電話：

メールアドレス：

F A X：

※上記連絡先が使用不可等の場合には、都度連絡する。

4.3.3 安否確認

4.3.3.1 病院における安否確認系統

病院は、災害発生時には災害時医療体制を速やかに立ち上げ、病院としての機能を最大限に発揮、活用することを目的に、以下3系統による安否確認を並行して実施する。

1. 発災時報告・定時報告（「災害対策マニュアル」および7.1各種報告様式 参照）

各部署は、ACSISTシステムを用いて、発災時報告（発災15分以内）、定時報告（初回は発災60分以内、以降定時）を行い、負傷者（患者含む）の有無等を災害対策本部に報告する。

2. 各部署メンバーリスト

各部署は所属部局の別ではなく病院兼務者を含む居住者名簿であるメンバーリストにより、目視又は可能な通信手段を用いて構成員一人一人の安否確認を進める。

3. 安否確認システム（Emergency Call）

本学では、構成員の状況を速やかに把握するための安否確認の補助的手段として、平成26年10月から安否確認システムを導入しており、全学一斉に発出される安否確認メールに対して構成員が応答することにより一人一人の安否確認が行える。

発災時に院外・学外にいる者の安否確認手段として有用であり、定期的に本システムへの携帯メールアドレス事前登録と安否確認メール受信時の応答について周知・訓練する。

4.3.3.2 災害発生時における安否確認体制・手順

災害発生時（災害対策本部設置時）における安否確認体制・手順は、次のとおりとする。

◎災害対策本部長（病院長）

①当院に属する構成員の安否確認業務を統括する。

～発災直後の初動～

○各部署の長（不在時は、直近下位の者）

①各部署内の点呼（各部署メンバーリストを用いて負傷者の有無等を把握）

②災害対策本部に発災時報告（発災15分以内）にて負傷者の有無等を報告。なお、自衛消防隊が立ち上がっている場合には、まずは同隊避難誘導係への報告を行い、その後、災害対策本部に発災時報告。

③各部署メンバーリストにより構成員一人一人の安否確認を進めるとともに、災害対策本部に定時報告（初回発災60分以内、以降定時）にて負傷者の有無等を報告。災害対策本部にて安否情報の集約のため求めがあった際にはメンバーリストを提出。

○本部庶務担当（安否確認チーム）

①各部署からの発災時報告により負傷者の有無等を把握、災害対策本部長（病院長）に報告後、本部BCP様式別紙4(1)「被災状況等連絡表」により、大学対策本部の情報整理班に報告。

～2日以内～

○本部庶務担当（安否確認チーム）

①各部署からの定時報告（初回発災60分以内、以降定時）にて負傷者の有無等を把握。安否情報を集約する際には各部署にメンバーリストの提出を求める。

②各部署メンバーリスト、安否確認システムをモニタリングし、未回答者の安否を追跡確認（電話等）、安否確認システムへ代理登録。大学対策本部情報整理班に定期連絡を行う。

5 事前対策の実施計画

5.1 当院のライフラインに関する現在の基本情報（電気・水）

○電気に関わる事項 < 病院 >

	設置場所	数量等	備 考
<p>・自家発電機(※1)容量 →3,100kVA</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 病 院 </div>	●東病棟地下2F（1,250kVA）		
	容 量	1,250kVA (1,000kwh) ①	
	台 数	1台	
	燃 料	ガ ス	種類：都市ガス13A
	供 給 先	東 ・ 西 病 棟	
	最大電力に対する割合 (①/②)	62.4%	最大電力(※2)：1,603kwh②（東病棟：H27年度実績）
	運 転 可 能 時 間	都市ガス及び冷却用の水（雑用水）が供給される限り運転可能	
	●西病棟地下2F（1,250kVA）		
	容 量	1,250kVA (1,000kwh) ①	
	台 数	1台	
	燃 料	ガ ス	種類：都市ガス13A
	供 給 先	東 ・ 西 病 棟	
	最大電力に対する割合 (①/②)	62.7%	最大電力：1,596kwh②（西病棟：H27年度実績）
	運 転 可 能 時 間	都市ガス及び冷却用の水（雑用水）が供給される限り運転可能	
	●外来診療棟C（北側）（800kVA）		
容 量	600kVA (480kwh) ①		
台 数	2台	300kVA × 2台	
燃 料	A 重 油		
供 給 先	外 来 診 療 棟 A ・ C		
最大電力に対する割合 (①/②)	69.8%	最大電力：688kwh②（外来棟C：H27年度実績）	
燃 料 備 蓄 量	19,400ℓ	(内訳)	
タ ン ク 数	2基	・ 9,800ℓ × 1基 → 約139h（フル負荷運転時）	
運 転 可 能 時 間	約275h	・ 9,600ℓ × 1基 → 約136h（フル負荷運転時）	
<参考：医学部2号館地下1F(500kVA)>			
容 量	500kVA (400kwh) ①		
台 数	1台		
燃 料	A 重 油		
供 給 先	医 学 部 3 号 館		
最大電力に対する割合 (①/②)	76.6%	最大電力：522kwh②（3号館：H27年度実績）	
燃 料 備 蓄 量	7,200ℓ	(内訳)	
タ ン ク 数	2基	・ 3,600ℓ × 2基 → 約61h（フル負荷運転時）	
運 転 可 能 時 間	約61h		
・ その他（補足）	<p>・ 上記発電容量に加え、パワーセンターからの電力供給あり。 その時々々の負荷状況を見ながらパワーセンターと連携し電力供給を受ける。</p>		

○電気に関わる事項 <星陵パワーセンター>

・自家発電機(※1)容量
→6,000kVA

星陵パワーセンター

設置場所	数量等	備考
●星陵パワーセンター内 (8,000kVA)		
容量	2,000kVA	
台数	1台	
燃料	ガス・A重油	種類：都市ガス13A
供給先	病院、医学部などの星陵キャンパス全体	
容量・台数	4,000kVA 3台	・2,000kVA×1台 ・1,500kVA×1台 ・500kVA×1台
燃料	A重油	
供給先	病院、医学部などの星陵キャンパス全体	
燃料備蓄量	72,000ℓ	
運転可能時間	約72h	(フル負荷運転時)

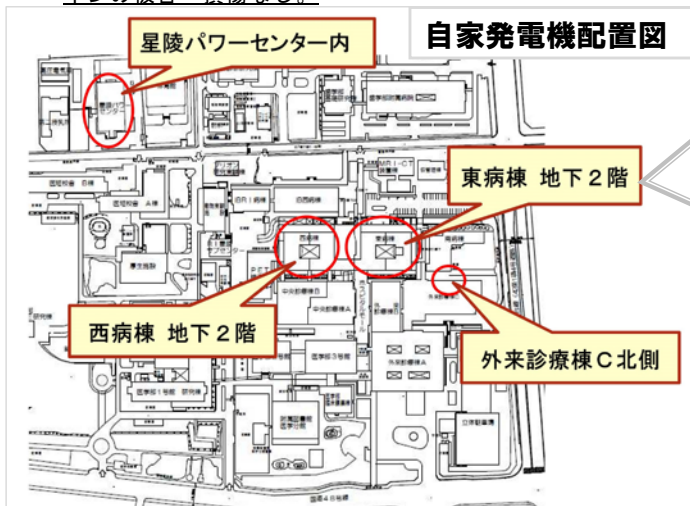
・災害に対してとっている対策
(含：東日本大震災以降のもの)

- 自家発電機設備増設による発電容量の強化
 - ・H25年度にパワーセンターの2,000kVA・500kVA発電機(各1台)を新規に整備することにより、災害時等に病院も含めた星陵キャンパス各所により安定した電力供給が可能となった。
- 自家発電機燃料のハイブリッド化
 - ・上記2,000kVA発電機設置時、その燃料をガスと重油のハイブリッドとすることにより、災害時等に一方の燃料の供給が停止した場合でも電気の継続供給が可能となった。
- 燃料(ガス)の2系統供給ラインの確保
 - ・仙台市ガス局との協議により、中圧A管と中圧B管による2系統での供給が確保されており災害時等に一方のガス管の供給が停止した場合でもガスの継続供給が可能となった。特に上記2,000kVA発電機設置時(H25年度)、ガス専焼ライン(※3)として評価された導管で供給されている。
- 特別高圧設備の2回線受電化
 - ・電力会社との約款により、電力の需要場所(電気引込み場所)は「1構内(敷地)で1需要場所1引込み」とするのが原則であるところ、東北電力との協議により、本線と予備線の2回線で受電可能となった。
- 電力会社での病院施設の復旧順位
 - ・災害対策基本法に基づく東北電力の「防災業務計画」(H26.4版)第4章「復旧に関する事項」第2節「復旧順位」によれば、配電設備にかかる病院施設の復旧は最優先順位。

※1) 被災停電後、自家発電機の起動・送電開始まで5分程度要する。

※2) ある一定の期間のうちに使われた最も多くの電気の量。

※3) 都市機能を維持するために必要と考えられる一部の施設にのみ配管される、大型のガス式発電機向けの特殊な都市ガス供給ラインで、耐震性評価をクリアしたガス導管により都市ガスが供給される。東日本大震災時の当該ラインの被害・損傷なし。



○水に関わる事項



「市水」・・・仙台市水道局から供給
 「混合水（市水+井戸水）」・・・星陵パワーセンターから供給

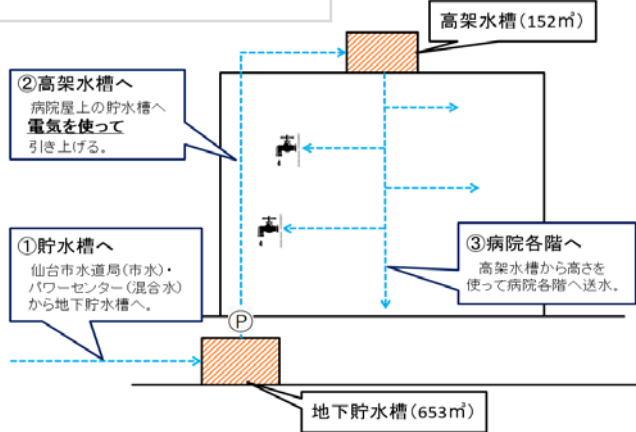
●病院	数量	備考
・通常の1日あたりの使用量・・・①	593.49m ³	(市水) + (混合水)
	263.90m ³	(市水) 病院全体：96,325m ³ (H29年度実績)
	329.59m ³	(混合水) 病院全体：120,299m ³ (H29年度実績)
・受水槽容量・・・②	643.23m ³	(市水) + (混合水)
	313.15m ³	(市水)
	330.08m ³	(混合水)
	(788.50m ³)	(雑用水)
上記のうち、高架水槽容量・・・③	122.83m ³	(市水) + (混合水)
	44.75m ³	(市水)
	78.08m ³	(混合水)
	(107.00m ³)	(雑用水)
・備蓄量 (②/①)	約1日分 (25h)	※自家発電機稼働時
・備蓄量 (③/①)	約0.2日分 (5.9h)	※自家発電機不稼働時、高架水槽分のみ
・その他 (補足)	・上記備蓄量に加え、パワーセンター受水槽からの供給（混合水）あり。 ・大地震等の災害が発生した場合、一度停水し、漏水および配管の亀裂などをチェックしながら送水を再開するため、被害がない場合でも復旧に一定の時間を要する。	

●星陵パワーセンター	数量	備考
・受水槽容量	950m ³	(市水) + (井戸水)

・災害に対してとっている対策 (含：東日本大震災以降のもの)

- 自家発電機からの供給による災害時等の水の確保
 - ・揚水ポンプの電源を常時自家発電機からの供給にすることにより、災害時等にも流出を防止することにより、水槽内の水の確保が可能となった
- 緊急遮断弁の設置による災害時等の水の確保
 - ・水槽の元弁に緊急遮断弁を設置することにより、災害時等に水槽元弁が自動的に閉まり水の流出を防止することにより、水槽内の水の確保が可能となった。
- 市水と井戸水の組合せ(混合水)による飲用水の確保
 - ・井戸水をパワーセンターの受水槽内で市水と混合させ、星陵キャンパス全体に供給しており、平常時から市水と井戸水の混合水を利用することにより、災害時等に市水が停止した場合にも、井戸水からのシームレスな飲用水の供給を可能としている。(参考：井水供給能力：289 m³/日)
- 星陵キャンパス内への安全な給水ルート確保
 - ・星陵キャンパス内各所への給水配管路として、埋設配管ではなく共同溝に整備することにより、災害時等による被害の最小化と、配管の破損等に対して迅速に対応し、早期復旧が可能な環境を構築している。

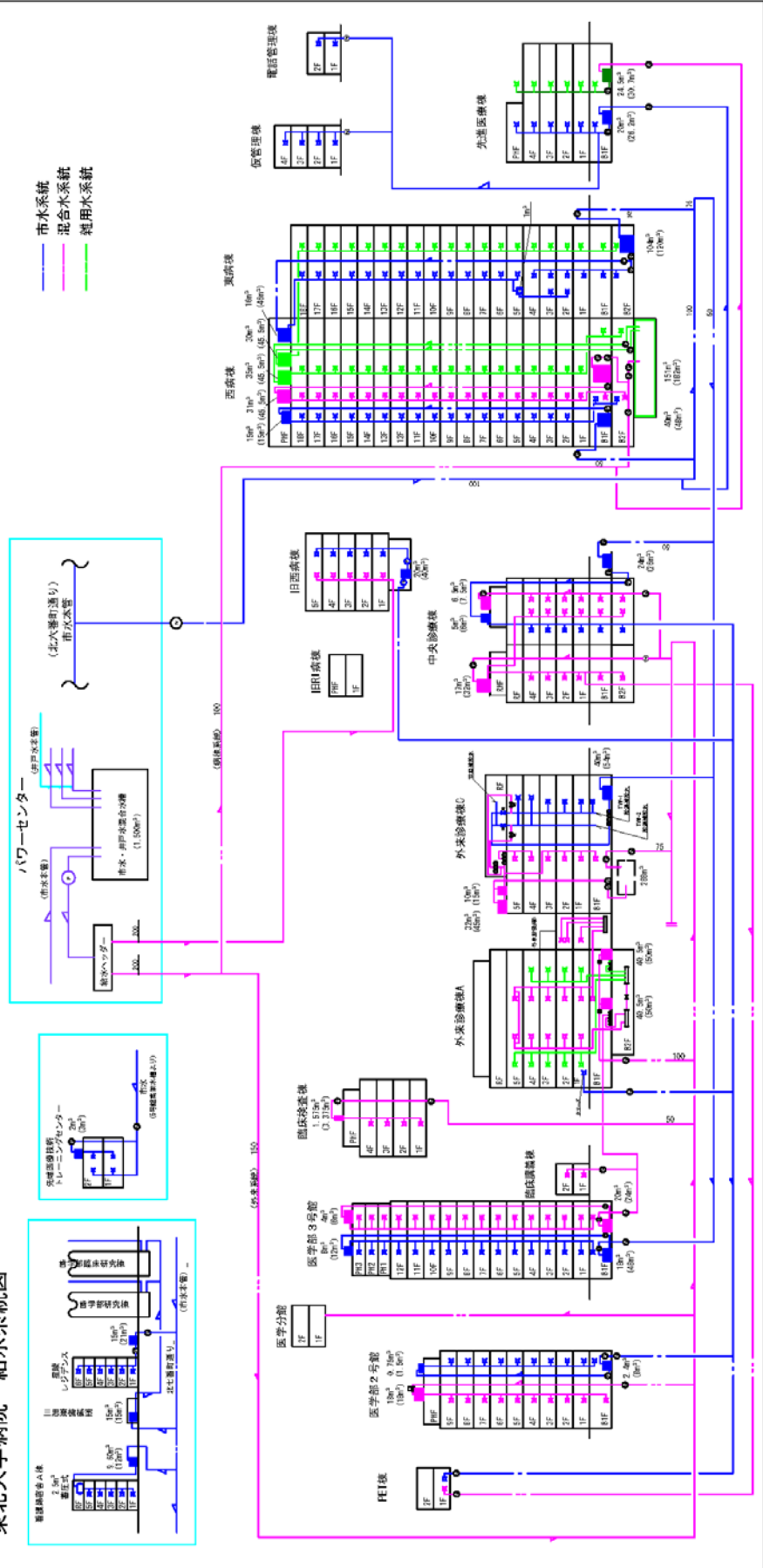
院内の送水経路図(概要)



星陵キャンパス内共同溝



東北大学病院 給水系統図



【水槽容量】

水種	水槽	建物と容量	合計
市水	需要水槽	東病棟 16m³ 西病棟 15m³ 中診 5m³ 3号館 8m³ 2号館 0.75m³	44.75m³
	受水槽	東病棟 104m³ 西病棟 40m³ 中診 24m³ 3号館 18m³ 2号館 2.4m³	288.4m³
		外来C 40m³ 旧西 20m³ 先産 20m³	
混合水	高圧水槽	西病棟 31m³ 3号館 4m³ 中診 23.5m³ 検査棟 1.575m³ 2号館 18m³	78.075m³
	受水槽	西病棟 151m³ 3号館 20m³ 外来A 81m³	252m³
雑用水	高圧水槽	東病棟 30m³ 西病棟 35m³ 外来C 42m³	107m³
	受水槽	東病棟 269m³ 外来C 288m³ 先産 24.5m³	881.5m³
		合計備蓄水量	1,431.725m³

5.2 当院において優先的に対応すべき事前対策

当院として今後優先的に対応すべき事前対策は、以下のとおりである。

後述（6.2「業務継続マネジメント（BCM）推進体制」）の推進を担う当院 BCP 委員会の主導の下、関係部門が中長期的な計画を策定するとともにその実施に必要な予算確保に努め、BCP 委員会がそれを全体として確認する体制によって着実に推進していく。

5.2.1 病院全体において優先的に対応すべき事前対策

・病院として今後優先的に対応すべき事前対策は、以下のとおりである。

No	脆弱性課題		実施すべき事前対策	責任部門	実施 計画日	完了 日
	部門	影響する業務				
1		夜間休日検査室の緊急検査業務	①夜間休日検査室への非常用電源増設の検討 ②システム停止時の手順確認 ③UPS 更新や備品固定の予算立て ④検体搬送の要員確保と運用	検査部 施設企画室 BCP 委員会 災害対策マニュアル 改訂 WG	H29 年 11 月	
2	検査部	院内外新規発生（多数）傷病者の診療対応時の緊急検査業務	①システム停止時の手順確認 ②UPS 更新や備品固定の予算立て ③検体搬送の要員確保と運用	検査部 施設企画室 BCP 委員会 災害対策マニュアル 改訂 WG	H29 年 11 月	
3		各検査室の通常検査業務	①システム停止時の手順確認 ②UPS 更新や備品固定の予算立て ③検体搬送の要員確保と運用	検査部 施設企画室 BCP 委員会 災害対策マニュアル 改訂 WG	H29 年 11 月	
4		中央採血室の外来採血室業務、外部委託検査業務	①患者誘導手順の周知 ②採血者の確保 ③災害発生時の外注業者との契約 ④システム停止時の手順確認	検査部 看護部 医事課	H29 年 11 月	
1		手術部	災害発生時点で手術を実施されている患者の診療	①災害時の外注スタッフの確保	手術部 医事課	H29 年 11 月
2	災害後に実施する手術のための診療体制の構築		①災害時用手術資器材調達体制の確立 ②災害時の手術部運用に必要な薬剤備蓄の確保	手術部 材料部 薬剤部	H29 年 11 月	
1	材料部	医療機材の滅菌・洗浄業務	①発災直後のライフライン（蒸気）の状況確認体制の確立 ②MITC でも部門システムの状況を確認できる体制の確立 ③災害発生時の外部委託業者との契約（出勤体制の確立）	材料部 施設企画室 MITC	H29 年 11 月 H29 年 11 月 H30 年 11 月	

No	脆弱性課題		実施すべき事前対策	責任部門	実施 計画日	完了 日
	部門	影響する業務				
1	生理検査センター	多数傷病者受入体制構築(依頼を受けた場合)	①非常用電源の確保の検討	生理検査センター 施設企画室	H29年 11月	
1	集中治療部	集中治療部入院患者の診療・生命の維持	①発災直後の各診療科との連絡体制確立 ②酸素在庫量の確認体制確立 ③薬品在庫量の確認体制確立 ④医療資器材の在庫量の確認体制確立	集中治療部 施設企画室・経理課 薬剤部 材料部	H29年 11月	
2		院内新規発生の集中治療該当患者の受入	①発災直後の各診療科との連絡体制確立 ②酸素在庫量の確認体制確立 ③薬品在庫量の確認体制確立 ④医療資器材の在庫量の確認体制確立	集中治療部 施設企画室・経理課 薬剤部 材料部	H29年 11月	
3		院外新規発生の集中治療該当患者の受入	①発災直後の各診療科との連絡体制確立 ②酸素在庫量の確認体制確立 ③薬品在庫量の確認体制確立 ④医療資器材の在庫量の確認体制確立	集中治療部 施設企画室 薬剤部 材料部	H29年 11月	
1	輸血・細胞治療部	輸血検査 (ABO/RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、交叉適合紙試験)	①電気の確保 ②検体・報告書の運搬要員の確保 ③電話・PHS が使用不可の場合の院内連絡手段の確保	輸血部 BCP 委員会	H29年 11月	
2		血液製剤の確保と供給、血液製剤の管理	①電気の確保 ②多数傷病者受入時の輸血対応に関する検討 ③血液製剤運搬要員の確保	施設企画室 BCP 委員会	H29年 11月	
3		保管末梢血幹細胞の管理	①電気の確保	施設企画室	H29年 11月	
1	高度救命救急センター	高度救命センター入院患者の診療、生命維持	①薬剤や医療資器材、滅菌機材などが不足する場合の対応 ②薬剤卸・医療資器材・医療機器業者等関係機関・関係業者との協定締結	高度救命救急センター BCP 委員会	H29年 11月	
2		院内外新規発生 (多数) 傷病者の診療対応	①ベッドコントロールの在り方 ②ME 機器の高層階から低層階への安全な移動	同上	H31年 2月	
1	血液浄化療法部	ICU における血液浄化 (集中治療患者 CHDF)	①BCP シミュレーション訓練の実施	血液浄化療法部 BCP 委員会	H29年 11月	
		ICU における血液浄化 (ICU へ搬送された重症患者への血液浄化)			H29年 11月	

No	脆弱性課題		実施すべき事前対策	責任部門	実施 計画日	完了 日
	部門	影響する業務				
2		救急における急性血液浄化(集中治療患者CHDF)	①通信手段の確保のための電源確保、情報管理をする本部機能 ②薬剤卸・医療資器材・医療機器業者等関係機関・関係業者との協定締結	血液浄化療法部 BCP委員会	H29年 11月	H30年 12月
		救急における急性血液浄化(救急へ搬送された重症患者への血液浄化)	③通信手段の確保のための電源確保、情報管理をする本部機能 ④薬剤卸・医療資器材・医療機器業者等関係機関・関係業者のコンタクトリストを部署内で共有し、BCPにも組み込む			
3	血液浄化療法部	診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化(入院中の維持透析患者への血液浄化)	①育児や介護をしておらず、緊急招集が可能な職員の把握、代替職員リストの作成(代替人員の持つべき技術はシャント穿刺ができるなど透析・集中治療部業務経験者が望ましい) ②階段を使った搬送要員の手配手順、災害時の外注スタッフ・非常勤職員の確保(患者1人あたり3、4人の人員が必要、エレベータ復旧を待つなら病棟から治療用物品を届ける人員が必要)	血液浄化療法部 看護部 医事課	H29年 11月	
		診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化(エレベータ停止による各病棟への患者移送)				
		診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化(ライフラインの確認、治療継続または、再開できるか検討)				
4		地域の透析医療の被災状況と情報管理(支援透析の受入れ)	①災対本部におけるシミュレーション ②待合スペース、帰宅困難者対策、会計処理対策の検討	血液浄化療法部 BCP委員会 看護部 医事課	H29年 11月	
		地域の透析医療の被災状況と情報管理(通信インフラ途絶時の関連病院の情報収集)				
1	メディカルITセンター	病院情報システムおよび診療録の維持・管理	①非常時の電源計画、サーバーの消火対策	MITC 施設企画室	H29年 11月	
2		通信システムの維持・管理				
3		地域連携システムの維持・管理				
1	歯科外来	被災傷病者の歯科診療	①歯科外来設備耐震性調査と強化(底上げ床になっているため、歯科診療椅子などが倒れやすいことへの対応)	歯科外来 施設企画室	H29年 11月	
2		一般外来患者の歯科診療				

No	脆弱性課題		実施すべき事前対策	責任部門	実施 計画日	完了 日
	部門	影響する業務				
1	MEセンター	生命維持管理装置の維持・管理（閉鎖式保育器、人工呼吸器・麻酔器、医療ガス）	①足踏み式及び電気式吸引器の管理者の明確化	MEセンター BCP委員会	H29年 11月	
1	薬剤部	薬品購入	①病院としての連絡手段確保・ルール作り	薬剤部 医事課	H29年 11月	
2		地域医療への貢献、薬剤師派遣と医薬品の提供	①県との病院薬剤師派遣に関する協定の締結。病院としての薬剤師派遣に関する手順やルールの策定	薬剤部 BCP委員会	H29年 11月	
1	看護管理室	看護師配属部署の現状把握（患者、看護師、建物・ライフライン）	①BCPシミュレーション訓練の実施	看護部 関係部署 BCP委員会	H29年 11月	
2		空床確保、新規患者の受入体制構築	①BCPシミュレーション訓練の実施 ②災害対策本部の立ち上げと紙運用での訓練		H29年 11月	
3		院内人的リソースの適正配分	①BCPシミュレーション訓練の実施 ②病院全体での人的リソース適正配分の訓練		H29年 11月	
4		院外への看護師派遣調整	①BCPシミュレーション訓練の実施 ②災害対策本部での訓練		H29年 11月	
1	看護部 (外来)	外来受診患者・家族の生命の安全確保	①外来支部での情報集約に関するBCP訓練の実施	看護部	H29年 11月	
2		一般外来診療の再開に向けた環境整備	①災害対策本部での総合判断に関するBCP訓練の実施	BCP委員会	H29年 11月	
1	看護部 (入院)	入院患者の生命の安全確保	①BCPシミュレーション訓練の実施 ②災害対策本部での訓練	看護部 BCP委員会	H29年 11月	
2		入院患者の診療	①BCPシミュレーション訓練の実施 ②実際を想定した訓練の実施		H29年 11月	
3		新規入院患者の受入と診療	①BCPシミュレーション訓練の実施 ②災害対策本部での訓練実施		H29年 11月	
1	周産母子センター(産科部門)	経膈分娩	①非常事態における電気・ガス・水道がどの程度対応できるか	周産母子センター(産科部門) 施設企画室	H30年 12月	
2		帝王切開術	①非常事態における電気・ガス・水道がどの程度対応できるか		H30年 12月	
3		救急搬送の受け入れ・対応	①非常事態における電気・ガス・水道がどの程度対応できるか		H30年 12月	
1	周産母子センター(新生児部門)	新生児集中治療室入院患者の診療、生命維持	①ライフライン(医療用ガス・電気(非常用電源72時間を超える場合)・水道)が復旧困難な場合の対応 ②患者搬送体制の確立 ③薬剤及び医療資機材の不足や、滅菌不		H30年 12月	

	周産母子センター(新生児部門)	新生児集中治療室入院患者の診療, 生命維持	可となった場合の対応 ④薬剤部、SPD、材料部、MEセンター等と在庫数の共有、災害時の払い出し方法の検討。 ⑤安全と感染予防を配慮した医療用資材の節約方法の検討。 ⑥栄養管理室対応困難時の自科調乳、材料部対応困難時の自科消毒の対応を確認	周産母子センター(新生児部門) BCP委員会 MEセンター 薬剤部 材料部 栄養管理室	H30年 12月	
2	周産母子センター(新生児部門)	産科病棟に母児同室中の正常新生児の診療, 生命維持	①安全と感染予防に配慮した医療用資材、リネンの節約方法の検討。	周産母子センター(新生児部門) 材料部	H30年 12月	
3	周産母子センター(新生児部門)	院外発生のハイリスク母胎の受け入れ	①ライフライン途絶時の通信手段の確保 ②通信機能が途絶した場合の周産期コーディネートシステム	周産母子センター(新生児部門) 産科部門 BCP委員会	H30年 12月	
4	周産母子センター(新生児部門)	院外発生の病的新生児の受け入れ	①ライフライン途絶時の通信手段の確保	周産母子センター(新生児部門) BCP委員会	H30年 12月	
1	精神科	身体的治療を必要とする重症精神疾患の治療(ニーズの増大の可能性を考慮)	①必要時にMCA無線、衛星電話を使える環境整備	精神科 施設企画室	H30年 12月	
2		精神科的治療を必要とする、一般身体科の患者の治療(リエゾン精神医療含む)	①リエゾンナースの確保	精神科 看護管理室	H30年 12月	
3		新規の医療保護入院(任意入院からの切り替え、身体科からの受け入れ含む)	①患者搬送が必要な場合の応援要員の確保 ②必要時にMCA無線、衛星電話を使える環境整備	精神科 看護管理室? 施設企画室	H30年 12月	
4		被災地の精神保健医療支援についての情報収集と人材派遣	①DPATの派遣についての県との事前協定 ②必要時にMCA無線、衛星電話を使える環境整備	精神科 施設企画室	H30年 12月	
1	感染管理室	救急患者対応のための感染対策の構築	①対応訓練	感染管理室 救急科 看護部 BCP委員会	H30年 12月	

2	病院全体における感染対策の維持	①対応訓練	感染管理室 看護部	H30年 12月	
3	病院全体における感染対策の確認	①対応訓練	感染管理室 看護部	H30年 12月	
4	廃棄物の一時保管	①感染対策だけの問題ではないことから、病院が主体となって、感染管理室と事務、業者などで協議する必要がある。	感染管理室 看護部 経理課 BCP委員会	H30年 12月	

5.2.2 各部門において優先的に対応すべき事前対策

・各部門において今後優先的に対応すべき事前対策は、以下のとおりである。

No	脆弱性課題		実施すべき事前対策	責任部門	実施計画日	完了日
	部門	影響する業務				
1		夜間休日検査室の緊急検査業務	①災害時の試薬・物品供給体制の確認 ②機器メーカーの修理対応の確認 ③検査可能な項目の確認 ④システム停止時の手順確認 ⑤UPSの更新 ⑥備品固定	検査部	H29年 11月	H30年 8月
2	検査部	院内外新規発生（多数）傷病者の診療対応時の緊急検査業務	①災害時の試薬・物品供給体制の確認 ②機器メーカーの修理対応の確認 ③フロアの耐荷重増強の検討 ④免震台導入の検討 ⑤システム停止時の手順確認 ⑥備品の固定 ⑦UPSの更新 ⑧検査可能な項目の確認	検査部	H29年 11月	
3		各検査室の通常検査業務	①災害時の試薬・物品供給体制の確認 ②機器メーカーの修理対応の確認 ③フロアの耐荷重増強の検討 ④免震台導入の検討 ⑤システム停止時の手順確認 ⑥備品の固定 ⑦UPSの更新	検査部	H29年 11月	
4		中央採血室の外来採血室業務、外部委託検査業務	①災害時の物品供給体制の確認 ②外注業者の災害時の対応 ③機器メーカーの修理対応の確認 ④臨床検査棟が使用不可の場合の代替場所 ⑤システム停止時の手順確認	検査部	H29年 11月	H30年 7月
1	材料部	医療機材の滅菌・洗浄業務	①洗浄・滅菌の質保証や運用に必要なインジケータ、滅菌カセット、洗浄液などの必要な器材・液は1週間程度で使用	材料部	H29年 11月	②平成 30年 5月

No	脆弱性課題		実施すべき事前対策	責任部門	実施計画日	完了日
	部門	影響する業務				
			する量を確認しておき、保管しておく ②洗浄・滅菌機器操作を複数のスタッフが ができるよう、教育実践する ③メーカーとの連絡体制を整えておく			③平成 30年 9月
1	生理検査センター	多数傷病者受入体制構築（依頼を受けた場合）	①黄色エリアでの心電図検査に対応するよう防災訓練を実施 ② その他の業務に関して、センターが対応可能な業務について検討	生理検査センター	H29年 11月	①H30 10月
2		システム停止時の検査対応	①診療支援システムが停止したときの検査体制の構築（紙運用での検査受け入れ、結果報告、事後処理など）	生理検査センター	H30年 12月	①H31 1月
1	集中治療部	集中治療部入院患者の診療・生命の維持	①職員：主治医が駆けつけられない場合は、集中治療医、看護師で対応 ②酸素：万が一中央配管がだめになったら、酸素ボンベで対応 ③医療資源：交換しなくても良いものはできるだけそのまま使用	集中治療部	H29年 11月	②H30 年11月 ③H30 年8月
2		院内新規発生の集中治療該当患者の受入	同上	集中治療部	H29年 11月	同上
3		院外新規発生の集中治療該当患者の受入	同上	集中治療部	H29年 11月	同上
1	輸血・細胞治療部	輸血検査（ABO/RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、交叉適合紙試験）	①災害用に生理食塩液（18L×2箱）を準備。約3日分に相当 ②検査試薬を3日分確保 ③災害時の試薬・物品供給体制の確認	輸血・細胞治療部	H29年 11月	①H30 年10月 ②H30 年10月
2		血液製剤の確保と供給、血液製剤の管理	①血液センターとの連絡手段の確認 ②災害時の血液製剤の供給体制の確認	輸血・細胞治療部	H29年 11月	
1	高度救命救急センター	高度救命センター入院患者の診療、生命維持	①平時に薬剤部やSPD、材料部、MEセンター等とMTGを行い、在庫数の共有や災害時の払い出し方法等について検討しておく	高度救命救急センター	H29年 11月	
2		院内外新規発生（多数）傷病者の診療対応	同上	高度救命救急センター	H29年 11月	
1	血液浄化療法部	救急における急性血液浄化（集中治療患者CHDF）	①非常用通信手段の見直し、MCA無線機、衛星携帯電話の契約見直し、現場、院内本部、行政機関への人の割り当て ②事業者との情報交換	血液浄化療法部	H29年 11月	
2		救急における急性血液浄化（救急へ搬送さ	①非常用通信手段の見直し、MCA無線機、衛星携帯電話の契約見直し、現場、院内	血液浄化療法部	H29年 11月	

No	脆弱性課題		実施すべき事前対策	責任部門	実施 計画日	完了日
	部門	影響する業務				
		れた重症患者への血液浄化)	本部、行政機関への人の割り当て ②事業者との情報交換			
3		診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化(入院中の維持透析患者への血液浄化)	①職員の家庭的背景について可能な範囲で情報共有 ②浄化部留め置きの場合のアリバイ確認手順	血液浄化療法部	H29年 11月	
4		診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化(エレベータ停止による各病棟への患者移送)		血液浄化療法部	H29年 11月	
5		地域の透析医療の被災状況と情報管理(支援透析の受入れ)		血液浄化療法部	H29年 11月	
1	メディカル ITセンター	病院情報システムおよび診療録の維持・管理	①非常時代替システムの準備	メディカルITセンター	H29年 11月	
2		通信システムの維持・管理	①代替システムの整備		H29年 11月	
3		地域連携システムの維持・管理	①非常時対応マニュアル整備		H29年 11月	
1	薬剤部	トリアージポストでの調剤業務	①災害時の部内マニュアルの整備	薬剤部	H29年 11月	
2		調剤業務等医薬品の供給	同上	薬剤部	H29年 11月	
3		薬品購入	①災害時の状況に応じた在庫管理、発注業務の手順の策定	薬剤部	H29年 11月	
4		地域医療への貢献、薬剤師派遣と医薬品の提供	①災害時対応の部内マニュアル整備	薬剤部	H29年 11月	
1	看護管理室	看護師配属部署の現状把握(患者、看護師、建物・ライフライン)	①勤務ではない看護師の安否確認方法(携帯電話以外の方法)について再検討	看護管理室	H29年 11月	
2		空床確保、新規患者の受入体制構築	①診療支援システムダウン時の紙媒体での報告用紙を再確認	看護管理室	H29年 11月	
3		院内人的リソースの適正配分	①自部署に入院中の患者に必要な看護人	看護管理室	H29年 11月	
4		院外への看護師派遣調整	①災害対策本部からの指示があった場合を想定した検討	看護管理室	H29年 11月	

No	脆弱性課題		実施すべき事前対策	責任部門	実施計画日	完了日
	部門	影響する業務				
1	看護部 (外来)	外来受診患者・家族の 生命の安全確保	①アクションカードの定期的な見直し	看護部 (外来)	H29年 11月	
2		一般外来診療の再開 に向けた環境整備	①外来支部の業務内容の再確認	看護部 (外来)	H29年 11月	
1	看護部 (入院)	入院患者の生命の安全 確保	①部署のアクションカードの内容確認	看護部 (入院)	H29年 11月	
2		入院患者の診療	①部署のアクションカードの内容確認	看護部 (入院)	H29年 11月	
3		新規入院患者の受入 と診療	①対策本部からの指示の基、新規入院患者の受け入れが可能か診療科の医局の医師と確認する体制の確立	看護部 (入院)	H29年 11月	
1	産科・婦人科 (産科部門)	経膈分娩	①ディスク製品の在庫確認	産科・婦人科 (産科部門)	H30年 12月	
2		帝王切開術	同上	産科・婦人科 (産科部門)	H30年 12月	
3		救急搬送の受け入れ・ 対応	同上	産科・婦人科 (産科部門)	H30年 12月	
1	産科・婦人科 (新生児部門)	院外発生の病的新生児の受け入れ	①通信機能が途絶した場合の周産期コーディネートシステム	産科・婦人科 (新生児部門)	H30年 12月	
1	精神科	身体的治療を必要とする重症精神疾患の治療 (ニーズの増大の可能性を考慮)	①県内の精神科医療関連の情報収集のあり方についての取り決めや確認を行う	精神科	H30年 12月	
2		新規の医療保護入院 (任意入院からの切り替え、身体科からの受け入れ含む)	同上	精神科	H30年 12月	
3		被災地の精神保健医療支援についての情報収集と人材派遣	同上	精神科	H30年 12月	
1	感染管理室	救急患者対応のための感染対策の構築	① 非常事態でも適切な感染対策が行えるよう職員を教育する。非常時の感染対策の方針や当院のマニュアルが出来次第、周知する。	感染管理室	H30年 12月	

2		病院全体における感染対策の維持	同上	感染管理室	H30年 12月	
3		病院全体における感染対策の確認	① 平時より現場と密に連携できる体制を構築する。感染対策ラウンドにより、適切な感染対策の体制を整備する。	感染管理室	H30年 12月	
1	事務部 (各課・室)	施設・設備の被害状況確認	①実参集要員について参集シミュレーション調査 ②各自緊急時の役割等についての確認・検討	事務部 (各課・室)	H29年 11月	

6 病院 BCP の維持・改善（業務継続マネジメント（BCM））

6.1 病院 BCP 策定後の業務継続マネジメント（BCM）推進体制について

病院 BCP 策定後も、計画的に PDCA サイクルを回すこと（業務継続マネジメント（BCM））が必要である。平常時の病院 BCP の点検や改善の推進体制の下、教育訓練を計画的に実施するとともに、人事異動や組織改編、事業場の周辺環境の変化、事前対策の実施、実施した訓練の結果等に応じて、病院 BCP を定期的（及び特に必要が生じた場合）に点検・維持管理及び継続的改善を実施していく。その際、事業場が抱える脆弱性や課題に対して新たに実施すべき事前対策や対応手順、対応体制の改善の必要性も明らかになるので、それも着実に実施に移していくものとする。

6.2 業務継続マネジメント（BCM）推進体制

業務継続マネジメントの推進については、BCP 委員会および BCP 事務局（病院施設企画室及び BCP 委員）が中心となり、取り扱う。BCP 委員会および BCP 事務局の役割は、以下のとおりとする。

- ・ 当院の防災・業務継続への取組みの統括
- ・ 教育・訓練の計画と実施
- ・ 事前対策の実施に関する調整・進捗管理
- ・ 病院 BCP の維持及び更新

6.3 病院 BCP に基づく訓練の実施

病院 BCP に基づく訓練、当院の避難・安否確認訓練を年 1 回実施することとし、詳細は別途計画することとする。また、大学本部の災害対策推進室の指示に基づく安否確認システムの訓練も毎年数回は実施することとし、詳細は別途計画することとする。

これら訓練の実施により改善点が明らかになった場合、病院 BCP を事項の計画に沿って確実に見直し、改善していくものとする。

6.4 維持・改善計画

BCP 事務局が中心となり、人事異動や組織再編、防災・業務継続にかかわる大学の周辺環境の変化、事前対策の実施による前提条件の改善、訓練から把握された要改善点等の結果などに応じて、病院 BCP を定期的（及び特に必要が生じた場合）に点検・見直しを行い、病院 BCP を継続的に維持管理・改善していくものとする。この維持・改善計画の詳細は別途定める。

6.4.1 今後さらに検討が必要な項目

- ① レベル 4 以上の場合の病院避難
- ② 職員参集に関するデータ収集とシミュレーション・訓練
- ③ 災害対策本部構成員の行動計画（BCP チェックリスト）
- ④ 関連団体との事前協定文書の雛形と締結にあたって留意すべき事項
- ⑤ BCP 未策定部門における BCP 策定
- ⑥ CBRNE 災害、地震以外のハザードに対する BCM
- ⑦ 病院の災害対策枠組修正への対応

7 添付資料

7.1 各種報告様式

- ・災害対策本部への発災時・定時報告様式(ACSIST システム)

発災時報告【全部署共用】 Ver.1

震度5強以上の場合、発災15分以内に報告してください

★のついたものは必須項目です

★報告時刻

※24時間表示 例)8:30、18:15

★所属部署

★報告者名

※フルネームで記載してください

★連絡先(内線)

例)7000

★連絡先(PHS)

例)5758

★人的被害

なし あり

人的被害の概要

例)患者1名転倒、頭部裂創あり

★建物被害・ライフライン異常

なし あり

建物被害・ライフライン異常の概要

例1) 停電、棚が倒れて避難路をふさいでいる

本部への連絡事項

- 人員要請
 対応依頼
 その他

※災害対策本部に大至急連絡をしたいことがあれば項目を選択し、下記の自由記載欄に詳細をお書きください

連絡事項の概要

※必要な「要件」「人員数」について記載してください

例) 転倒患者搬送のため、応援4名

定時報告【共用】 Ver.1

「★」のついたものは必須項目です

報告時刻★ ※ 24時間表示 例)3月11日18:15

所属部署★ ※ 例)東〇階病棟

報告者(氏名/連絡先)★ ※ 報告者名および内線またはPHS

リーダー(氏名/連絡先) ※ リーダー名および内線またはPHS

傷病者 なし 患者 職員 その他 ※ 該当事項をチェック

傷病者の人数 ※ 例)1

傷病者の詳細

※ 氏名 性別 年齢 状態等

異常があるもの
※該当事項すべてにチェック

火災 電気 上水道 下水道 建物
 内線電話(PHS・FAX含む) 診療支援システム 部門システム
 その他のネットワーク

その他の設備異常及び
詳細

※ 上記の異常箇所の詳細も記載する

保護している他病棟の
患者の氏名・年齢・性別・
入院病棟

※多数の場合は保護患
者リストへ記載

※ 例) 仙台 次郎、30歳、男、東〇階

その他

※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等

定時報告【病棟部門】 Ver.1

「★」のついたものは必須項目です

報告時刻★	<input type="text"/>	※ 24時間表示 例)3月11日18:15
所属部署★	<input type="text"/>	※ 例)東〇階病棟
報告者(氏名/連絡先)★	<input type="text"/>	※ 報告者名および内線 またはPHS
リーダー(氏名/連絡先)	<input type="text"/>	※ リーダー名および内線 またはPHS
傷病者	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他	※ 該当事項をチェック
傷病者の人数	<input type="text"/>	※ 例)1人
傷病者の詳細	<input type="checkbox"/> 氏名 <input type="checkbox"/> 性別 <input type="checkbox"/> 年齢 <input type="checkbox"/> 状態等 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> 内線電話(PHS・FAX含む) <input type="checkbox"/> 診療支援システム <input type="checkbox"/> 部門システム <input type="checkbox"/> その他のネットワーク ※ 上記の異常箇所の詳細を記載	
異常があるもの ※該当事項すべてにチェック		
その他の設備異常及び 詳細		
空床数	<input type="text"/>	※ 例)1
本日の入院患者数	<input type="text"/>	※ 例)39
外出・外泊者数	<input type="text"/>	※ 例)2
現在、病棟にいる患者数	<input type="text"/>	※ 例)33
現在、病棟にいない 患者数(外出・外泊を除く)	<input type="text"/>	※ 例)4
そのうち「所在先の確認」 がとれていない患者数	<input type="text"/>	※ 例)1
上記の患者の氏名・年齢・ 性別	※ 例)東北 太郎、44歳、男	
保護している他病棟の 患者の氏名・年齢・性別・入 院病棟 ※多数の場合は保護患者リスト へ 記載	※ 例) 仙台 次郎、30歳、男、東〇階	
その他	※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等	

定時報告【ID付与センター(救命・ヘリポート・正面)】 Ver.1

「★」のついたものは必須項目です

報告時刻★	<input type="text"/>	※ 24時間表示 例)3月11日18:15
所属部署★	<input type="text"/>	※ 例)東〇階病棟
報告者(氏名/連絡先)★	<input type="text"/>	※ 報告者名および内線またはPHS
リーダー(氏名/連絡先)	<input type="text"/>	※ リーダー名および内線またはPHS
傷病者	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他	※ 該当事項をチェック
傷病者の人数	<input type="text"/>	※ 例)1
傷病者の詳細	<input type="text"/> ※ 氏名 性別 年齢 状態等	
異常があるもの ※該当事項すべてにチェック	<input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> 内線電話(PHS・FAX含む) <input type="checkbox"/> 診療支援システム <input type="checkbox"/> 部門システム <input type="checkbox"/> その他のネットワーク	
その他の設備異常及び 詳細	<input type="text"/> ※ 上記の異常箇所の詳細も記載する	
本日の患者数		
トリアージ患者数	<input type="text"/>	※ 例:105人
赤患者数	<input type="text"/>	※ 例:10人
黄患者数	<input type="text"/>	※ 例:20人
緑患者数	<input type="text"/>	※ 例:70人
黒患者数	<input type="text"/>	※ 例:5人
救急車搬入台数	<input type="text"/>	
ヘリ搬入台数	<input type="text"/>	
その他	<input type="text"/> ※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等	

定時報告【高度救命救急センター】 Ver.1

★のついたものは必須項目です

報告時刻 ★	<input type="text"/>	※24時間表示 例)3月11日18:15
報告者(氏名/連絡先)★	<input type="text"/>	※ 報告者名および内線または PHS
リーダー(氏名/連絡先)★	<input type="text"/>	※ リーダー名および内線または PHS
傷病者	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他	※ 該当事項をチェック
傷病者の人数	<input type="text"/>	※ 例)1人
傷病者の詳細	※ 氏名 性別 年齢 状態等	
異常があるもの ※該当事項すべてにチェック	<input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> 内線電話(PHS・FAX含む) <input type="checkbox"/> 診療支援システム <input type="checkbox"/> 部門システム <input type="checkbox"/> その他のネットワーク	
その他の設備異常及び 詳細	※ 上記の異常箇所の詳細を記載	
空床数	<input type="text"/>	※ 例)1
本日の入院患者数	<input type="text"/>	※ 例)39
外出・外泊者数	<input type="text"/>	※ 例)2
現在、病棟にいる患者数	<input type="text"/>	※ 例)33
現在、病棟にいない患者数 (外出・外泊を除く)	<input type="text"/>	※ 例)4
そのうち、「所在先の確認が とれていない患者数	<input type="text"/>	※ 例)1
上記の患者の氏名・年齢・性別	※ 例)東北 太郎、44歳、男	
保護している他病棟の 患者の氏名・年齢・性別・入院病棟 ※多数の場合は保護患者リストへ記載	※ 例)仙台 次郎、30歳、男、東〇階	
本日のトリアージ患者数	<input type="text"/>	※例)50人
現在赤エリアにいる患者数	<input type="text"/>	※例)3人
現在黄エリアにいる患者数	<input type="text"/>	※例)10人
現在緑エリアにいる患者数	<input type="text"/>	※例)20人
現在黒エリアにいる患者数	<input type="text"/>	※例)2人
本日、入院した患者数	<input type="text"/>	※例)7人
外来死亡者数(追加項目)	<input type="text"/>	
その他	※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等	

定時報告【検査部】 Ver.1

「★」のついたものは必須項目です

報告時刻★ ※ 24時間表示 例)3月11日18:15

所属部署★ ※ 例)東〇階病棟

報告者(氏名/連絡先)★ ※ 報告者名および内線またはPHS

リーダー(氏名/連絡先) ※ リーダー名および内線またはPHS

傷病者 なし 患者 職員 その他 ※ 該当事項をチェック

傷病者の人数 ※ 例)1

傷病者の詳細

※ 氏名 性別 年齢 状態等

異常があるもの

※該当事項すべてにチェック

火災 電気 上水道 下水道 建物

内線電話(PHS・FAX含む) 診療支援システム 部門システム

その他のネットワーク

※ 上記の異常箇所の詳細も記載する

その他の設備異常及び
詳細

機器の使用状況

夜間休日検査 使用可 一部使用可 使用不能 ※ 該当にチェックする

血液検査 使用可 一部使用可 使用不能 ※ 該当にチェックする

生化学検査 使用可 一部使用可 使用不能 ※ 該当にチェックする

血清免疫検査 使用可 一部使用可 使用不能 ※ 該当にチェックする

微生物検査 使用可 一部使用可 使用不能 ※ 該当にチェックする

尿検査 使用可 一部使用可 使用不能 ※ 該当にチェックする

血液ガス検査 使用可 一部使用可 使用不能 ※ 該当にチェックする

保護している他病棟の
患者の氏名・年齢・性
別・入院病棟

※多数の場合は保護患者リ
ストへ記載

※ 例) 仙台 次郎、30歳、男、東〇階

その他

※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等

定時報告【放射線部】 Ver.1

「★」のついたものは必須項目です

報告時刻★

※ 24時間表示
例)3月11日18:15

所属部署★

※ 例)東〇階病棟

報告者(氏名/連絡先)★

※ 報告者名および内線または
PHS

リーダー(氏名/連絡先)

※ リーダー名および内線または
PHS

傷病者

なし 患者 職員 その他

※ 該当事項をチェック

傷病者の人数

※ 例)1

傷病者の詳細

※ 氏名 性別 年齢 状態等

異常があるもの

※該当事項すべてにチェック

火災 電気 上水道 下水道 建物
 内線電話(PHS・FAX含む) 診療支援システム 部門システム
 その他のネットワーク

その他の設備異常及び
詳細

※ 上記の異常箇所の詳細も記載する

機器の使用状況★

一般撮影★

使用可 一部使用可 使用不能

※ 該当にチェックする

CT★

使用可 一部使用可 使用不能

※ 該当にチェックする

ポータブル撮影★

使用可 一部使用可 使用不能

※ 該当にチェックする

MRI★

使用可 一部使用可 使用不能

※ 該当にチェックする

血管撮影★

使用可 一部使用可 使用不能

※ 該当にチェックする

透視撮影★

使用可 一部使用可 使用不能

※ 該当にチェックする

保護している他病棟の
患者の氏名・年齢・性別・
入院病棟

※多数の場合は保護患者リス
トへ記載

※ 例) 仙台 次郎、30歳、男、東〇階

その他

※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等

定時報告【材料部】 Ver.1

「★」のついたものは必須項目です

報告時刻★	<input type="text"/>	※ 24時間表示 例)3月11日18:15
所属部署★	<input type="text"/>	※ 例)東〇階病棟
報告者(氏名/連絡先)★	<input type="text"/>	※ 報告者名および内線またはPHS
リーダー(氏名/連絡先)	<input type="text"/>	※ リーダー名および内線またはPHS
傷病者	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 委託職員 <input type="checkbox"/> 業者 <input type="checkbox"/> その他 ※ 該当事項をチェック	
傷病者の人数	<input type="text"/>	※ 例)1

傷病者の詳細

異常があるもの

※該当事項すべてにチェック

- 火災 電気 上水道 下水 蒸気
建物 内線電話(PHS・FAX含む) 診療支援システム
部門システム その他のネットワーク

その他の設備異常及び詳細

機器の使用状況★

RO水精製器	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
恒温槽	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
洗浄器(単層式)	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
洗浄器(6連式)	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
SHARP超音波洗浄器	<input type="checkbox"/> 使用可		<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
MIURA減圧沸騰式洗浄器	<input type="checkbox"/> 使用可		<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
カートウォッシャー	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
リーマー用超音波	<input type="checkbox"/> 使用可		<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
高温乾燥機	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
乾燥機(ダブルドア)	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
低温乾燥機	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
シーラー装置	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
高圧蒸気滅菌器1号機	<input type="checkbox"/> 使用可		<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
高圧蒸気滅菌器2号機	<input type="checkbox"/> 使用可		<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
高圧蒸気滅菌器3号機	<input type="checkbox"/> 使用可		<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
高圧蒸気滅菌器4号機	<input type="checkbox"/> 使用可		<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
高圧蒸気滅菌器5号機	<input type="checkbox"/> 使用可		<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
高圧蒸気滅菌器6号機	<input type="checkbox"/> 使用可		<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち

高圧蒸気滅菌器7号機	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
高圧蒸気滅菌器8号機	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
エチレンオキサイトガス滅菌器9号機	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
エチレンオキサイトガス滅菌器10号機	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
ステラッド100NX(No.1)	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
ステラッド100NX(No.2)	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
ステラッド100S(No.1)	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
ステラッド100S(No.2)	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち
パーティカル(滅菌器材回転保管棚)	<input type="checkbox"/> 使用可 <input type="checkbox"/> 一部使用可	<input type="checkbox"/> 使用不可	<input type="checkbox"/> 業者点検待ち

※上記の詳細など

洗浄に必要な材料の保管状況(残量)

※WD用は45ml/回使用
※未開封の残数を記載

- WD用酵素洗剤20L(残 本)※MS-KW
恒温槽用酵素洗剤4L(残 本)※ソニックザイム
WD用アルカリ洗剤20L(残 本)※ケディクリーン
WD用防錆潤滑剤20L(残 本)※MS-MR

ステラッド滅菌に必要な材料の保管状況(残数)

※未開封の残数を記載

- ステラッド100S試薬(残 カセット)※5回/カセット
ステラッド100NS試薬(残 カセット)※5回/カセット
ステラッド用BI(残 箱)※30本/箱
ステラッド用ケミカルインジケータ(残 箱)※250枚/箱
ステラッド用滅菌パック(残 ロール)
クルム137×137cm(残 袋)※24枚/袋
クルム114×114cm(残 袋)※50枚/袋
クルム91×91cm(残 袋)※75枚/袋
ステラッド用シールテープ(残 巻)※55m/巻

※上記の詳細など

※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等

その他

定時報告【薬剤部】 Ver.1

「*」のついたものは必須項目です

報告時刻★	<input type="text"/>	※ 24時間表示 例) 3月11日18:15
所属部署★	<input type="text"/>	※ 例) 東〇階病棟
報告者(氏名/連絡先)★	<input type="text"/>	※ 報告者名および内線または PHS
リーダー(氏名/連絡先)	<input type="text"/>	※ リーダー名および内線または PHS
傷病者	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他	※ 該当事項をチェック
傷病者の人数	<input type="text"/>	※ 例) 1人
傷病者の詳細	<input type="text"/> ※ 氏名 性別 年齢 状態等	
異常があるもの ※該当事項すべてにチェック	<input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> 内線電話(PHS・FAX含む) <input type="checkbox"/> 診療支援システム <input type="checkbox"/> 部門システム <input type="checkbox"/> その他のネットワーク	
その他の設備異常及び 詳細	<input type="text"/> ※ 上記の異常箇所の詳細も記載する	
災害時に必要な医薬品の 在庫状況★	<input type="text"/>	
一般医薬品の在庫状況★	<input type="text"/>	
医薬品卸売会社からの納 品の可否★	<input type="text"/>	
その他	<input type="text"/> ※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等	

定時報告【血液浄化療法部】 Ver.1

「★」のついたものは必須項目です

報告時刻★	<input type="text"/>	※ 24時間表示 3月11日18:15
所属部署★	<input type="text"/>	※ 例)東〇階病棟
報告者(氏名/連絡先)★	<input type="text"/>	※ 報告者名および内線または PHS
リーダー(氏名/連絡先)	<input type="text"/>	※ リーダー名および内線または PHS
傷病者	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他	※ 該当事項をチェック
傷病者の人数	<input type="text"/>	※ 例)1
傷病者の詳細	※ 氏名 性別 年齢 状態等 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> 内線電話(PHS・FAX含む) <input type="checkbox"/> 診療支援システム <input type="checkbox"/> 部門システム <input type="checkbox"/> その他のネットワーク ※ 上記の異常箇所の詳細も記載する	
異常があるもの ※該当事項すべてにチェック		
その他の設備異常及び 詳細	<input type="text"/>	
空床数★	<input type="text"/>	※ 例)1
現在の在室患者数★	<input type="text"/>	※ 例)11人
在室患者情報 ★		
治療継続中★	<input type="text"/>	※ 例)7人
HD前・病棟迎え待ち★	<input type="text"/>	※ 例)4人
病棟透析予定患者数★	<input type="text"/>	※ 例)2人
保護している他病棟の 患者の氏名・年齢・性別・ 入院病棟	※ 例) 仙台 次郎、30歳、男、東〇階 <input type="text"/>	
※多数の場合は保護患者リス トへ記載		
稼働状況 ★	<input type="checkbox"/> 治療可能 <input type="checkbox"/> 治療不可 <input type="checkbox"/> 確認中	
受け入れ可能人数 ★		
HD患者	<input type="text"/>	※6人
CHDF患者	<input type="text"/>	※2人
その他	※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等 <input type="text"/>	

定時報告【輸血細胞治療部】 Ver.1

「★」のついたものは必須項目です

報告時刻★ ※ 24時間表示 3月11日18:15

所属部署★ ※ 例) 東〇階病棟

報告者(氏名/連絡先)★ ※ 報告者名および内線またはPHS

リーダー(氏名/連絡先) ※ リーダー名および内線またはPHS

傷病者 なし 患者 職員 その他 ※ 該当事項をチェック

傷病者の人数 ※ 例) 1

傷病者の詳細 ※ 氏名 性別 年齢 状態等

異常があるもの ※該当事項すべてにチェック
 火災 電気 上水道 下水道 建物
 内線電話 (PHS・FAX含む) 診療支援システム 部門システム
 その他のネットワーク

その他の設備異常及び詳細 ※ 上記の異常箇所の詳細も記載する

機器の使用状況★

血液型検査★ 使用可能 一部使用不可能 使用不能
 交差適合試験★ 使用可能 一部使用不可能 使用不能
 抗体スクリーニング検査★ 使用可能 一部使用不可能 使用不能

供給可能血液製剤数★

RCC在庫単位数★	A型 <input type="text"/>	B型 <input type="text"/>	O型 <input type="text"/>	AB型 <input type="text"/>
FFP在庫単位数★	A型 <input type="text"/>	B型 <input type="text"/>	O型 <input type="text"/>	AB型 <input type="text"/>
PC在庫単位数★	A型 <input type="text"/>	B型 <input type="text"/>	O型 <input type="text"/>	AB型 <input type="text"/>

保護している他病棟の患者の氏名・年齢・性別・入院病棟 ※ 例) 仙台 次郎、30歳、男、東〇階
 ※多数の場合は保護患者リストへ記載

その他 ※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等

定時報告【手術部】 Ver.1

「*」のついたものは必須項目です

報告時刻★	<input type="text"/>	※ 24時間表示 例) 3月11日18:15
所属部署★	<input type="text"/>	※ 例) 東〇階病棟
報告者(氏名/連絡先)★	<input type="text"/>	※ 報告者名および内線またはPHS
リーダー(氏名/連絡先)	<input type="text"/>	※ リーダー名および内線またはPHS
傷病者	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他	※ 該当事項をチェック
傷病者の人数	<input type="text"/>	※ 例) 1人
傷病者の詳細	<input type="text"/>	
異常があるもの ※該当事項すべてにチェック	<input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> 内線電話(PHS・FAX含む) <input type="checkbox"/> 診療支援システム <input type="checkbox"/> 部門システム <input type="checkbox"/> その他のネットワーク	
その他の設備異常及び 詳細	<input type="text"/>	
医療ガスの異常	<input type="checkbox"/> 酸素 <input type="checkbox"/> 空気 <input type="checkbox"/> 笑気 <input type="checkbox"/> 窒素 <input type="checkbox"/> 二酸化炭素 <input type="checkbox"/> 吸引	
手術状況		
完遂予定件数★	<input type="text"/>	
終了可件数★	<input type="text"/>	
終了不可件数★	<input type="text"/>	
検討中件数★	<input type="text"/>	
手術可能件数		
頭部手術	<input type="text"/>	
胸部手術	<input type="text"/>	
腹部手術	<input type="text"/>	
整形手術	<input type="text"/>	
眼科手術	<input type="text"/>	
耳鼻科手術	<input type="text"/>	
帝王切開手術	<input type="text"/>	
同時に手術可能部屋数★	<input type="text"/>	
すべての在室患者数	<input type="text"/>	※ 例) 10人
すべての在室患者の氏名・ 年齢・性別・入院病棟 ※多数の場合は保護患者リスト へ記載	<input type="text"/>	
その他	<input type="text"/>	

定時報告【MEセンター】 Ver.1

「★」のついたものは必須項目です

報告時刻★	<input type="text"/>	※ 24時間表示 例)3月11日18:15
所属部署★	<input type="text"/>	※ 例)東〇階病棟
報告者(氏名/連絡先)★	<input type="text"/>	※ 報告者名および内線または PHS
リーダー(氏名/連絡先)	<input type="text"/>	※ リーダー名および内線または PHS
傷病者	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他	※ 該当事項をチェック
傷病者の人数	<input type="text"/>	※ 例)1

傷病者の詳細

※ 氏名 性別 年齢 状態等

異常があるもの
※該当事項すべてにチェック

火災 電気 上水道 下水道 建物
 内線電話(PHS・FAX含む) 診療支援システム 部門システム
 その他のネットワーク

その他の設備異常及び
詳細

※ 上記の異常箇所の詳細も記載する

機器の貸出可能台数 ★

輸液ポンプ ★	<input type="text"/>	台
シリンジポンプ ★	<input type="text"/>	台
人工呼吸器 ★	<input type="text"/>	台
低圧持続吸引器 ★	<input type="text"/>	台

医療ガスの供給状況 ★

液体酸素★	<input type="checkbox"/> 運転中	<input type="checkbox"/> 運転停止	()
空気★	<input type="checkbox"/> 運転中	<input type="checkbox"/> 運転停止	()
吸引★	<input type="checkbox"/> 運転中	<input type="checkbox"/> 運転停止	()
笑気★	<input type="checkbox"/> 運転中	<input type="checkbox"/> 運転停止	()
窒素★	<input type="checkbox"/> 供給可	<input type="checkbox"/> 供給不可	()
炭酸ガス★	<input type="checkbox"/> 供給可	<input type="checkbox"/> 供給不可	()

その他

※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等

定時報告【メディカルITセンター】 Ver.1

「★」のついたものは必須項目です

報告時刻★	<input type="text"/>	※ 24時間表示 例3月11日18:15
所属部署★	<input type="text"/>	※ 例)東〇階病棟
報告者(氏名/連絡先)★	<input type="text"/>	※ 報告者名および内線またはPHS
リーダー(氏名/連絡先)	<input type="text"/>	※ リーダー名および内線またはPHS
傷病者	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他	※ 該当事項をチェック
傷病者の人数	<input type="text"/>	※ 例)1
傷病者の詳細	<input type="text"/> ※ 氏名 性別 年齢 状態等	
異常があるもの ※該当事項すべてにチェック	<input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> 内線電話(PHS・FAX含む) <input type="checkbox"/> 診療支援システム <input type="checkbox"/> 部門システム <input type="checkbox"/> その他のネットワーク	
その他の設備異常及び 詳細	<input type="text"/> ※ 上記の異常箇所の詳細も記載する	
病院情報システムの異常 の詳細	<input type="text"/> 以下、要検討	
部門システムの異常の 詳細	<input type="text"/>	
EASTの異常の詳細	<input type="text"/>	
病院ネットワークの異常 の詳細	<input type="text"/>	
外部ネットワークの異常 の詳細	<input type="text"/>	
伝票運用対象の業務	<input type="text"/>	
回復見込みの詳細	<input type="text"/>	
その他	<input type="text"/> ※ 本部への連絡事項・質問事項、要望等	

・職員安否確認用メンバーリスト

メンバーリスト

部署名：

最終更新日：

no	安否確認状況			氏名	フリガナ	職名	本籍のある部局名	兼務先1	兼務先2	兼務先3	実際の居住地	Emergency Call登録状況
	1.無事	2.負傷	3.確認中									

7.2 緊急時関係機関連絡先リスト（別紙）

7.3 「重要業務調査」取り纏め一覧

組織順

「重要業務調査」取り纏め一覧

	患者（通常）患者の健康状態を維持できること	社会的評価（通常）社会から信用され、社会貢献できること
凡例	C 患者の健康状態を維持できない、死者発生の可能性	社会的貢献が全くできず、信用が失墜する。回復不能な患者離れ
	B 一部の患者の健康状態を維持できない、病状悪化の可能性	十分な社会的貢献ができないが、業務再開で信用回復は可能
	A 患者の健康状態にはまったく、またはほとんど影響はない	十分な社会的貢献ができる。ほとんど影響はない

部署名	重要業務（大項目）	重要業務（中項目）	新規業務が通常業務か	基本方針	業務中断期間											B → C の理由			
					～1時間以内	～3時間以内	～6時間以内	～12時間以内	～24時間以内	～3日以内	～1週間以内	～2週間以内	～1ヶ月以内	～3ヶ月以内					
病院全体	安全確保	職員（不在の職員の安否確認含む）	新規業務		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	中断できない	
		施設			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
		患者と来訪者			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
	生活支援	職員（勤務交替、食事、睡眠、その他の生活支援等）	新規業務		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	小児や寝たきりの家族など保護や介護をする必要のある職員、職員自身やその家族の生活支援のため、各部門が一段落するであろう12時間までには、勤務交替や帰宅の措置が必要。また、その他生活必需品等の調達や支給もきめた支援が必要	
		患者（食事、保温、清潔、環境整備等）			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
	多数傷病者、受入体制構築	新設外来部門（トリアージ・赤・黄・緑・黒エリア）	新規業務		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	災害拠点病院、高度救命救急センターを持つ病院としての社会的使命。発災後1時間後には受入可能にする。	
外来部門（受け入れ準備・人材派遣・臨時ベッドの展開）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
病棟部門（臨時ベッドの展開・人材派遣・ベッドコントロール・転院調整）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
中央診療部門（検査・手術含む）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
通常診療業務	外来部門	通常業務		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	院内の災害急性期対応から各部門の復旧状況を鑑みると2週間が適切なのは、通常診療の復旧時期は病院全体としての意思表示が必要	
	病棟部門			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	中央診療部門			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
災害時の地域医療機関の支援			新規業務		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	例）被災地への医療班派遣、支援物資の供給、被災地からの患者受入	
検査部	1 院内外新規発生（多数）傷病者の診療対応時の緊急検査業務	新規業務	(1) (2)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	発災後1時間までに多数傷病者に対する検体システムを構築する必要がある	
	2 夜間休日検査室の緊急検査業務	通常業務	(1)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	発災後3日以内までに検査システムを構築する必要がある	
	3 各検査室の通常検査業務	通常業務	(1) (2)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	発災後3日以内までに検査システムを構築する必要がある	
	4 中央採血室の外来採血業務、外部委託検査業務	通常業務	(2) (3)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	発災後3日以内までに検査システムを構築する必要がある	
手術部	1 災害発災時点で手術を実施されている患者の診療	通常業務	(1) (3)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	2 災害後に実施する手術のための診療体制の構築	新規業務	(2) (3) (4)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
放射線部	1 撮影・検査・治療機器運用・管理業務	通常業務	(1) (2)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	画像診断・治療ができなくなる	
	2 放射線管理業務	通常業務	(1)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	放射線管理ができなくなる	
	3 院内支援業務	新規業務	(1) (2)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	4 院外放射線管理支援業務	新規業務	(3) (4) (5)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
材料部	1 医療器材の洗浄・滅菌業務	通常業務	(2) (3)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	器材の洗浄・滅菌ができないと手術や処置治療が困難になる。そのため、手術や処置治療を必要としている患者への対応ができなくなる可能性がある。また、地域支援・貢献ができなくなる恐れがある。災害時は定期手術や検査治療が困難になるため3日程度は現有器材で対処できるが、使用した器材は洗浄・滅菌を行い、手術や処置治療に対応できるようにする必要がある。周囲の医療施設との連携が必要である。	

組織順

「重要業務調査」取り纏め一覧

	患者 (通常) 患者の健康状態を維持できること	社会的評価 (通常) 社会から信用され、社会貢献できること
○	患者の健康状態を維持できない。死者発生の可能性	社会的貢献が全くできず、信用が失墜する。到底不能な患者擁護
□	一部の患者の健康状態を維持できない。病状悪化の可能性	十分な社会的貢献ができないが、業務再開で信用回復は可能
○	患者の健康状態はまったく、またはほとんど影響ない	十分な社会的貢献ができる。ほとんど影響はない

部署	業務内容	業務種別	人数	影響評価 (○: 通常, □: 一部の患者, ○: 患者の健康状態)														備考	
生理検査センター	1 検査機器運用・管理業務	新規業務	(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1週間を目処に業務再開が必要
	2 多数傷病者、受入体制構築 (依頼を受けた場合)	新規業務		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	発災直後で外来患者・入院患者対応が落ち着けば対応可能 (3時間前後)。
	3 往診での検査業務 (心電図、超音波、脳波)	通常業務	(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
集中治療部	1 集中治療部入院患者の診療、生命の維持	通常業務	(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	酸素供給が無くなれば生命を維持できない可能性がある
	2 院内新規発生の中治療該当患者の受け入れ	新規業務	(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	酸素供給が無くなれば生命を維持できない可能性がある
	3 院外新規発生の中治療該当患者の受け入れ	新規業務	(2) (3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	酸素供給が無くなれば生命を維持できない可能性がある
輸血・細胞治療部	1 輸血検査 (ABO/Rh血液型検査、不規則抗体スクリーニング、交差適合試験)	通常業務	(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	通常3日間検査できる試薬を在庫するが、傷病者多数来院の場合、どこまで対応できるか不明である。新規患者で血液型検査ができない場合、赤血球製剤はO型、血漿製剤はAB型を準備する。影響は製剤確保状況によるため、1の輸血検査と2の血液製剤の確保と供給、血液製剤の管理は同じ業務中断期間になると思われる。
	2 血液製剤の確保と供給、血液製剤の管理	通常業務	(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	院内在庫を確保しているが、それ以上の血液製剤が必要になった場合、血液センターに供給を依頼する。受け入れ患者数、製剤供給状況によっては3時間以内でも0の影響があると考ええる。
	3 保管末梢血幹細胞の管理	通常業務	(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中断したときの条件で3日間は保存可能 末梢血幹細胞は-90℃で保存する必要があり非常電源が切れたあと電気供給が確保できない場合、移植に使えない。
高度救命救急センター	1 高度救命救急センター入院患者の診療、生命維持	通常業務	(1) (2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	人工呼吸器装着患者や体外循環装着患者は一刻も中断できない。 酸素供給や非常用電源が無くなれば救命できない可能性がある。
	2 院内外新規発生 (多数) 傷病者の診療対応	新規業務	(1) (2) (3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	発災後1時間までに多数傷病者を受入開始できなければ社会的貢献ができず信用を失う。
血液浄化療法部	1 ICUにおける血液浄化 (集中治療患者OHDF)	通常業務	(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	薬剤・器材は3日分のみ在庫しているため、新たに確保できなければ治療中断になる
	ICUにおける血液浄化 (ICUへ搬送された重症患者への血液浄化)	新規業務	(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 救急における急性血液浄化 (集中治療患者OHDF)	通常業務	(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	薬剤・器材は3日分のみ在庫しているため、新たに確保できなければ治療中断になる
	救急における急性血液浄化 (救急へ搬送された重症患者への血液浄化)	新規業務	(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化 (入院中の維持透析患者への血液浄化)	通常業務	(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化 (エレベーター停止による各病棟への患者移送)	新規業務	(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4 診療科入院中の慢性透析患者への血液浄化 (ライフラインの確認、治療継続または、再開できるか検討)	新規業務	(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4 地域の透析医療の被災状況と情報管理 (支援透析の受入れ)	新規業務	(3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
地域の透析医療の被災状況と情報管理 (通信インフラ途絶時の関連病院の情報収集)	新規業務	(3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
メディカルITセンター (MITC)	1 病院情報システムおよび診療録の維持・管理		(1) (2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	紙カルテや伝票の使用により対応はできるが、過去2年程度の情報閲覧に限られる。また検査や治療の制限も生じる。災害によってはその後の復旧に相応の時間を要する
	2 通信システムの維持・管理		(1) (2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ネットワークインフラの制限があるために、必要時の対応に限界を生じる
	3 地域連携システムの維持・管理		(3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	従来の紙運用を中心に、災害時にも有用であるべきサービスが供給されない

組織順

「重要業務調査」取り纏め一覧

	患者 (通常) 患者の健康状態を維持できること	社会的評価 (通常) 社会から信用され、社会貢献できること
凡例	C 患者の健康状態を維持できない。死者発生の可能性	社会的貢献が全くできず、信用が失墜する。到底不能患者離れ
	B 一部の患者の健康状態を維持できない。病状悪化の可能性	十分な社会的貢献ができないが、業務再開で信用回復は可能
	A 患者の健康状態にまったく、またはほとんど影響ない	十分な社会的貢献ができる。ほとんど影響はない

歯科外来	1	被災傷病者の歯科診療	新規業務	(2)																発災後の歯科医療ニーズの立ち上がりは比較的緩徐ではあるが、対応困難の期間が3日を超えることは、信用維持の観点から許されない
	2	一般外来患者の歯科診療	通常業務	(1)																通常診療の復旧時期は、病院外来部門全体で統一すべきことから、このように
	3	歯科医師の院外派遣	新規業務	(3)																院外派遣する歯科医師の調整は、歯科外来部門の担うべき業務である。調整期間が発災後1週を超えれば、信用を失墜しかねない
M E センター (装置別)	1	生命維持管理装置の維持・管理 (人工心臓装置、補助循環装置)	通常業務	(1)																人工心臓や補助循環装置患者は一刻も中断できない。医療ガスや非常電源がなくなれば救命できない
	2	生命維持管理装置の維持・管理 (閉鎖式保育器、人工呼吸器・麻酔器、医療ガス)	通常業務	(1)																人工心臓や補助循環装置患者は一刻も中断できない。医療ガスや非常電源がなくなれば救命できない
	3	補助人工心臓装着患者の受け入れ	新規業務	(2)																バッテリーおよび電源の供給が絶たれれば生命の維持ができなくなる
栄養管理室	1	入院患者の食事																		非常食の備蓄が底をつくため
	2	外来部門受け入れ準備 (透析患者など)																		
	3	災害時の地域医療連携																		派遣医師携帯食準備
	4	近隣病院との連携																		
薬剤部	1	トリアージポストでの調剤業務	新規業務	(2)																
	2	調剤業務等医薬品の供給	通常業務	(2)																
	3	薬品購入	通常業務	(2)																生命維持に必要な薬品の在庫切れが発生する可能性がある
	4	地域医療への貢献 薬剤師派遣と医薬品の提供	新規業務	(3)																
看護管理室	1	看護師配属部署の現状把握 (患者、看護師、建物・ライフライン)	通常業務	(1)																病院全体方針と運動 ※震災時は病棟内の把握に2時間かかった。夜間で看護部に情報が上がるとすると3時間が妥当と思われる
	2	空床確保、新規患者の受け入れ体制構築	新規業務	(2)																病院全体方針と運動
	3	院内人的リソースの適正配分	新規業務	(2)																人的リソースが不足し立ち上げ遅延の可能性があるため
	4	院外への看護師派遣調整	新規業務	(3)																
看護部 (外来)	1	外来受診患者・家族の生命の安全確保	新規業務	(1)																病院全体方針と運動
	2	一般外来診療の再開に向けた環境整備	新規業務	(2)																夜間に人員が参集し、体制が整ったところで開始
看護部 (入院)	1	入院患者の生命の安全確保	新規業務	(1)																病院全体方針と運動
	2	入院患者の診療	通常業務	(2)																備蓄食料・飲料水が枯渇するため。また、人員、ライフライン及び衛生材料等の不足衛生材料等の不足のため
	3	新規入院患者の受け入れと診察	通常業務	(2)																災害発生後の病棟内の安全確保、本部への被害状況報告、ベッドコントロール等の実施を考慮すると、1時間以上3時間以内には対応可能と考える。

組織順

「重要業務調査」取り纏め一覧

	患者 (通常) 患者の健康状態を維持できること	社会的評価 (通常) 社会から信用され、社会貢献できること
凡例	C 患者の健康状態を維持できない、死者発生の可能性	社会的貢献が全くできず、信用が失墜する。3週間不能患者継続
	B 一部の患者の健康状態を維持できない、病状悪化の可能性	十分な社会的貢献ができないが、業務再開で信用回復は可能
	A 患者の健康状態はまったく、またはほとんど影響ない	十分な社会的貢献ができる。ほとんど影響はない

部署	業務内容	業務種別	人数	患者健康	社会的評価	備考
事務部 (施設企画室)	1 施設・設備の被害状況確認	新規業務		C	C	発災時からの対応が必要
	事務部 (総務課)	1 職員の安否確認	新規業務 (1)	C	C	発災時からの対応が必要
	事務部 (広報室)	1 報道対応	新規業務 (2)	B	C	診療停止等の情報をマスコミに発信する必要があるため。その他、取材依頼への対応
	事務部 (医事課)	1 災害時外来業務	新規業務 (5)	C	C	多数傷病者受入事務。病院全体の方針と連動
周産母子センター (産科部門)	1 経産分娩	通常業務 (1)		C	C	分娩が行えないことによる母子ともに命を落とす可能性
	2 帝王切開術	通常業務 (1)		C	C	器械滅菌・デスポ製品の枯渇による分娩ができない
	3 救急搬送の受け入れ、対応	通常業務 (1) 新規業務 (3)		C	C	器械滅菌・デスポ製品の枯渇による分娩ができない
周産母子センター (新生児部門)	1 新生児集中治療室入院患者の診療、生命維持	通常業務		C	C	人工呼吸器装着患者は一刻も中断できない。医療ガス供給や非常用電源がなくなれば救命できない可能性がある。
	2 産科病棟に母児同室中の正常新生児の診療、生命維持	通常業務		B	C	24時間を超えて行われなければ、患者の健康状態に影響を与える可能性がある。
	3 院内のハイリスク分娩の立会い、新生児蘇生	通常業務		C	C	心肺蘇生を要する患者の対応は一刻も中断できない。酸素供給や非常用電源がなくなれば救命できない可能性がある。
	4 院外発生のハイリスク母胎の受け入れ	新規業務		C	C	発災後3時間までにハイリスク母胎を受け入れられなければ社会的貢献ができず信用を失う
	5 院外発生の病的新生児の受け入れ	新規業務		C	C	発災後3時間までに病的新生児を受け入れられなければ社会的貢献ができず信用を失う
精神科	1 身体的治療を必要とする重症精神疾患の治療	通常業務 (1) (2) (3)		C	C	災害時には身体的治療を要する重症精神疾患が増える可能性がある。医療の制限により患者の病状悪化の可能性があり、また新規対応が制限され、社会的貢献できず信用を失う。
	2 精神的治療を必要とする、一般身体科の患者の治療 (リエゾン精神医療含む)	通常業務 (1) (2) (3)		C	C	一般身体科において、精神医学的治療を必要とする患者への対応ニーズが高まる可能性があるが、スタッフ不足により対応が著しく制限され、社会的貢献できず、信用を失う
	3 必要な患者の隔離・身体拘束などの行動制限や入院継続が必要な任意入院患者が退院希望した場合の退院制限	通常業務 (1) (2)		C	C	精神保健指定医が不在の場合、法律上、12時間を超えた行動制限ができなくなる。また、これを必要とする患者の受け入れができなくなり、社会的信用が失墜する。
	4 新規の医療保護入院 (任意入院からの切り替え、身体科からの受け入れ含む)	通常業務 (1) (2) (3) 新規業務 (3)		C	C	精神保健指定医が不在の場合、災害後に起こりうる、医療保護入院のニーズの高まりに対応できず、患者やスタッフを危険にさらし、さらに、社会的信用が失墜する。
	5 被災地の精神保健医療支援についての情報収集と人材派遣	新規業務 (2) (3) (5)		C	C	災害時には、精神保健医療の支援ニーズが高まり、大学病院は情報収集と人材派遣に中心的役割を果たすことが期待され、これに必要な業務に必要な人材を早期に派遣できないことは、信用失墜に結びつく。
感染管理室	1 救急患者対応のための感染対策の構築	通常業務 (1)		C	C	水・薬品・医療器材が不十分な状況で診療するための緊急的な感染対策は、1時間以内で構築しなければ医療関連感染を防止できない
	2 病院全体における感染対策の維持	通常業務 (1)		C	C	施設内の被害状況 (ライフライン、SPD、消毒滅菌設備など) を確認し、必要最低限の臨時の感染対策の方針決定は、診療体制を維持するために3時間以内で行う必要がある
	3 病院全体における感染対策の確認	新規業務 (1)		C	C	外来・病棟で行われている感染対策や問題を把握し、必要な現場指導と臨時の感染対策の修正を24時間以内に行わなければ、大きな院内感染の問題に発展する可能性がある
	4 廃棄物の一時保管	新規業務 (3)		C	C	業者による廃棄物の回収が滞る可能性は高く、3日以内に対策を講じなければ感染拡大に繋がる可能性がある

7.4 「経営資源のリスク分析・評価・対策」調査表

組織順

各部署における「経営資源のリスク分析・評価・対策」調査表

A	準備は十分
B	準備に着手しており順調
C	準備に着手しているが問題あり
D	準備未着手

部署名	【重要業務調査】		【経営資源調査】																	「準備の達成度」を踏まえた課題	実施すべき事前対策							
	重要業務(大項目)	重要業務(中項目)	重要業務達成に不可欠な資源	電気	水	ガス	医療ガス	場所	設備	機械・装置	薬剤・試薬	医療資材	通信手段	情報機器	重要文書	外注業者・サービス	その他											
検査部	1	夜間休日検査室の緊急検査業務	臨床検査技師1名	復旧しなければ、業務不可(測定機器4台 遠心機2台 PC3台、冷蔵庫、他) 現状は対応して測定機器、一部PCは備蓄に対応している。非常電源(赤・緑)は対応なし	復旧しなければ、再開できず	(不要)	(不要)	(選択してください)	(選択してください)	既存の場所で行う	A	既存の設備	A	既存の設備を使用	C	試薬の在庫は数日分	A	診断支援システムと検査システムとの接続 検査システムと測定機器の接続が必要	A	オーダー情報の連携が必要	A	(不要)	(不要)	(選択してください)	本間休日検査室には非常用電源が設置されていない。2階フロア全体の非常用電源容量がフルに使用されている状態では、電圧は不安定なことが、各分装置にはUPSを接続して備蓄に備えているが、2~5年程度の耐用年数あり、その更新に予算立てが必要。	(自部署で行う事前対策) 災害時の対策、物品供給体制の確保 機器メーカーの修理対応の確保 検査可能な項目の確保 システム停止時の手続確認 UPSの更新 備蓄品の確保		
	2	院内外新規発生(多数)傷病者の診療対応の緊急検査業務	生化学5名/血液4名/尿1名/微生物6名	復旧しなければ、業務不可(測定機器生化学 約10台/血液 約8台/尿 約4台/微生物 約6台、遠心機約10台 PC約10台、冷蔵庫約6台、他) 現状は対応して測定機器は備蓄に対応している。非常電源(赤・緑)は一部対応あり	復旧しなければ、再開できず	(不要)	(不要)	(選択してください)	(選択してください)	既存の場所で行う	D	既存の設備	A	既存の設備	A	既存の設備	C	数日間の試薬在庫	A	診断支援システムと検査システムとの接続 検査システムと測定機器の接続が必要	A	オーダー情報の連携、重要報告に必要	A	(不要)	(不要)	(選択してください)	臨床検査棟は耐震・免震構造ではないため、建物その他の安全性に不安あり。各分装置にはUPSを接続して備蓄に備えているが、2~5年程度の耐用年数あり、その更新に予算立てが必要。	(自部署で行う事前対策) 災害時の対策、物品供給体制の確保 機器メーカーの修理対応の確保 フロアの耐震増強の検討 免震台への検討 システム停止時の手続確認 UPSの更新 検査可能な項目の確保
	3	各検査室の通常検査業務	生化学12名/血液4名/尿2名/微生物6名	復旧しなければ、業務不可(測定機器生化学 約10台/血液 約8台/尿 約4台/微生物 約6台、遠心機約10台 PC約10台、冷蔵庫約6台、他) 現状は対応して測定機器は備蓄に対応している。非常電源(赤・緑)は一部対応あり	復旧しなければ、再開できず	(不要)	(不要)	(選択してください)	(選択してください)	既存の場所で行う	D	既存の設備	A	既存の設備	A	既存の設備	C	数日間の試薬在庫	A	診断支援システムと検査システムとの接続 検査システムと測定機器の接続が必要	A	オーダー情報の連携、重要報告に必要	A	(不要)	(不要)	(選択してください)	臨床検査棟は耐震・免震構造ではないため、建物その他の安全性に不安あり。各分装置にはUPSを接続して備蓄に備えているが、2~5年程度の耐用年数あり、その更新に予算立てが必要。	(自部署で行う事前対策) 災害時の対策、物品供給体制の確保 機器メーカーの修理対応の確保 フロアの耐震増強の検討 免震台への検討 システム停止時の手続確認 UPSの更新 検査可能な項目の確保
	4	中央採血室の外來採血業務、外部委託検査業務	患者数に応じて採血可能な職員が最大10名必要	復旧しなければ、業務不可(非常電源(赤・緑)は対応なし)	復旧しなければ、再開できず	(不要)	(不要)	(選択してください)	(選択してください)	既存の場所で行う	A	既存の設備	A	既存の設備	A	不要	(不要)	(選択してください)	採血室、採血用具一式 UPに在庫は約1週間分	A	診断支援システムと採血室システムとの接続が必要	A	オーダー情報の連携、重要報告に必要	A	(不要)	(不要)	(選択してください)	採血室は耐震構造の患者の一待避スペースとなるため、外來患者との混入が予想される。
手術部	1	災害発生時で手術を実施されている患者の診療	執刀医、助手、器械出し看護師、巡回看護師、麻酔科医師、IC、麻酔科スーパースペシャリスト、看護師リーダー	無影灯、麻酔器、人工心肺、シリンジポンプ、各種エナジーデバイス、保温器、洗浄機、輸血用冷蔵庫、輸血用暖房器、手術ベッド、生体モニタ、加温装置、血液検査機器、経管式エコー、監視装置、顕微鏡、映像画像システム、内視鏡装置一式、手術用顕微鏡、経管式吸引機、手術支援装置、トイ、トイ照明、各手術室、地下、手術室など必要の照明、手洗い装置、検査機器、医療材料保管庫、顕微鏡小物保管庫、ダムウェーターまたはエレベーター、吸引排気吸引機が稼働している必要があります。	手洗い用水、薬機洗剤、浄水、軟水、トイレ水	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(選択してください)	手洗い用水、薬機洗剤、浄水、軟水、トイレ水	(選択してください)	(選択してください)	酸素、圧縮空気、(ガスではないが)常から供給される設備として吸引、医療ガス、薬液	(選択してください)	手術室内	A	必要な備蓄は揃っている。	A	当日の定期手術分には問題ない可能性が高い。	A	当日の定期手術分には問題ない可能性が高い。	A	電子カルテが使用できない場合は各種記録簿、手術支援装置、手術室、手術室、看護記録システム、映像システム	A	電子カルテが使用できない場合は各種記録簿、手術支援装置、手術室、手術室、看護記録システム、映像システム	A	手術部だけでは、解決不能な電気、水道、ガス、場所など病院のインフラ依存です。回答はまた追加となります。また、外注スタッフが増える可能性があるため、医療関係に問い合わせをお願いします。	(自部署で行う事前対策) 災害時の物品供給体制の確保 外注業者の災害時の対応 機器メーカーの修理対応の確保 臨床検査棟が使用不可の場合の代替え確保 システム停止時の手続確認
	2	災害後に実施する手術のための設備体制の構築	執刀医、助手、器械出し看護師、巡回看護師、麻酔科医師、IC、麻酔科スーパースペシャリスト、看護師リーダー	無影灯、麻酔器、人工心肺、シリンジポンプ、各種エナジーデバイス、保温器、洗浄機、輸血用冷蔵庫、手術ベッド、生体モニタ、加温装置、血液検査機器、経管式エコー、監視装置、顕微鏡、映像画像システム、内視鏡装置一式、手術用顕微鏡、経管式吸引機、手術支援装置、トイ、トイ照明、各手術室、地下、手術室など必要の照明、手洗い装置、検査機器、医療材料保管庫、顕微鏡小物保管庫、ダムウェーターまたはエレベーター、吸引排気吸引機が稼働している必要があります。	手洗い用水、薬機洗剤、浄水、軟水、トイレ水	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(選択してください)	手洗い用水、薬機洗剤、浄水、軟水、トイレ水	(選択してください)	(選択してください)	酸素、圧縮空気、(ガスではないが)常から供給される設備として吸引、医療ガス、薬液	(選択してください)	手術室内	A	必要な備蓄は揃っている。	A	曜日によって異なります。自衛隊が一部デバイスが不足し、在庫は不足している可能性があります。また、手術室は、洗浄機が稼働しているため、消毒が可能な場合があります。また、消毒が可能な場合があります。	A	電子カルテが使用できない場合は各種記録簿、手術支援装置、手術室、手術室、看護記録システム、映像システム	A	電子カルテが使用できない場合は各種記録簿、手術支援装置、手術室、手術室、看護記録システム、映像システム	A	手術部だけでは、解決不能な電気、水道、ガス、場所など病院のインフラ依存です。回答はまた追加となります。また、外注スタッフが増える可能性があるため、医療関係に問い合わせをお願いします。	(自部署で行う事前対策) 災害時の物品供給体制の確保 外注業者の災害時の対応 機器メーカーの修理対応の確保 臨床検査棟が使用不可の場合の代替え確保 システム停止時の手続確認		

組織順

各部署における「経営資源のリスク分析・評価・対策」調査表

準備の達成度 A 準備は十分 B 準備に着手しており順調 C 準備に着手しているが問題あり D 準備未着手

Main survey table with columns for department, risk, response, and evaluation status.

組織順

各部署における「経営資源のリスク分析・評価・対策」調査表

A	準備は十分
B	準備に着手しており順調
C	準備に着手しているが問題あり
D	準備未着手

メディカル IT ネットワーク (MITE)	1 病院情報システムおよび診療録の維持・管理	~24時間以内	指示を出す人間とそれに対応する相当数の事務およびUSE	A	A	サーバーやネットワークに必要な電源、および各施設におけるPDIに必要な電源	A	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	既有的場所で行う	A	消防設備が備わっていない	C	なし	(選択してください)	なし	(選択してください)	なし	(選択してください)	ネットワーク外注業者には、携帯、衛星電話にて連絡	A	A	国立大学病院に付ける医療情報伝送網バックアップシステムの利用	(選択してください)	マニュアル	B	富士通他	A	診療録の紙運用となった場合、整理に人員が必要。	(自部署で行う事前対策) ・災害時対応システムの準備 (病院として行う事前対策) ・非常時の電源計画、サーバーの消火対策 ○将来的にサーバーの移行を考えた
	2 通信システムの維持・管理	~24時間以内	指示を出す人間とそれに対応する相当数の事務およびUSE	A	A	サーバーやネットワークに必要な電源、および各施設におけるPDIに必要な電源	A	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	既有的場所で行う	A	消防設備が備わっていない	C	なし	(選択してください)	なし	(選択してください)	なし	(選択してください)	ネットワーク外注業者には、携帯、衛星電話にて連絡	A	A	国立大学病院に付ける医療情報伝送網バックアップシステムの利用	(選択してください)	マニュアル	B	NTT他	A	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・代替システムの整備 (病院として行う事前対策) ・非常時の電源計画、サーバーの消火対策 ○将来的にサーバーの移行を考えた
	3 地域連携システムの維持・管理	~1週間以内	指示を出す人間とそれに対応する相当数の事務およびUSE	A	A	サーバーやネットワークに必要な電源	A	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	既有的場所で行う	A	消防設備が備わっていない	C	なし	(選択してください)	なし	(選択してください)	なし	(選択してください)	ネットワーク外注業者には、携帯、衛星電話にて連絡	A	A	国立大学病院に付ける医療情報伝送網バックアップシステムの利用	(選択してください)	マニュアル	B	明海、富士通、NTT他	A	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・代替システムの整備 (病院として行う事前対策) ・非常時の電源計画、サーバーの消火対策 ○将来的にサーバーの移行を考えた
歯科 外 科	1 被災患者者の歯科診療	~3日以内	各診療科歯科医師、看護士、歯科衛生士、クラーク、計算、各若干名(職員人数、診療科の必要量は被災患者人数による)	B	B	歯科診療椅子やそれに付帯する回転器具等、その他器具等の駆動に要する電力が確保できること	D	切削時等の注水や吸引等に要する水道が確保できること	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	必須ではない	D	既存の歯科外来	B	既存の診療設備が使用可能であること	B	既存の診療設備が使用可能であること	D	既存の診療設備が使用可能であること	D	既存の診療設備が使用可能であること	同上 回転切削器具等、或る器具の駆動に要する電力の確保が望ましい	D	D	受診患者を多く集めるには必須ではない	D	電子カルテの運用が望ましい	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・被災患者の集客は電気、水、設備、備品等の確保に依存する。それらの対策は被災全体で実施すべき。とくに歯科外来では設備の耐震性の調査が必要。	
	2 一般外来患者の歯科診療	~2週間以内	各診療科歯科医師、看護士、歯科衛生士、クラーク、計算、各若干名(職員人数、診療科の必要量は被災患者人数による)	B	B	歯科診療椅子やそれに付帯する回転器具等、その他器具等の駆動に要する電力が確保できること	D	切削時等の注水や吸引等に要する水道が確保できること	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	中央技工室の稼働には都市ガスの供給が必要である	D	既存の歯科外来	B	既存の診療設備が使用可能であること	B	既存の診療設備が使用可能であること	D	既存の診療設備が使用可能であること	D	既存の診療設備が使用可能であること	同上 回転切削器具等、或る器具の駆動に要する電力の確保が望ましい	D	D	受診患者を多く集めるには必須ではない	D	電子カルテの運用が望ましい	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・被災患者の集客は電気、水、設備、備品等の確保に依存する。それらの対策は被災全体で実施すべき。とくに歯科外来では設備の耐震性の調査が必要。	
	3 歯科医師の院外派遣	~3ヶ月以内	歯科医師若干名(災害時歯科医師会協会のコーディネーション業務に精通した者、ならびに訪問歯科診療経験豊富な者を含むこと)、歯科衛生士若干名	B	B	歯科診療椅子やそれに付帯する回転器具等、その他器具等の駆動に要する電力が確保できること	D	切削時等の注水や吸引等に要する水道が確保できること	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	中央技工室の稼働には都市ガスの供給が必要である	D	既存の歯科外来	B	既存の診療設備が使用可能であること	B	既存の診療設備が使用可能であること	D	既存の診療設備が使用可能であること	D	既存の診療設備が使用可能であること	同上 回転切削器具等、或る器具の駆動に要する電力の確保が望ましい	D	D	受診患者を多く集めるには必須ではない	D	電子カルテの運用が望ましい	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・被災患者の集客は電気、水、設備、備品等の確保に依存する。それらの対策は被災全体で実施すべき。とくに歯科外来では設備の耐震性の調査が必要。	
M E センター (装置別)	1 生命維持管理装置の維持・管理 (人工心臓装置、補助循環装置)	直後	人工心臓部 3名 補助循環部 1名	A	A	それぞれ無停電電源 10A程度	A	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	酸素・空気吸引・二酸化炭素	A	既有的場所で行う	A	人工心臓補助装置	A	人工心臓薬剤セット2種併用	A	人工心臓薬剤セット	A	人工心臓薬剤セット	一般体外循環用回路4セット	(不要)	(選択してください)	体外循環記システム	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・緊急事態発生時の対応は迅速に実施すべき		
	2 生命維持管理装置の維持・管理 (閉鎖式保命器、人工呼吸器、補助呼吸器、医療ガス)	直後	閉鎖式保命器 5名	A	A	閉鎖式保命器 19台、人工呼吸器 40台 閉鎖式保命器 19台 以上はすべて無停電電源使用 各種呼吸器 3~5A程度 各種吸引装置用コンプレッサー 各種排気用コンプレッサー 各200V	B	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	酸素・空気吸引・二酸化炭素・医療ガス	A	既有的場所で行う	A	人工心臓補助装置	A	人工心臓薬剤セット2種併用	A	人工心臓薬剤セット	A	人工心臓薬剤セット	一般体外循環用回路4セット	(不要)	(選択してください)	体外循環記システム	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・緊急事態発生時の対応は迅速に実施すべき		
	3 補助人工心臓装着患者の受け入れ	~12時間以内	3名	A	A	商業用の停電が起きたら、病院してもらい病院電線の提供	A	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	酸素・空気吸引・二酸化炭素	A	既有的場所で行う	A	人工心臓補助装置	A	人工心臓薬剤セット2種併用	A	人工心臓薬剤セット	A	人工心臓薬剤セット	一般体外循環用回路4セット	(不要)	(選択してください)	体外循環記システム	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・緊急事態発生時の対応は迅速に実施すべき		
栄養管理室	1 入院患者の食事	~3日以内	調理師12名、調理補助17名 O食事・栄養士18名、調理師20名、調理補助18名 O夕食・栄養士10名、調理師6名、調理補助	A	B	必要	B	必要	B	必要	B	(不要)	(選択してください)	既有的場所で行う	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	調理機器の稼働状況により調理作業に影響が生じ、食事内容が制限される	A	A	調理師が被災により調理作業に影響が生じ、食事内容が制限される	(不要)	(選択してください)	食事が被災により必要	(不要)	(選択してください)	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・被災による調理師の不足は、食料の確保に留意する。被災による調理師の不足は、食料の確保に留意する。	
	2 外来部門受け入れ準備 (透析、在宅酸素など)	直後	地域連携センターとの連絡に管理栄養士1名 透析室、化学療法センターなどに物資を届けるA2名×2	B	B	必要	B	必要	B	必要	B	(不要)	(選択してください)	既有的場所で行う	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	調理機器の稼働状況により調理作業に影響が生じ、食事内容が制限される	A	A	調理師が被災により調理作業に影響が生じ、食事内容が制限される	(不要)	(選択してください)	食事が被災により必要	(不要)	(選択してください)	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・被災による調理師の不足は、食料の確保に留意する。被災による調理師の不足は、食料の確保に留意する。	
	3 災害時の地域医療連携	~3日以内	特に経験者はいないが、支援物資の受け渡しと仕分けを担当する者が必要	B	B	必要	B	(不要)	B	(不要)	B	(不要)	(不要)	(選択してください)	既有的場所で行う	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	調理機器の稼働状況により調理作業に影響が生じ、食事内容が制限される	A	A	調理師が被災により調理作業に影響が生じ、食事内容が制限される	(不要)	(選択してください)	食事が被災により必要	(不要)	(選択してください)	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・被災による調理師の不足は、食料の確保に留意する。被災による調理師の不足は、食料の確保に留意する。
	4 近隣病院との連携	~24時間以内	特に経験者はいないが、支援物資の受け渡しと仕分けを担当する者が必要	B	B	必要	B	(不要)	B	(不要)	B	(不要)	(不要)	(選択してください)	既有的場所で行う	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	A	エレベーターが停止している場合、通常の調理は行えない	調理機器の稼働状況により調理作業に影響が生じ、食事内容が制限される	A	A	調理師が被災により調理作業に影響が生じ、食事内容が制限される	(不要)	(選択してください)	食事が被災により必要	(不要)	(選択してください)	(不要)	(自部署で行う事前対策) ・被災による調理師の不足は、食料の確保に留意する。被災による調理師の不足は、食料の確保に留意する。

組織順

各部署における「経営資源のリスク分析・評価・対策」調査表

A	準備は十分
B	準備に着手しており順調
C	準備に着手しているが問題あり
D	準備未着手

業 界 部	項目	担当者	準備状況	対応策	評価	準備状況	対応策	評価	準備状況	対応策	評価	準備状況	対応策	評価	準備状況	対応策	評価	準備状況	対応策	評価	準備状況	対応策	評価	備考		
業 界 部	1 トリアージポストでの調剤業務	調剤師2~3名（緑エリア） 調剤師名（黄、赤エリア）	A	照明必要（処方箋の確認、薬調作成、調剤）	B	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	トリアージポスト（赤、黄、赤エリア、黄、赤エリア、緑エリア）	A	なし	(選択してください)	薬利部から必要な薬品を必要	A	(選択してください)	処方箋、トリアージタグ	A	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	（自部署で行う事前対策） ・災害時の院内マニュアルの整備 ・病院として行う事前対策	
	2 調剤業務等医薬品の供給	調剤師名や処方箋枚数により必要人員が変わる	A	照明必要（処方箋の確認、薬調作成、調剤）調剤機器を稼働させるために必要	A	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	既存の場所で行う	A	(選択してください)	薬利部内の在庫を使用（5~7日分の在庫あり）	B	(選択してください)	システム関係の有無で稼働させる	B	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	（自部署で行う事前対策） ・災害時の院内マニュアルの整備 ・病院として行う事前対策	
	3 薬品購入	薬利師又は調剤師1から2名	A	物流システム及び診療支援システム稼働に必要	A	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	既存場所	A	加との連携手段が必要（携帯電話等）	D	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	物流システム、診療支援システムが稼働しない場合は在庫の把握が難しいため、手帳等の把握と併せて、電子カルテ、物流システムの稼働が望ましい。	A	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	（自部署で行う事前対策） ・災害時の状況に応じた在庫管理、発注業務の手順の策定 ・病院として行う事前対策
	4 地域医療への貢献 薬剤師派遣と医薬品の提供	薬剤師（手書きの処方箋印刷や薬剤師派遣も出来るチームに1名配置）	A		(選択してください)	洗浄用に注射器の水を保持する場合あり	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	被災地	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	本院の在庫状況、使用状況から在庫に余裕がある医薬品を抽出するが、緊急時や手配状況により調整する。救急は平時（被災地からの要求により異なる）	(選択してください)	(選択してください)	紙カルテ、紙処方箋	A	(選択してください)	薬の調別番号から薬剤を調べられる本	A	(選択してください)	(選択してください)	（自部署で行う事前対策） ・災害時対応の院内マニュアル整備 ・病院として行う事前対策 ・県上の病院薬剤師派遣に関する協定の締結 ・県としての薬剤師派遣に関する手順やマニュアルの策定
看 護 部	看護部配属部署の現状把握（患者、看護師、建物・ライフライン）	看護部長、副看護部長で看護部全体の状況把握とマネジメントができること	A	照明必要	A	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)	災害対策本部または看護管理センター	A	(不要)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	（自部署で行う事前対策） ・患者でない看護師の安否確認方法（携帯電話以外の方法）について再検討 ・病院として行う事前対策 ・実態を想定した訓練	
	2 病床確保、新規患者の受け入れ体制構築	病院全体の入院患者状況把握をヘッドコンソールのモニタリングでできること	B	照明必要	A	なし	(選択してください)	必要	(選択してください)	必要	(選択してください)	災害対策本部	A	(不要)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	（自部署で行う事前対策） ・患者でない看護師の安否確認方法について再検討 ・病院として行う事前対策 ・実態を想定した訓練	
	3 院内人的リソースの適正配分	看護部長、副看護部長で看護部全体の状況把握とマネジメントができること	B	照明必要	A	なし	(選択してください)	なし	(選択してください)	なし	(選択してください)	災害対策本部、トリアージセンター開設	A	なし	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	（自部署で行う事前対策） ・患者でない看護師の安否確認方法について再検討 ・病院として行う事前対策 ・実態を想定した訓練
	4 院外への看護部派遣調整	看護部長、副看護部長で看護部全体の状況把握とマネジメントができること	B	照明必要	A	なし	(選択してください)	なし	(選択してください)	なし	(選択してください)	災害対策本部または看護管理センター	A	なし	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	（自部署で行う事前対策） ・患者でない看護師の安否確認方法について再検討 ・病院として行う事前対策 ・実態を想定した訓練
看（外 来）	1 外来受診患者・家族の生命の安全確保	外来受診患者・家族全体の状況把握とマネジメントができること	A	照明必要	A	なし	(選択してください)	必要	(選択してください)	必要	(選択してください)	既存外来棟	A	なし	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	（自部署で行う事前対策） ・アクションカードの定期的な見直し ・病院として行う事前対策 ・外来受診時の情報共有 ・外来受診時の情報共有	
	2 一般外来診療の再開に向けた環境整備	災害対策本部からの指示	A	PCネットワークが維持できれば使用可能であればPHS、院内電話使用	B	なし	(選択してください)	必要	(選択してください)	必要	(選択してください)	既存外来棟	A	なし	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	(選択してください)	（自部署で行う事前対策） ・外来受診と災害対策本部の情報共有 ・外来受診時の情報共有 ・災害対策本部の判断による	
看 護 部（ 入 院 ）	1 入院患者の生命の安全確保	看護部長、副看護部長で各病棟の状況把握と入院患者のマネジメントができること	A	照明、ナースコール、人工呼吸器や輸液ポンプ、シリッジポンプ使用の電源確保	A	必要	(選択してください)	なし	(選択してください)	必要	A	各病棟	A	既存の設備	A	各病棟に在庫の定義薬品	B	センター在庫の機器、SPD	B	診療支援システム、院内電話	B	診療支援システムと各部門システムを併用可能な場合は紙カルテの検査依頼の検査指示	A	長期化すれば、清掃、ベッドメイキング等のリネンの供給	B	（自部署で行う事前対策） ・患者のアクションカードの内容確認 ・病院として行う事前対策 ・災害対策本部との訓練
	2 入院患者の診療	医師、看護師	A	照明、ナースコール、人工呼吸器や輸液ポンプ、シリッジポンプ使用の電源確保	A	必要	(選択してください)	A	必要	(選択してください)	A	各病棟	A	既存の設備	A	各病棟に在庫の定義薬品	B	センター在庫の機器、SPD	B	診療支援システム、院内電話	B	診療支援システムと各部門システムを併用可能な場合は紙カルテの検査依頼の検査指示	A	長期化すれば、清掃、ベッドメイキング等のリネンの供給	B	（自部署で行う事前対策） ・患者のアクションカードの内容確認 ・病院として行う事前対策 ・実態を想定した訓練の実施

組織順

各部署における「経営資源のリスク分析・評価・対策」調査表

A	準備は十分
B	準備に着手しており順調
C	準備に着手しているが課題あり
D	準備未着手

部署	調査項目	担当者	準備状況	リスク	評価	対策	備考
看護部 (入院)	3 新規入院患者の受け入れと診察	～1時間以内	看護部長、副看護部長など各病棟の状況把握と入院患者のマネジメントで可	A	必要	必要	各病棟にアクションカードがありそれに基づき担当者は行動する必要がある。実習の乳生シミュレーション訓練が必要と思われる。災害のとき、施設の新築状況が変わった場合どのような患者を想定した訓練が必要である。
事務部 (施設企画)	1 施設、設備の被害状況確認	直後	施設企画課員 2名	C	(不要)	(不要)	緊急時連絡網による各病棟の体制は調整されているものの、実習生等については必要確認。(以下、共通)
事務部 (総務課)	1 職員の安否確認	直後	総務課職員 4名	C	(不要)	(不要)	(自部署で行う事前対策) (病院として行う事前対策) (自部署で行う事前対策)
事務部 (医事課)	1 災害時外来業務	～1時間以内	医事課職員	C	必要	必要	電気の供給が確保され、各種システム1階倉庫システム、診療支援システムが稼働していることが前提。
広報室	1 報道対応	～1時間以内	広報室職員 2名	C	(不要)	(不要)	(自部署で行う事前対策) (病院として行う事前対策)
産科母子センター (産婦科)	1 経産分娩	～1週間以内	診療科から医師 1名、助産師 2名	A	(予備電源で対応可)	A	数値に關しては感傷がどれくらいか、予備電源がどれくらいあるかに依存
	2 帝王切開術	～1週間以内	産婦科医師 2名、小児科医師 1名、手術室看護師 2～3名、助産師 1名	A	無影灯が使用できれば可能	A	原則的に被災直後より施設が稼働していれば帝王切開術に關しては対応できると考えられる。しかしながら予備電源の稼働、器械搬送が行えるかどうかにより変化してくると考えられる
	3 緊急搬送の受け入れ、対応	～1週間以内	産婦科医師 2～6名、助産師 (看護師) 2名	A	補助電源があれば可	A	原則的に被災直後より施設が稼働していれば緊急搬送に關しては対応できると考えられる。しかしながら予備電源の稼働、器械搬送が行えるかどうかにより変化してくると考えられる
新生児集中治療室入院患者の診療、生命維持	1 新生児集中治療室入院患者の診療、生命維持	直後	医師 3名以上、NICU 担当看護師 6名以上、放射線看護師 1名以上 (交代勤務で24時間体制を維持する場合)	A	人工呼吸器、加温加湿器、保育器、呼吸のモニター、シリンジポンプなどは非常用電源も使用可能。母乳保管用の冷蔵庫などは一般電源を使用。復旧しなければ、患者の移送が必要。	A	人工呼吸器の電源・圧縮空気、吸引機は稼働しなければ、患者の移送が必要。
	2 産科病棟に母児用室の正常新生児の診療、生命維持	～3日以内	医師 1名 (NICUと兼務)、看護師 6名以上	A	照明、空調、光線療法用の光源、母乳保管用の冷蔵庫など。	A	手洗い用の水道水、調乳用滅菌水、沐浴・着脱用の水道水など。
院内のハイリスク分娩の立会い、新生児誕生	3 院内のハイリスク分娩の立会い、新生児誕生	～24時間以内	医師 1名以上、助産師 1名	A	照明、空調、光線療法用の光源、母乳保管用の冷蔵庫など。	A	手洗い用の水道水、調乳用滅菌水、沐浴・着脱用の水道水など。
	3 院内のハイリスク分娩の立会い、新生児誕生	～24時間以内	医師 1名以上、助産師 1名	A	照明、空調、光線療法用の光源、母乳保管用の冷蔵庫など。	A	手洗い用の水道水、調乳用滅菌水、沐浴・着脱用の水道水など。

組織順

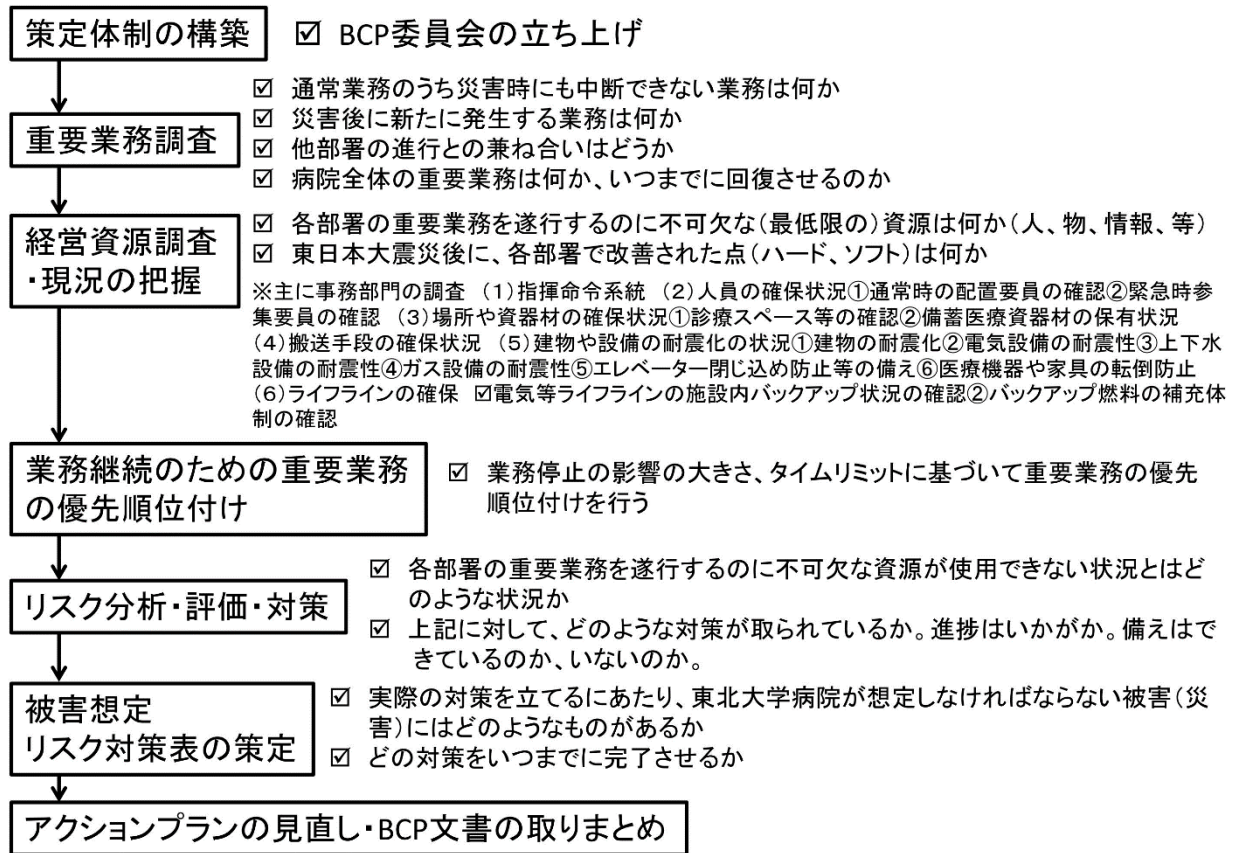
各部署における「経営資源のリスク分析・評価・対策」調査表

A	準備は十分
B	準備に着手しており順調
C	準備に着手しているが問題あり
D	準備未着手

部署	リスク項目	発生頻度	影響度	リスクレベル	現状	対策	評価	備考
母体母子センター (新生児部門)	4 院外発生・ハイリスク母胎の受け入れ	～3日以内	1.NIOUと業務	A	A	1.NIOUと同様。復旧しなければ、患者受け入れ不可	A	1.NIOUと同様。復旧しなければ、患者受け入れ不可
	5 院外発生・病的新生児の受け入れ	～3日以内	1.NIOUと業務	A	A	1.NIOUと同様。復旧しなければ、患者受け入れ不可	A	1.NIOUと同様。復旧しなければ、患者受け入れ不可
精神科	1 身体的治療を必要とする重症精神疾患の治療（ニーズの増大の可能性を考慮）	～2時間以内	医師1名 看護士3名	A	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)
	2 精神科的治療を必要とする、一般身体科の患者の治療（リエゾン精神療養含む）	～6時間以内	リエゾンに出向くための精神科医、看護士（リエゾン・ナース）	C	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)
	3 必要な患者の隔離・身体拘束などの行動制限や入院継続が必要な入院患者が退院希望した場合の退院制限	～12時間以内	精神保健指定医1名以上	A	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)
精神科	4 新規の医療保護入院（任意入院からの切り替え、身体科からの受け入れ含む）	～6時間以内	精神保健指定医1名以上	A	復旧しなければ、患者受け入れを制限	(選択してください)	(不要)	(選択してください)
	5 被災地の精神保健医療支援についての情報収集と人材派遣	～3日以内	災害精神医学についての経験、トレーニングを受けた精神科医1名以上その他の精神保健福祉士医療従事者（看護士、心理士、精神保健福祉士など）1名以上	C	(不要)	(選択してください)	(不要)	(選択してください)
感染管理室	1 緊急患者対応のための感染対策の構築	～1週間以内	医師2名 薬剤師2名 検査技師1名 事務員1名	B	(不要)	(不要)	(不要)	(不要)
	2 病院内における感染対策の維持	～1週間以内	医師2名 薬剤師2名 検査技師1名 事務員1名	B	(不要)	(不要)	(不要)	(不要)
	3 病院内における感染対策の確認	～12日以内	医師2名 薬剤師2名 検査技師1名 事務員1名	B	(不要)	(不要)	(不要)	(不要)
	4 廃棄物の一時保管	～24時間以内	医師1名 薬剤師1名 事務員1名	B	(不要)	(不要)	(不要)	(不要)

7.5 東北大学病院 BCP 策定に向けた行程表

○ 東北大学病院BCP策定に向けた行程表



調査・分析		内容	委員会開催時期											
			2017.1月	2017.2月	2017.3月	2017.4月	2017.5月	2017.6月	2017.7月	2017.8月	2017.9月	2017.10月		
1	重要業務調査・業務中断による影響度調査	<input checked="" type="checkbox"/> 通常業務のうち災害時にも中断できない業務は何か <input checked="" type="checkbox"/> 災害後に新たに発生する業務は何か <input checked="" type="checkbox"/> 他部署の進行との兼ね合いはどうか <input checked="" type="checkbox"/> 病院全体の重要業務は何か、いつまでに回復させるのか	←→											
2	経営資源調査・現況の把握	<input checked="" type="checkbox"/> 各部署の重要業務を遂行するのに不可欠な(最低限の)資源は何か(人、物、情報、サービス) <input checked="" type="checkbox"/> 東日本大震災後に、各部署で改善された点(ハード、ソフト)は何か		←→										
3	重要業務の優先順位付け	<input checked="" type="checkbox"/> 業務停止の影響の大きさ、タイムリミットに基づいて重要業務の優先順位付けを行う			←→									
4	リスク分析 リスク評価 リスク対策の優先順位付け	<input checked="" type="checkbox"/> 各部署の重要業務を遂行するのに不可欠な資源が使用できない状況とはどのような状況か <input checked="" type="checkbox"/> 上記に対して、どのような対策が取られているか。進捗はいかがか。備えはできているのか、いないのか。				←→	←→							
5	被害想定	<input checked="" type="checkbox"/> 実際の対策を立てるにあたり、東北大学病院が想定しなければならない被害(災害)にはどのようなものがあるか						←→						
6	リスク対策表の策定	<input checked="" type="checkbox"/> どの対策をいつまでに完了させるか							←→					
7	アクションプランの見直し BCP文書取りまとめ	<input checked="" type="checkbox"/> 総則 <input checked="" type="checkbox"/> 初動対応:災害対策マニュアルから流用 <input checked="" type="checkbox"/> 仮復旧:重要業務調査、資源調査、目標復旧時間などを用い東北大学病院が優先的に仮復旧させるべき重要業務について記載。代替手段について言及。 <input checked="" type="checkbox"/> 本格復旧:業者やメーカーなどのコンタクトリスト、復旧に関する院内マニュアルや手順書など <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認								←→	←→			
8	委員相互によるチェック、承認												←→	
9	病院幹部によるチェック、承認													←→
10	BCP初版完成、施行													←→
11														

関連資料リスト

1. 東北大学病院災害対策内規
2. 東北大学病院災害対策マニュアル【H30.5】
3. 東北大学病院災害対策本部マニュアル 第3版【暫定版】
4. 東北大学病院災害対策マニュアル 外来部門【第2版】
5. 東北大学病院消防計画
6. 安全衛生管理指針
7. 東北大学病院 BCP 委員会内規

<編集>

BCP 委員会

委員長 富永 悌二 副委員長 江川 新一

委員	藤卷 慎一	平泉 敦子	江島 豊	坂本 博	竹森 加菜子
	三木 俊	亀山 良亘	藤原 実名美	藤田 基生	宮崎 真理子
	中山 雅晴	服部 佳功	菊地 昭二	岡本 智子	阿部 喜子
	星合 哲郎	佐藤 信一	松本 和紀	児玉 栄一	徳田 浩一
	松浦 正樹	熊田 真紀子	中川 敦寛	佐々木 宏之	古川 宗
	佐々木 一郎	桜井 力			

BCP 事務局

江川 新一	成田 香魚子	坂本 博	藤田 基生	阿部 喜子
岡本 智子	佐々木 宏之	古川 宗	佐々木 一郎	桜井 力

